

カラービデオカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので
必ず保存してください。



電気製品は、安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品
の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読
みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあと
は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Power HAD **EX**



MEMORY STICK™

DXC-D50K
DXC-D50L
DXC-D50WSL
DXC-D50H

安全のために

本機は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

- ➡ ① 電源供給側の電源を切る。
② 電源供給ケーブルや接続コードを抜く。
③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

炎が出たら

➡ すぐに電源供給側の電源を切り、消火する。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れにより死亡や大けがになります。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

△警告	6
△注意	7
電池についての安全上のご注意	8
電池のリサイクルについて	9

1章

概要

カメラシステムの構成	11
本機の特長	13
DXC-D50/D50WSの特長	13
DXC-D50WSの特長	15
各部の名称と働き	16
カメラ本体	16
ズームレンズVCL-920BY	22
ビューファインダーDXF-801	24

2章

取り付けと接続

リチウム電池を交換する	27
VTRを取り付ける	29
カムコーダー用の取っ手を使う	30
レンズを取り付ける	33
アクセサリーを使う	35
ビューファインダーの使いかた	35
別売りマイクを使う	36
三脚に取り付ける	37
ショルダーパッドの調節	38
別売りキャリングケースLC-HB330を使う	39
接続	40
ポータブルVTRを接続する	40
複数のカメラを接続する（カメラコントロールユニットを使う場合）	40
複数のカメラの同期運転（カメラコントロールユニットを使わない場合）	42
電源の供給	43
バッテリーパックを使う	43
カメラアダプター電源を使う	44
メモリースティック	45
メモリースティックの取り付け	45
メモリースティックについて	45

3章

撮影する

基本的な撮影の手順	47
DSR-1と組み合わせて撮影する	50
エディットサーチ機能を使ってつなぎ撮りする	50
シャトルショット機能	51

4章

ビューファインダー 画面表示とメニュー

ビューファインダー画面の表示	53
ビューファインダー画面の表示と切り換え	53
通常画面	56
メニュー操作	59
メニュー画面の表示	59
メニューの設定のしかた	60
USERメニュー	61
USERメニューの使いかた	62
OPERATIONメニュー	66
PAINTメニュー	68
MAINTENANCEメニュー	70
FILEメニュー	72
シーンファイルの保存と呼び出し	74
メモリースティックへの保存と読み出し	75
ファイルに保存する項目	76

5章

調整と設定

ホワイトバランス調整	79
適正なホワイトバランス値を記憶させる	79
プリセットされたホワイトバランス値を使う	81
光源による色温度のめやす	81
ATW（自動追尾ホワイトバランス）機能を使う	81
ブラックバランス調整	82
シャッターの設定	83
日時の設定・記録	84
ビューファインダー画面の調整	85

レンズの調整	86
フランジバックの調整	86
絞りの調整	87
絞り感度の調整	88
接写	89
撮影条件に応じた設定	90
スキンディテール補正	90
画像の特定の色だけを調整する	90

付録

使用上のご注意	91
CCD 特有の現象	92
警告システム	93
仕様	94
関連機器	95
周辺機器・アクセサリ一覧表	96
保証書とアフターサービス	97



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがにつながる可能性があります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所で設置・使用すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



指示

指定の電源で使う

取扱説明書に記されているカメラコントロールユニット、電源アダプターあるいはバッテリーパックでお使いください。規定外のカメラコントロールユニット、電源アダプターやバッテリーパックでのご使用は、火災の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の商品に**損害**を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源アダプターなどの電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

指定された電源供給ケーブル、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源供給ケーブル、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、倒れたり落下したりして、けがの原因となることがあります。

また、設置・取り付け場所・使用する三脚の強度を充分にお確かめください。



禁止

ビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しない

太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。



指示

カメラアダプター・ドッキング VTR の取っ手は確実に取り付ける

取扱説明書の取り付け方法に従って確実に組み立てないと、落下してけがの原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源供給側の電源を切り、電源供給ケーブルや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



指示

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま撮影を行うと、事故やけがなどの原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



危険 (この項目は充電式電池(バッテリー)のみに適用となります)

- 指定された充電器以外では充電しないでください。
- 火の中に入れてください。電池の十と一端子を金属などでショートさせたり、分解、加熱したりしないでください。コイン、ヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 水、雨水、河水などで濡れたままの電池を充電したり、使ったりしないでください。
- 電池内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



警告

- ボタン型電池(データ保持用のリチウム電池)は幼児の手の届かないところに置いてください。
万が一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解、加熱したりしないでください。
- 指定された種類の電池を使ってください。

(以下の項目は充電式電池のみに適用となります)

- 電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



注意

- 十と一の向きを正しく入れてください。
- 電池を使いきったとき、長期間使わないときは、取り出しておいてください。

電池のリサイクルについて



Ni-Cd

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会 TEL：03-3434-0261

ホームページ：<http://www.baj.or.jp>

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCCDに損傷を与えることがあります。

レーザービームを使用した撮影環境では、CCDの表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

出力の強いレーザービームの場合、反射光であってもCCDに損傷を与えることがありますのでご注意ください。

必ずお読みください

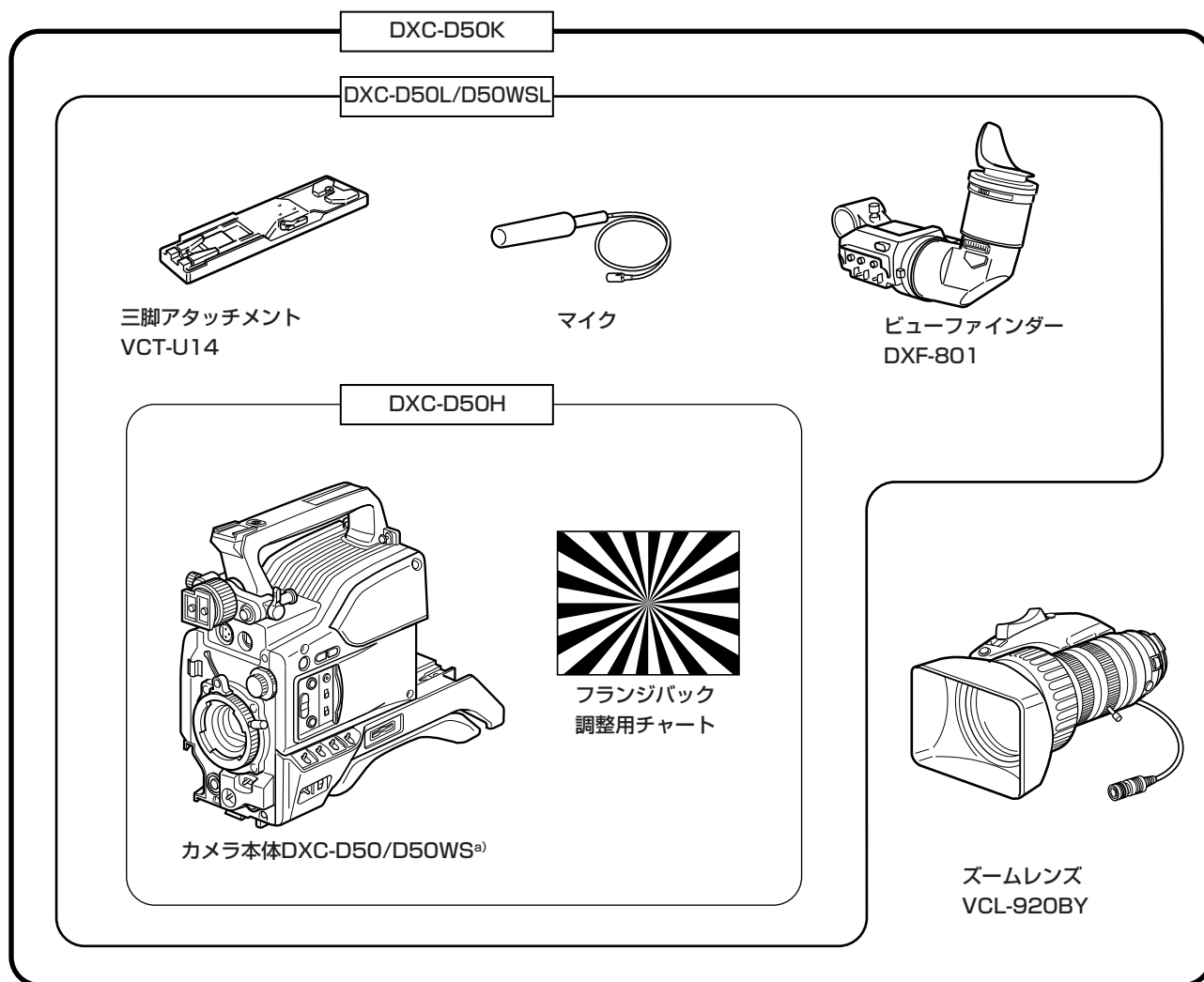
- 大切な記録の場合は、必ず事前にためし撮りをし、正常に記録されていることを確認してください。
- ビデオカセットレコーダーやテープなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

概要

カメラシステムの構成品

カラービデオカメラDXC-D50/D50WSカメラシステムは、次ページの図のような機器から構成されています。
カメラ本体の使いかたは3機種とも同じです。



a) DXC-D50WSはLモデルのみです。

カメラアダプターは別売りです

カメラアダプターを使うときは、CA-D50かCA-TX50をお買い求めください。

DXC-D50/D50WSの特長

DXC-D50は4:3スタンダードスクリーンタイプ、DXC-D50WSは16:9/4:3スイッチャブルタイプのデジタルビデオカメラです。ここでは、DXC-D50とDXC-D50WSに共通する特長を説明します。DXC-D50WSをご使用の場合は、「DXC-D50WSの特長」(15ページ)も併せてご覧ください。

2/3IT型新開発Power HAD (EX) CCD採用

POWER HAD技術の採用により、FIT型CCDカメラを上回る低スミア、高感度、高S/Nを実現しています。DXC-D50WSでは、ワイドスクリーン用のPower HAD EX CCDを使用しています。

- スミア：－140dB
- 感度：F11.0 (3200K、2000lux)
- S/N：65dB

多彩な画像調整が可能

目で見た感じに近い、自然な色の再現を可能にしたデジタル信号処理技術 (TruEye™ プロセッシング) を導入しました。

アダプティブハイライトコントロール機能

各画素の輝度信号レベルに応じた繊細なコントラスト調整を、撮影したシーンに合わせて自動的に最適化します。明るいところと暗いところが混在したシーンの撮影に有効です。

ニーサチュレーションコントロール機能

高輝度の被写体を撮影したとき白つぶれを防ぐほか、高輝度部分の色飛びも防ぐことができます。

ブラックガンマ機能

画面の暗い部分の輝度を、色合いを変えずに調整できます。

多様なディテール補正

- スキンディテール補正：顔の映りだけをソフトにします。
補正する顔色はメニュー操作で簡単に設定できます。
- ブラックハロー補正
- 垂直方向R・Gディテール補正：R信号、G信号の両方で、垂直方向のディテール補正を行います。
- 水平方向ディテール周波数調整

ローキーサチュレーション

色が付きにくい暗い部分の色付きを補正することができます。

クロスカラーサプレッション

デジタル3ラインコムフィルターによってY/R-Y/B-Y信号から周波数成分を実質的に除去し、クロスカラーとクロスルミナンスを最小に抑えています。

シーンファイルデータの記録・管理

カメラのセットアップ操作を簡略化する、次のような機能を備えています。

シーンファイル

シーンファイル機能を使って、20シーンまでの設定を本機に保存することができます。

メモリースティックを使ったファイル操作

シーンファイルをメモリースティックに保存することができます。メモリースティックに保存したシーンファイルは、他のDXC-D50やリモートコントロールパネルRCP-D50/D51で読み込み、複数のカメラで同じ条件を簡単に再現することができます。また、メモリースティック用のスロットのあるコンピューターでセットアップデータを読み込み、離れた場所のカメラに転送することもできます。

プリセットマトリックス

あらかじめ工場で設定したSTD (STANDARD)、HI SAT (HIGH SATURATION)、FL (FLUORESCENT)など標準的な照明条件のマトリックスファイルを使って、カメラを素早く設定できます。

様々なVTRと組み合わせ可能

DVCAM仕様のDSR-1と組み合わせると、デジタルカムコーダーを構成できます。また、ベータカムSP仕様のPVV-3と組み合わせると、ベータカムカムコーダーを構成できます。

撮影に便利な新機能を充実

EZ（イージー）モード

ワンタッチの操作で、標準的な状態でトータルレベルコントロール機能（TLCS）や自動追尾ホワイトバランス機能（ATW）を働かせた撮影を行うことができます。

EZ（イージー）フォーカス

レンズの絞りを自動的に開いて焦点を合わせやすいように被写界深度を浅くし、最適な露出を自動的に設定します。

プログラマブルゲイン

GAINスイッチの設定（H、M、L）に対するゲインの割り当てを、-3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、18dB、24dB、30dB、36dBから選択することができます。

自動追尾ホワイトバランス

照明条件が連続的に変化してもホワイトバランスが自動追尾します。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、屋外から屋内に移動しながら撮影する場合に便利です。

デュアルゼブラパターン表示

ゼブラパターン表示の基準レベルをビデオレベル50～109IREの範囲で設定できるゼブラ1と、ビデオレベル50IRE以上を対象とするゼブラ2の2種類のゼブラパターンを、ビューファインダー画面に同時にまたは単独で表示できます。

文字表示付きビデオモニター出力

ビューファインダー画面に表示される文字を付加したビデオ信号を、外部モニター用に出力することができます。

1kHzのオーディオ基準信号の出力

出力がカラーバーのときに、1kHzのオーディオ基準信号を出力することができます。

エディットサーチ機能（DSR-1使用時）

DSR-1と組み合わせている場合、EDIT SEARCH ボタンを押してテープをサーチ再生できます。再生速度は2段階に変えられます。

光学NDフィルターと電氣的CCフィルター

光学NDフィルターと電氣的CCフィルターの採用により、理想的な光量と色のコントロールが可能になりました。色の補正は電氣的に行い、NDフィルターは光学的にコントロールし、被写体深度や露出を簡単にコントロールできます。電氣的CCフィルターはリモートコントロールも可能です。

クリアスキャン機能

シャッター速度をコンピューター画面のスキャン周波数に厳密に合わせ、画面の水平バンドやちらつきの影響を受けずにコンピューターの画面撮影することができます。シャッター速度は60.38～6000 Hzの範囲で設定できます。

その他の機能

可変電子シャッター

モニター出力

EVS（Enhanced Vertical-Definition System）

自動絞りモード

マイク音声のローカット

操作性を考慮したデザイン

前後位置調整可能なショルダーパッド

肩にかついだときのバランスをよくするため、ショルダーパッドの前後位置を調整することができます。また、DSR-390、DSR-570WSのカムコーダーで採用している柔軟性のあるショルダーパッド（ダイナフィットパッド）にも交換することができます。詳しくはお買い上げ店、または、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

スライドカバー

撮影中にひんぱんに使う可能性の低いスイッチやボタンは、スライドカバーで隠すことができます。

高機能ビューファインダー（DXF-801）

- ・水平解像度600TV本の高解像度
- ・目を離した状態でも画像を確認できる大口径接眼部
- ・水平および垂直方向のピーキング調整が可能
- ・タリー表示として使用できるランプを2つ装備
- ・堅牢なアルミダイキャスト製ボディ
- ・キャラクター表示をON/OFFすることのできるDISPLAYスイッチを装備
- ・レンズを照明できるライトを装備
- ・DXC-D50WSに取り付けたときは、上記に加えてアスペクト比16：9（横長画面）と4：3（標準画面）の自動切り換えが可能

VTR情報の表示

VTRを接続したとき、下記の情報をビューファインダー画面に表示することができます。

- タイムデータ (カウンター、タイムコード、またはユーザービットデータ)
- VTRのオーディオレベル
- テープの残量時間
- VTRの動作状態
- バッテリーの残量 (アントンバウアー社製インテリジェントバッテリーシステム使用時)

DXC-D50WSの特長

ここでは、DXC-D50WSに関する、16:9ワイドスクリーンタイプのデジタルビデオカメラとしての特長のみを説明します。4:3スタンダードスクリーンタイプのデジタルビデオカメラDXC-D50と共通する特長については、「DXC-D50/D50WSの特長」(13ページ)をご覧ください。

アスペクト比16:9、4:3の切り換えが可能

メニュー操作により、アスペクト比を16:9と4:3の間に瞬時に切り換えることができます。4:3モードでは、デジタル処理により、ワイドアスペクトCCDが生成する16:9の映像信号から、4:3画面に相当する部分の信号を切り出します (71ページ参照)。

ワイドアスペクトID信号の付加

メニュー設定により、16:9モード時の映像信号¹⁾にワイドアスペクトID信号²⁾を付加することができます (71ページ参照)。

セーフティゾーンサイズの選択

16:9モード時には、セーフティゾーンのサイズを変更することができます。(66ページ参照)。

1) 映像信号とは、次の信号を指します。

- VIDEO OUT端子、MONITOR OUT端子から出力される映像信号。
- VTR接続端子から出力されるY/Cセパレート信号のY、およびコンポーネント信号のY。

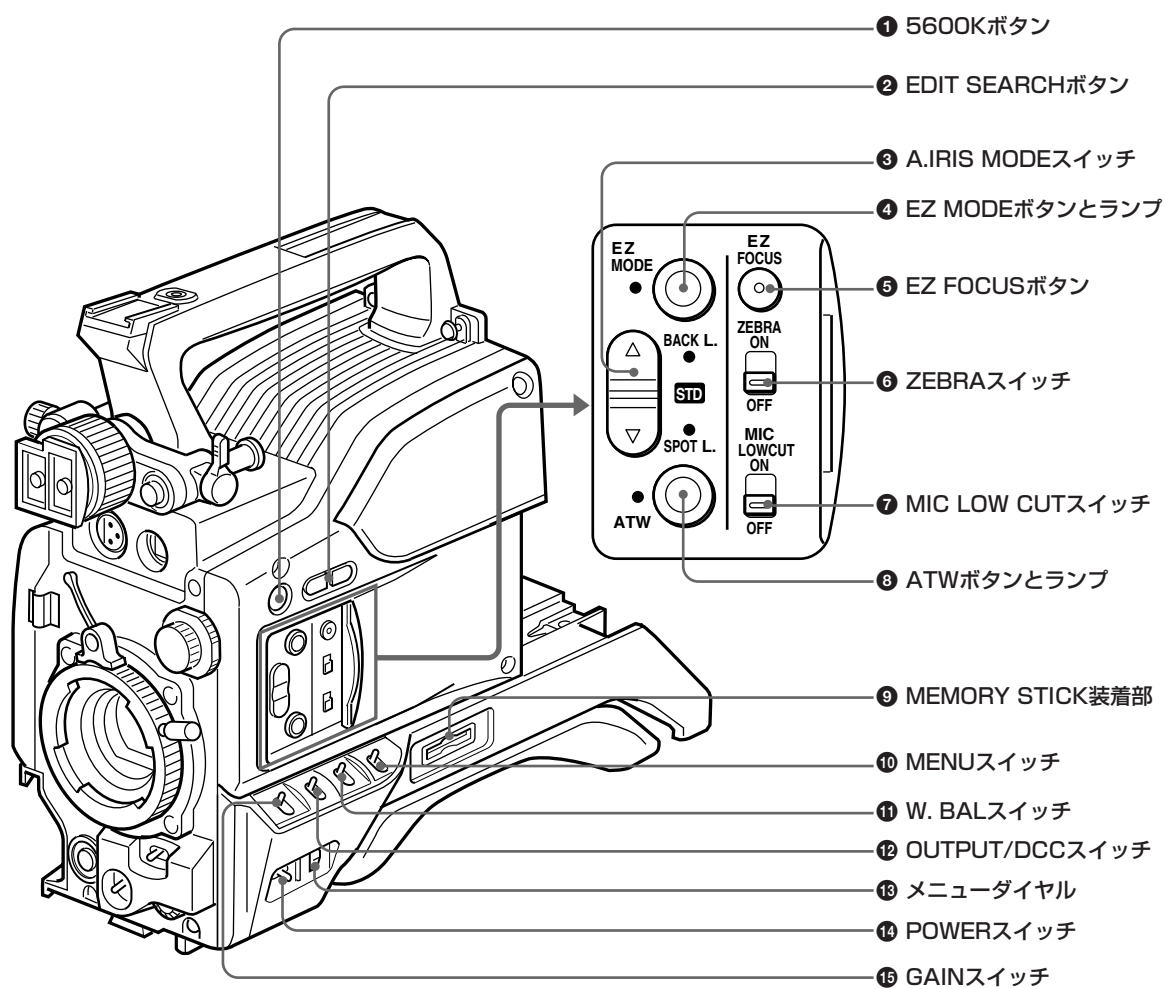
2) EIAJ CPR-1204に準拠する信号。

各部の名称と働き

カメラ本体

本機に周辺機器を取り付け／取り外しするときは、本機の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま取り付け／取り外しをすると、正しく機能しない場合があります。

右側面



① 5600Kボタン

押すと点灯し、撮影するときの標準の色温度が5600Kに切り換わります。日中の屋外での撮影や色温度の高い照明を使用した撮影のときに使用します。

ワイドバンドホワイトバランスが設定されているときにホワイトバランスを調整すると、自動的に点灯、消灯することがあります。

② EDIT SEARCH (エディットサーチ) ボタン (DSR-1接続時)

DSR-1を取り付けて記録している場合、記録一時停止中に押すと、押している間テープをサーチ再生しながら、つなぎ撮りのポイントをすばやくさがせます。再生速度は2段階に切り換えられ、ボタンを押し込むと再生速度が1段階上がります。

③ A.IRIS MODE (絞り自動調整モード切り換え) スイッチ
絞りを自動調整にして撮影する(レンズの絞り切り換えスイッチをAに設定) ときに、撮影条件に応じて切り換えます。

BACK L.にすると、逆光状態の被写体を明るく撮影できます。SPOT L.にすると、スポットライトの当たっている被写体をきれいに撮影できます。標準状態で撮影するときはSTDにします。

④ EZ MODE (イージーモード) ボタンとランプ

カメラの設定状態を確認する時間がないときなどに、押し込んでONにします。

カメラの設定は標準的な状態に固定され、レンズの絞りとホワイトバランスは自動調整されます。

再度押してOFFに戻すと、本機の設定もONにする前の状態に戻ります。

ご注意

カメラコントロールユニットCCU-D50/TX50またはリモートコントロールユニットRM-M7G、リモートコントロールパネルRCP-D50/D51接続時は、EZモードは機能しません。

⑤ EZ FOCUS (イージーフォーカス) ボタン

レンズの絞りを開放にし、撮影前にピントを正確かつ容易に合わせられるようにします (EZフォーカス機能)。

押してEZフォーカス機能をONにするとビューファインダー画面にEZ FOCUSと表示されます。OFFにするには、再度押します。再度押さない場合も、約10秒経過すると自動的にOFFになります。

ご注意

EZフォーカス機能をONにしたまま、本機またはレンズのVTRボタンを押すと自動的にOFFになり、記録が開始されます。

⑥ ZEBRA (ゼブラ) スイッチ

ビューファインダー画面にゼブラパターン(斜めのしま模様)を表示させたいとき、ONにします。

OPERATIONメニューの9ページ<ZEBRA> (67ページ参照) で、ゼブラ1 (基準ビデオレベルを50~109IREの範囲で設定可能) を表示するか、ゼブラ2 (ビデオレベル50~109IRE以上を対象で設定可能) を表示するか、または両方同時に表示するかを選択します。

⑦ MIC LOW CUT (マイク低音カット) スイッチ

風による雑音をカットしたいときONにします。通常はOFFにします。

⑧ ATW (自動追尾ホワイトバランス) ボタンとランプ

照明条件の変化に応じ、ホワイトバランスを自動調整したいとき、このボタンを押してランプを点灯させます (81ページ参照)。

⑨ MEMORY STICK (メモリースティック) 装着部

ファイル情報を保存するためのメモリースティックを装着します。

◆詳しくは「メモリースティックについて」(45ページ参照) をご覧ください。

⑩ MENU (メニュー) スイッチ

ON/CANCEL側に押すとUSERメニューが表示されます。OFF/STATUS側に押すと、本機の設定状態 (ステータス画面) が表示されます。

⑪ W. BAL (ホワイトバランス) スイッチ

ホワイトバランスの調整値を、プリセット値、メモリーAまたはBに記憶させた値の中から選択します (80ページ参照)。

⑫ OUTPUT/DCC (カラーバー出力/ダイナミックコントロール) スイッチ

DCC機能の切り換え、およびカラーバーの出力に使用します。

通常はCAM/ONに設定してご使用ください。

CAM/ON: DCC機能を働かせます。高輝度の被写体を撮るときに、色飛びを抑えます。

CAM/OFF: DCC機能がOFFのとき、PAINTメニューのP5ページ<KNEE/WHITE CLIP>でKNEEをマニュアルで設定できます (68ページ参照)。

BARS: カラーバーを表示します。

⑬ MENUダイヤル

ダイヤルを回してメニューのページ送り、項目の移動、設定値の変更を行い、押して決定します。

◆メニュー操作については、第4章「ビューファインダー画面表示とメニュー」(53ページ)をご覧ください。

⑭ POWER (電源) スイッチ

カメラの電源をON/OFFします。ONにするには、下記の2つの設定のいずれかにします。

ON STBY : VTRが記録待機状態になります。この状態でカメラやレンズ、カメラアダプターのVTRボタンを押すと、ただちに記録が開始します。

ON SAVE : VTRは節電状態(ヘッドドラムが停止している)になります。この状態でVTRボタンを押すと、数秒後に記録が開始します。

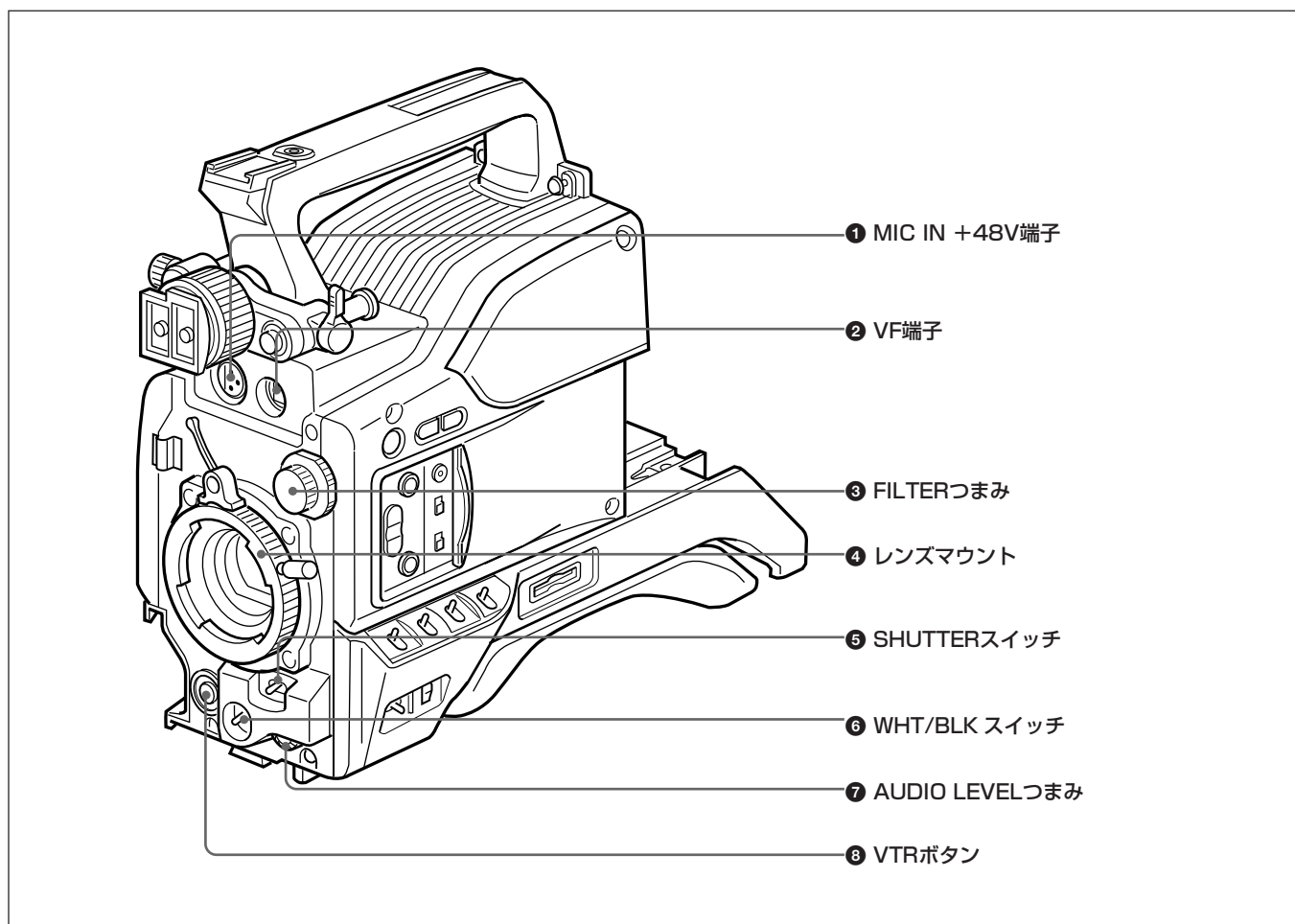
ご注意

このスイッチをON STBY、ON SAVEに設定したときのVTRの状態は、VTRのモデルによって異なります。

⑮ GAIN (ゲイン) スイッチ

ゲイン値を3段階(H、M、L)に切り換えます。H、M、Lに対応する値は-3dBから+36dBの範囲内で選択できます(66ページ参照)。出荷時設定は18dB(H)、9dB(M)、0dB(L)です。

正面



① MIC IN (マイク入力) +48V端子 (XLR型、3ピン、メス)

付属または外部電源 (+48V) 対応の別売りマイクを接続します。

② VF (ビューファインダー) 端子 (20ピン)

ビューファインダーDXF-801のビューファインダーコネクタを接続します。

③ FILTER (フィルター) つまみ

被写体を照らしている光源に応じて、NDフィルターを切り換えます (48ページ参照)。

④ レンズマウント

ズームレンズを取り付けます。

⑤ SHUTTER (シャッター) スイッチ

シャッターのON/OFF、シャッタースピードおよびCLS (クリアスキャン) の設定に使用します (83ページ参照)。通常はOFFで使

⑥ WHT/BLK (ホワイトバランス/ブラックバランス) スイッチ

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整に使用します (79～82ページ参照)。

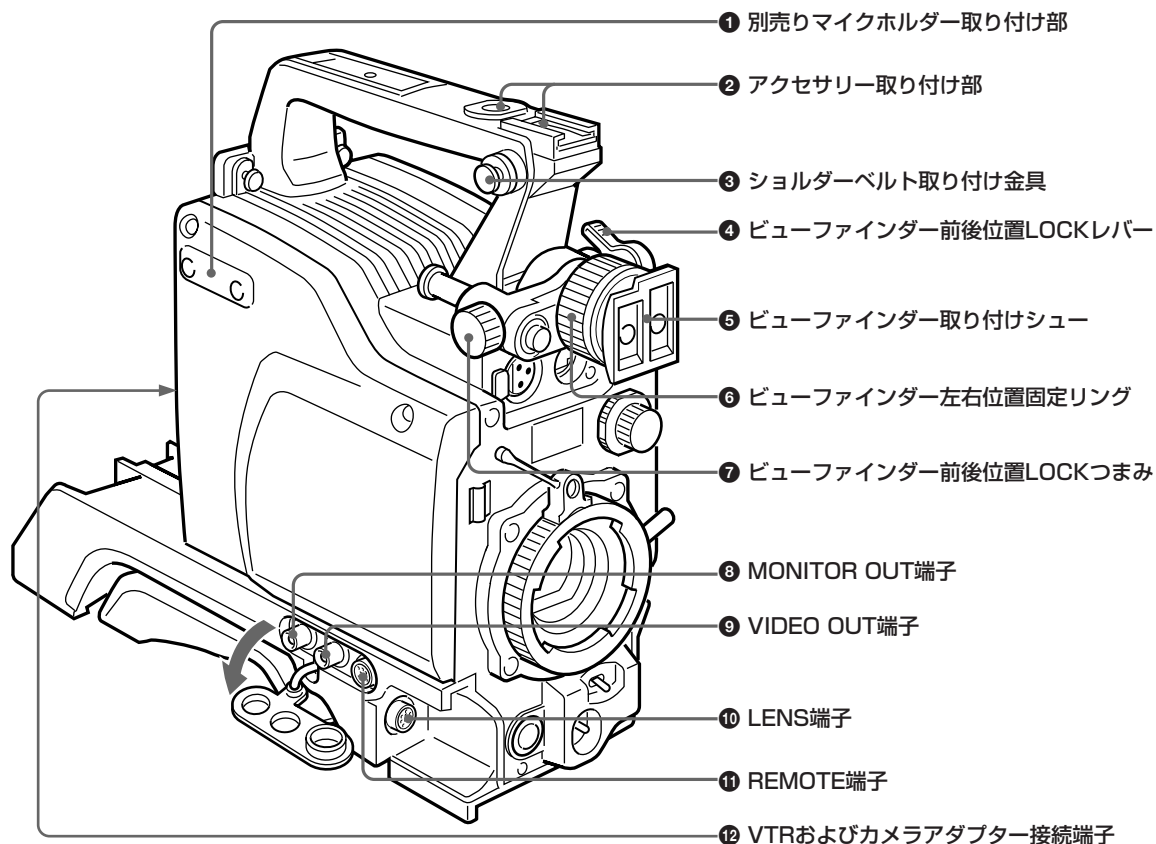
⑦ AUDIO LEVEL (オーディオレベル) つまみ

本機にDSR-1を取り付けて、記録音量を手動調整しているときに、このつまみでチャンネル1の音声記録レベルを手動調整できます。

⑧ VTRボタン

VTRの記録をスタート/ストップさせます。

左側面と上部



① 別売りマイクホルダー取り付け部

別売りのマイクホルダー CAC-12を取り付けることができます（36ページ参照）。

② アクセサリー取り付け部

別売りのビデオライトなど、アクセサリーを取り付けます。

③ ショルダーベルト取り付け金具

VTRに付属のショルダーベルトを取り付けます。VTR側の金具と対で使用します。

④ ビューファインダー前後位置LOCKレバー

ビューファインダーの位置を前後に調整するとき、このレバーをゆるめます（35ページ参照）。

⑤ ビューファインダー取り付けシュー

ビューファインダー DXF-801を取り付けます。

⑥ ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの位置を左右方向に調整するとき、このリングをゆるめます（35ページ参照）。

⑦ ビューファインダー前後位置LOCKつまみ

ビューファインダーの位置を前後に調整するとき、このつまみをゆるめます（35ページ参照）。

⑧ MONITOR OUT (モニター出力) 端子 (BNC型)

ビューファインダー画面に表示される文字を付加したビデオ信号を出力します。別売りのLCDカラーモニターなどを接続することができます。

⑨ VIDEO OUT (ビデオ出力) 端子 (BNC型)

カメラで撮影している映像を出力します。

⑩ LENS (レンズ) 端子 (2/3型レンズ用12ピン)

レンズコネクタを接続します。

⑪ REMOTE (リモート) 端子 (10ピン)

別売りのリモートコントロールユニットRM-M7GやリモートコントロールパネルRCP-TX50、RCP-D50/D51を接続します。RM-M7Gは、底部のCAMERA SELECTスイッチを1に設定して使用してください。

ご注意

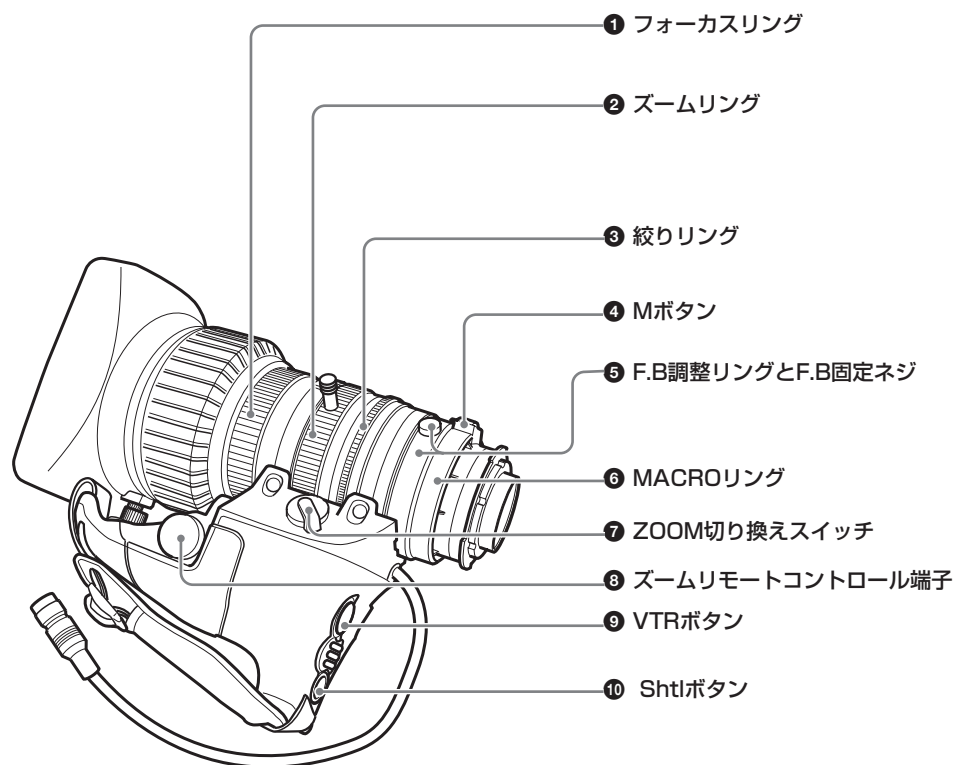
リモートコントロールユニットやリモートコントロールパネルを使うときは、以下の点にご注意ください。

- 本機をカメラコントロールユニットから操作するときは、リモートコントロールユニットまたはリモートコントロールパネルをカメラコントロールユニットに接続してください。
- 本機にリモートコントロールユニットやリモートコントロールパネルを接続すると、EZモードは機能しません。
- 本機にリモートコントロールユニットやリモートコントロールパネルを接続／取り外しするときは、本機の電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま接続／取り外しをすると、正常に動作しない場合があります。

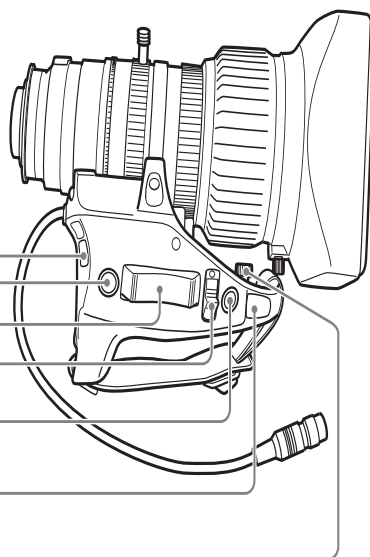
⑫ VTRおよびカメラアダプター接続端子 (PRO 76ピンDIGITALおよびPRO 50ピン)

VTRまたはカメラアダプターを接続します。PRO 76ピンDIGITALはDSR-1およびカメラアダプターCA-D50、CA-TX50の接続用端子、PRO 50ピンはPVV-3の接続用端子です。

ズームレンズVCL-920BY



- ⑪ ディップスイッチ
⑫ RETボタン
⑬ 電動ズームレバー
⑭ IRIS切り換えスイッチ
⑮ インスタント自動絞りボタン
⑯ IG調整トリマー
⑰ シャトルメモリーポジション設定つまみ



① フォーカスリング

被写体にピントを合わせるとき、このリングを回します。

② ズームリング

手動でズームを操作するとき、ZOOM切り換えスイッチ ⑦ をMANU.に切り換えてから、このリングを回します。

③ 絞りリング

手で絞りを調整するとき、IRIS 切り換えスイッチ⑭をMに切り換えてから、このリングを回します。

④ M (マクロ) ボタン

被写体を接写するとき、このボタンを押しながら、MACROリング⑥を回します (89 ページ参照)。

⑤ F.B (フランジバック) 調整リングとF.B固定ネジ

F.B調整リング: フランジバックを調整するとき、F.B固定ネジをゆるめてこのリングを回します (86 ページ参照)。

F.B固定ネジ: F.B調整リングを固定します。

⑥ MACRO (接写) リング

被写体を接写するとき、Mボタン④を押しながら、このリングを回します (89 ページ参照)。

⑦ ZOOM (ズーム) 切り換えスイッチ

ズーム操作の方法を選びます。

SERVO: 電動ズーム

MANU. (MANUAL): 手動ズーム

⑧ ズームリモートコントロール端子 (8ピン)

レンズリモートコントロールユニットLO-26 (別売り) を接続します。

⑨ VTRボタン

VTR接続時: VTRの記録の開始および停止に使用します。1度押すと記録が開始し、もう1度押すと停止します。

カメラコントロールユニットCCU-D50接続時: 押している間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオの画像をビューファインダーで見ることができます。(VTRの記録開始、停止はVTR側で操作します。)

カメラコントロールユニットCCU-TX50接続時: 押している間、カメラからのインターカム音声をカメラコントロールユニットへ送ることができます。

⑩ Shtl (シャトルショット) ボタン

シャトルショット機能を使う場合に使用します。

⑪ ディップスイッチ

シャトルショット機能に関する設定用のディップスイッチです。この部分は通常ゴムキャップで覆われています。

⑫ RET (リターンビデオ) ボタン

画像の確認に使用します。

ポータブルVTR接続時: VTRで記録中は、押している間、VTRからのE-E画像¹⁾をビューファインダーで見ることができます。

DSR-1/PVV-3と一体化しているとき: 記録一時停止中に押すと、記録した最後の数秒間をビューファインダーで見える(レックレビューする)ことができます。

カメラコントロールユニットCCU-D50/TX50接続時:

押している間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオの画像をビューファインダーで見ることができます。

このボタンを押していないときは、カメラの画像がビューファインダーに表示されます。

⑬ 電動ズームレバー

電動ズーム操作するときに使います。レバーを深く押すとズーミングが速くなり、浅く押すと遅くなります。

W側: 広角にしたいとき

T側: 望遠にしたいとき

⑭ IRIS (絞り) 切り換えスイッチ

絞りの調整方法を選びます。

A (AUTOMATIC): 自動調整

M (MANUAL): 手動調整

⑮ インスタント自動絞りボタン

絞りの手動調整中、一時的に自動調整を行いたいとき、このボタンを押します。押している間、絞りが自動調整になります。

⑯ IG (アイリスゲイン) 調整トリマー

アイリスゲインを調整するために使用します。

この部分は通常ゴムキャップで覆われています。

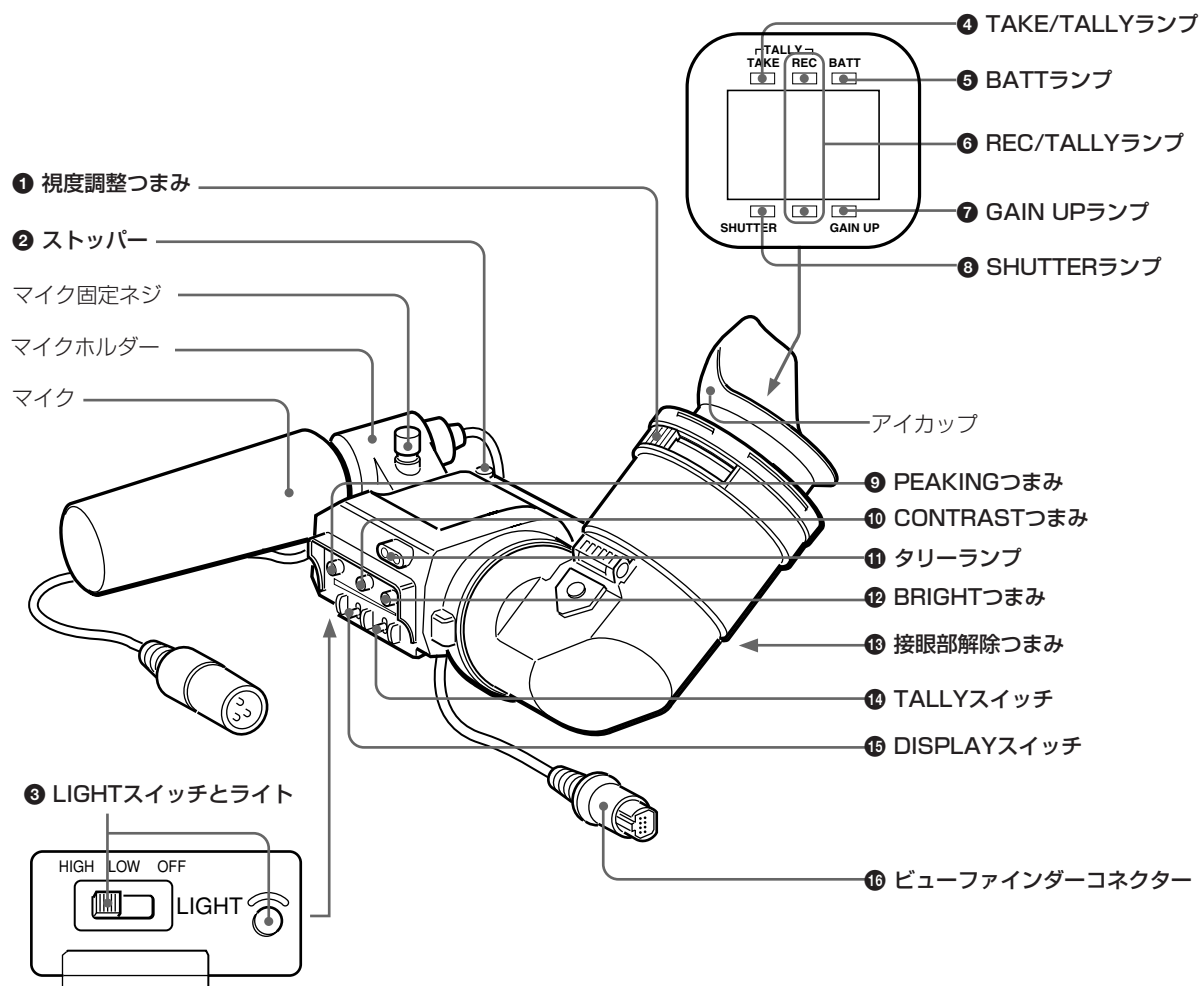
⑰ シャトルメモリーポジション設定つまみ

シャトルショット機能を使う場合に使用します。

1) E-E画像: Electric-to-Electricモードの画像。入力信号がヘッドやテープなどの磁気変換回路を通らず、VTR内部の電気回路のみを通して出力される。

ビューファインダー-DXF-801

DXF-801は、使用するカメラ/カムコーダーに応じて、スキャンサイズを4:3または16:9に切り換えることができます。



① 視度調整つまみ

個人差のある視度を調整してビューファインダー画面を見やすくしたいとき回します (85 ページ参照)。

② ストッパー

ビューファインダーを取り外すとき引き上げます (35 ページ参照)。

③ LIGHTスイッチとライト

レンズを照明するライトとそのコントロールスイッチです。

HIGH : 明るくする。

LOW : 暗くする。

OFF : 消灯する。

④ TAKE/TALLY (テイク/タリー) ランプ (オレンジ)

CCU 接続時に、グリーンタリーランプとして働きます。

⑤ BATT (バッテリー) ランプ (赤)

バッテリーの消耗を知らせます。

⑥ REC/TALLY (記録/タリー) ランプ (赤)

- 本機またはレンズのVTRボタン (19ページの⑧または23ページの⑨) を押した後、記録が開始するまでの間点滅し、記録が開始すると点灯に変わります。
- カメラコントロールユニット使用時、本機の映像が選択されると点灯します。
- 異常の発生を知らせます (93ページ参照)。
- メニューの設定により、下側のランプを機能するようにすることもできます (67ページ参照)。

⑦ GAIN UP (ゲイン) ランプ (オレンジ)

ゲインが3dB以上のとき点灯します。

⑧ SHUTTER (シャッター) ランプ (赤)

SHUTTERスイッチ (19ページの⑤) をONにすると点灯します。

⑨ PEAKING (ピーキング) つまみ

ビューファインダー画像の輪郭強調を調整します (85ページ参照)。

⑩ CONTRAST (コントラスト) つまみ

ビューファインダー画像のコントラスト (濃淡) を調整します (85ページ参照)。

⑪ タリーランプ

TALLYスイッチ⑭がONのとき、REC/TALLYランプ⑥と同様に働きます。

⑫ BRIGHT (明るさ) つまみ

ビューファインダー画像の明るさを調整します (85ページ参照)。

⑬ 接眼部解除つまみ

ビューファインダー画面を直接見たいとき、このつまみを押して接眼部をはね上げます。

⑭ TALLY (タリー) スイッチ

タリーランプ⑪を働かせたいときONにします。

⑮ DISPLAY (ディスプレイ) スイッチ

ビューファインダーおよびMONITOR OUT端子に接続されているモニターに表示される文字情報を消したいときは、このスイッチをOFFにします。ただし、OPERATIONメニューの7ページ<VF DISPLAY1>、8ページ<VF DISPLAY2>で設定がOFFになっている項目は、このスイッチを入れても表示されません。

ご注意

OPERATIONメニューの10ページ<MONITOR OUT>でCHARACTERがOFFに設定されているときは、このスイッチをONにしてもMONITOR OUT端子からは文字信号は出力されません。

⑯ ビューファインダーコネクター (20ピン)

本機のVF端子 (16ページの②) と接続します。

取り付けと接続

本機に周辺機器を取り付け／取り外しするときは、本機の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま取り付け、取り外しをすると、正しく機能しない場合があります。

リチウム電池を交換する

本機は、リチウム電池（CR2032）により日付・時刻のデータを保持しています。

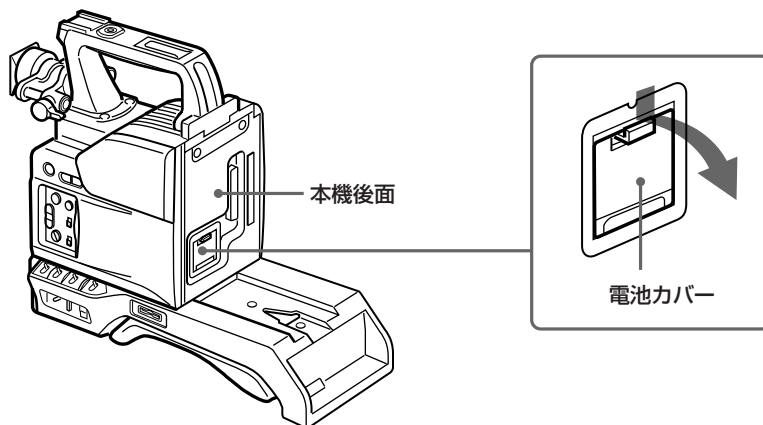
リチウム電池の能力が低下すると、時計表示が出なくなります。その場合は、新しいリチウム電池と交換して、再度日時を設定してください（84ページ参照）。

ご注意

- リチウム電池の交換はリチウム電池の取扱説明書をよく読んで行ってください。リチウム電池は取り扱いを誤ると爆発する危険性があります。
- リチウム電池は市販のCR2032を使用してください。他のリチウム電池は、振動などで外れることがあります。この番号のリチウム電池が入手できない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

- 1 電池カバー（本機後面）のつまみを下側に押しながら手前に引いて開ける。

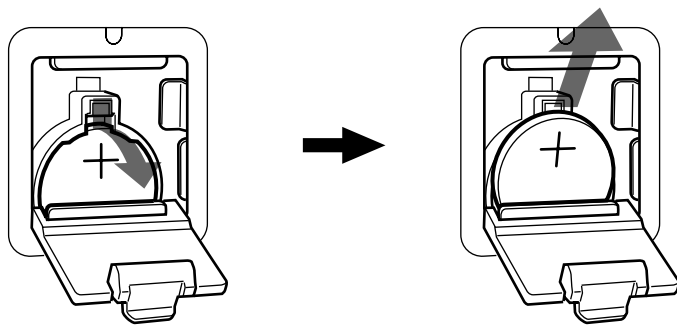
◆ カメラアダプターやVTRを取り外す場合は、「VTRを取り付ける」（29ページ）をご覧ください。



（続く）

リチウム電池を交換する

2 リチウム電池を取り出す。



押し下げて手前に取り出す。

3 手順2で電池を取り出したときと逆の操作で、新しいリチウム電池を入れる。 このとき、電池の+表示が手前にくるようにする。

4 電池カバーを元に戻す。

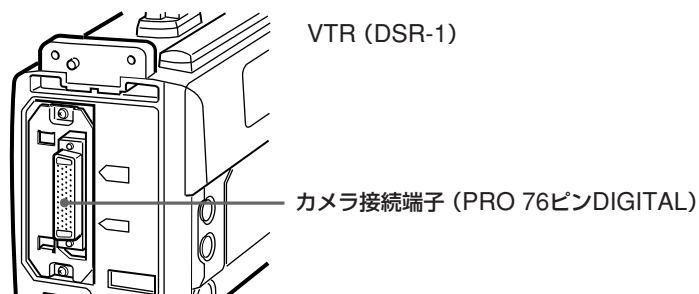
VTRを取り付ける

ここでは、DSR-1を取り付ける場合の手順を説明します。PVV-3を取り付ける手順も同様です。

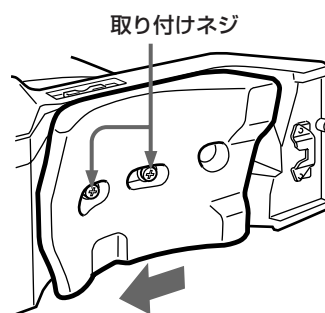
◆ 本機とVTRを一体化して、取っ手をカムコーダー用の取っ手に付け替えるときは、「カムコーダー用の取っ手を使う」(30 ページ) をご覧ください。

- 1 VTRのカメラ接続端子をPRO 76ピンDIGITALにする。(PVV-3のカメラ接続端子は、PRO 50ピンです。)

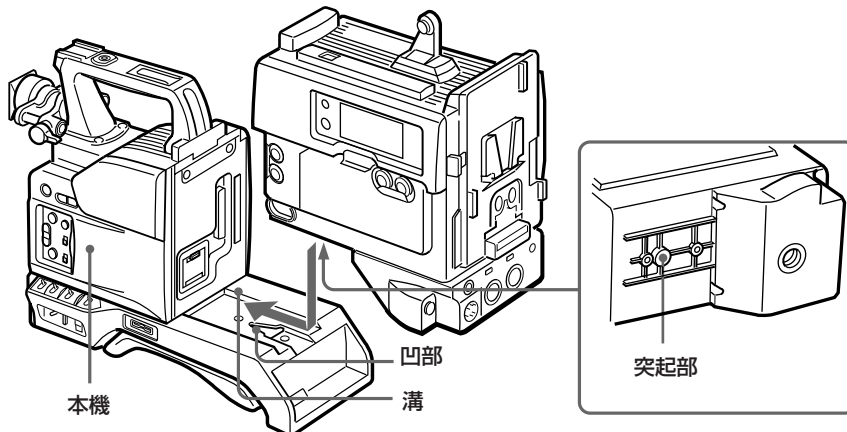
◆ 方法については、DSR-1の取扱説明書をご覧ください。



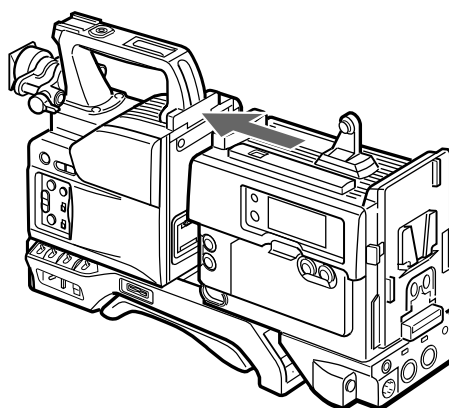
- 2 2本の取り付けネジをゆるめて、ショルダーパッドを前方へいっぱい動かす。



- 3 VTR底面の突起部を本機の凹部にはめる。



- 4 溝に沿ってVTRをスライドさせ、しっかり止まるころまではめ込み、接続部およびショルダーパッド部の各2本の取り付けネジを締める。



カムコーダー用の取っ手を使う

本機をVTRと一体化するときは、本機の取っ手を外して、カムコーダー用の取っ手（別売り）に付け換えることができます。

取り付けるVTRによって、取っ手の種類と取り付け手順が異なります。

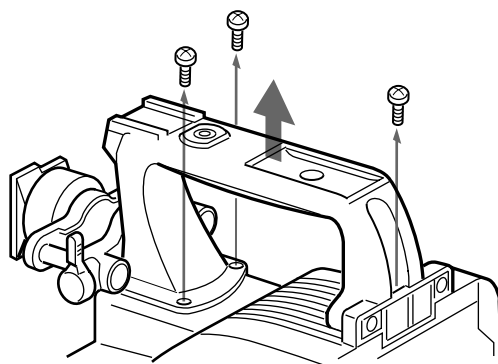
DSR-1を取り付ける場合

CAC-H101（別売り）が必要です。

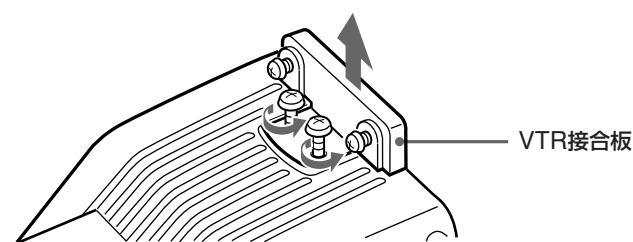
- 1 ビューファインダーを一番前の位置に移動する。

◆ 操作については、「ビューファインダーの位置を調整するには」（35ページ）をご覧ください。

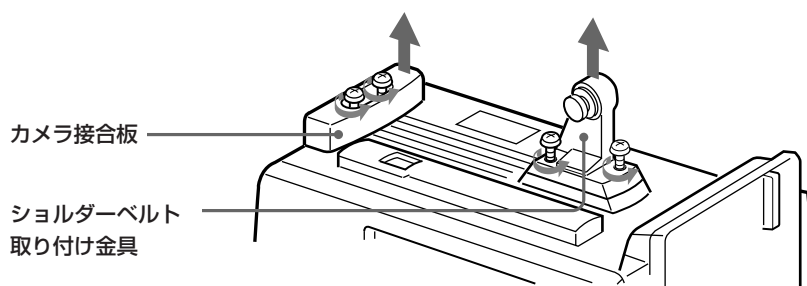
- 2 取っ手を固定している3カ所のネジをゆるめて、取っ手を外す。



- 3 VTR接合板を外す。

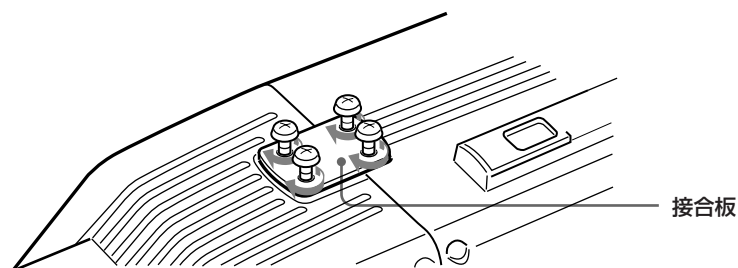


- 4 DSR-1のショルダーベルト取り付け金具と、カメラ接合板を外す。

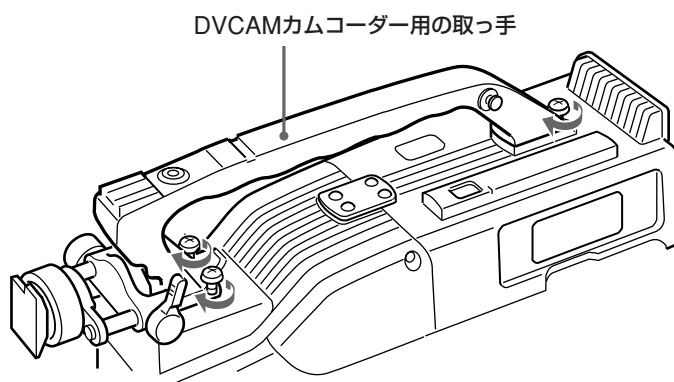


5 「VTRを取り付ける」の手順**1**～**3**を実行する。

6 本機とVTRの接合部のくぼみに、接合板 (DVCAMカムコーダー用の取っ手に付属) をはめ、ネジ止めする。また、ショルダーパッド部の取り付けネジ2本を締める (38 ページ参照)。



7 DVCAMカムコーダー用の取っ手をネジ止めする。



VTRを取り付ける

PVV-3を取り付ける場合

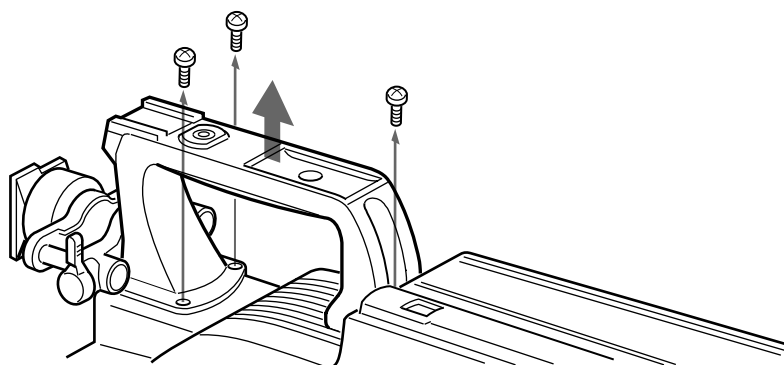
CAC-H102（別売り）が必要です。

1 「VTRを取り付ける」の手順**2～4**を実行する。

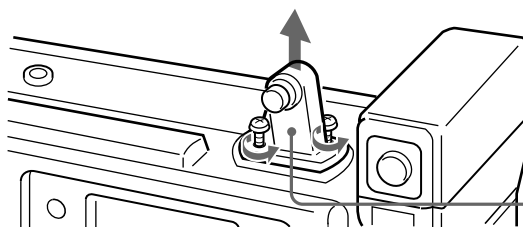
2 ビューファインダーを一番前の位置に移動する。

◆操作については、「ビューファインダーの位置を調整するには」（35ページ）をご覧ください。

3 取っ手を固定している3カ所のネジをゆるめて、取っ手を外す。

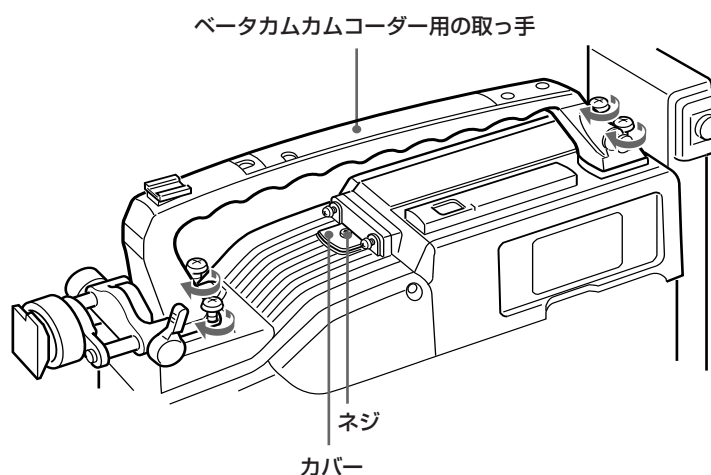


4 PVV-3のショルダーベルト取り付け金具を外す。



ショルダーベルト
取り付け金具

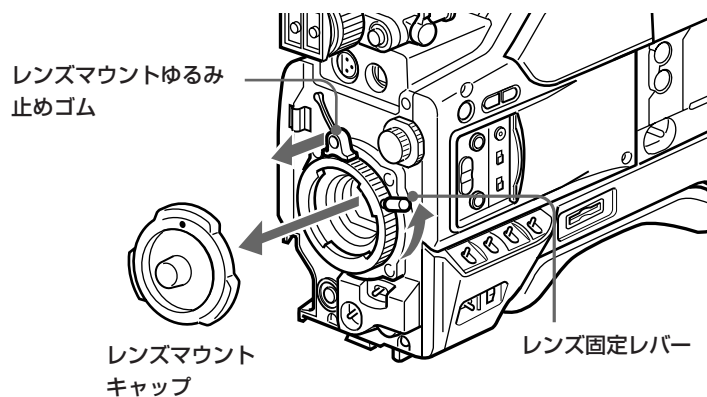
5 CAC-H102に付属のネジを使ってカバーを取り付け、ベータカムカムコーダー用の取っ手をネジ止める。



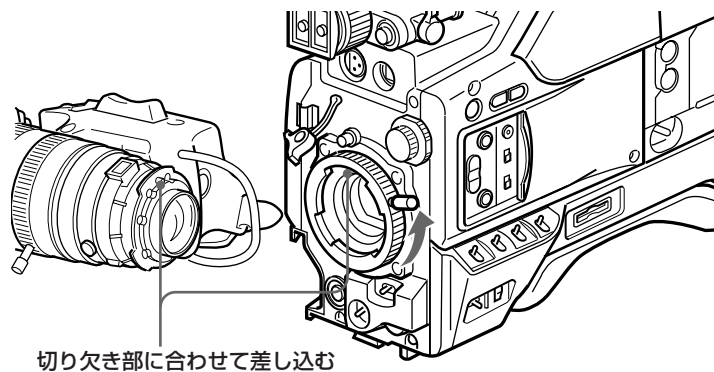
レンズを取り付ける

DXC-D50Kには、あらかじめレンズが取り付けられています。その他の場合は、次の手順でレンズを取り付けてください。

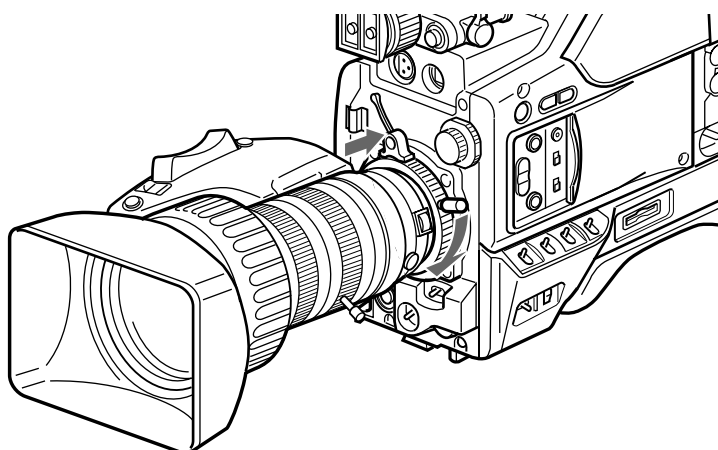
- 1 レンズマウントゆるみ止めゴムを外してから、レンズ固定レバーを押し上げ、レンズマウントキャップを外す。



- 2 レンズ固定レバーを左いっぱいまで回した状態で、レンズ側の突起とカメラ側の切り欠き部を合わせてレンズを差し込む。

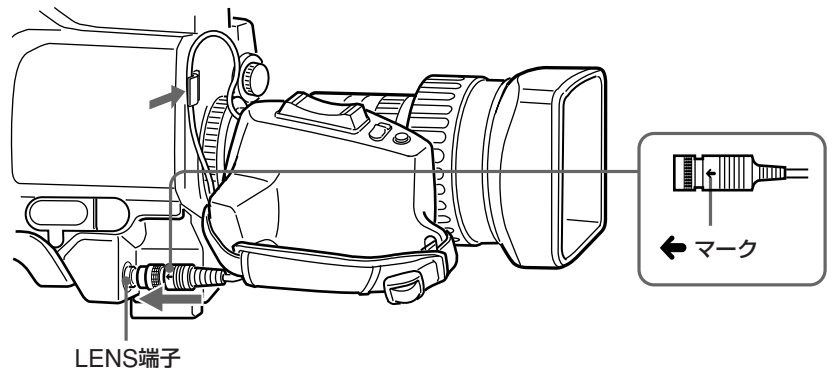


- 3 レンズを支えながら、レンズ固定レバーを下までいっぱい回して締め、レンズマウントゆるみ止めゴムを元に戻しておく。



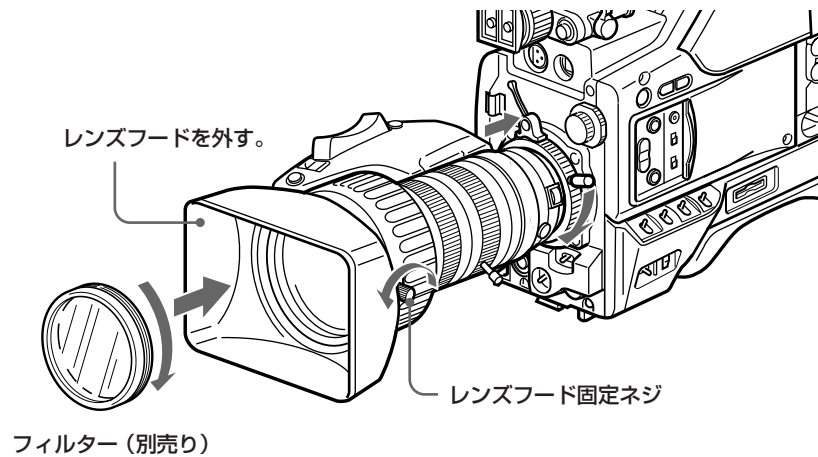
レンズを取り付ける

- 4** ←マークの位置を目安に、コネクターをカチッと音がするまでLENS端子に差し込み、コードをコードクランパーに固定する。



別売りフィルターの取り付けかた

レンズフード固定ネジをゆるめてレンズフードを取り外してから、フィルターを取り付けます。



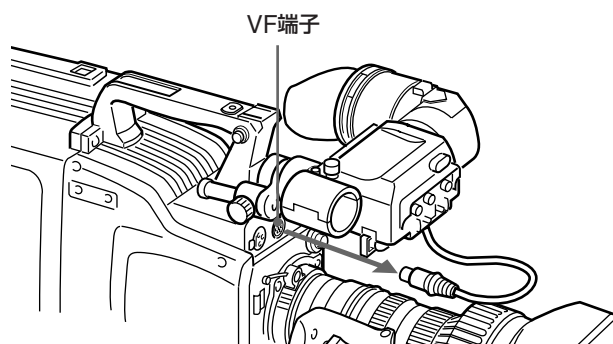
アクセサリーを使う

ビューファインダーの使いかた

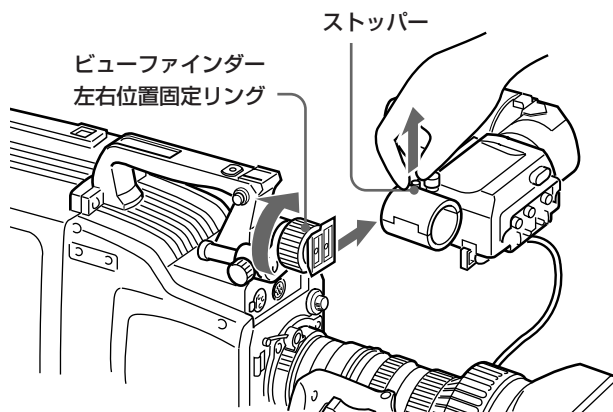
ビューファインダーを取り外す

あらかじめビューファインダーからマイクを取り外しておきます。

- 1 ビューファインダーコネクターをVF端子（正面）から引き抜く。



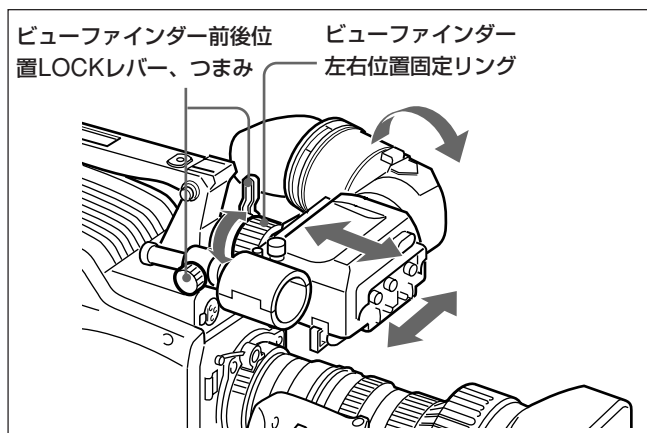
- 2 ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめ、ストッパーを引き上げながらビューファインダーを引き出す。



ビューファインダーを取り付けるには
取り外しと逆の手順で行ってください。

ビューファインダーの位置を調整するには

左右位置を調整するときはビューファインダー左右位置固定リングを、前後位置を調整するときはビューファインダー前後位置LOCKレバーとつまみをゆるめます。



アクセサリーを使う

左目用アダプター

DXF-801に左目用アダプターを使うと左目でビューファインダーをのぞくことができます。

ご注意

このアダプターを取り付けた場合、本機をキャリングケースLC-HB330に収納することはできません。

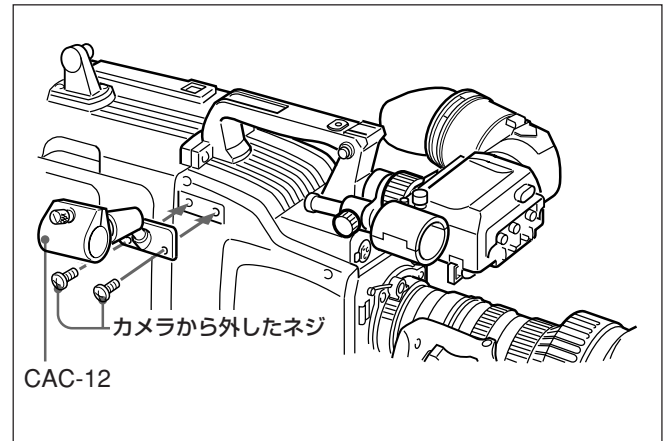
◆ 詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

別売りマイクを使う

ECM-670/672のように別売りの長いマイクを使う場合は、別売りのマイクホルダーCAC-12をカメラに取り付けてから、マイクを取り付けてください。

別売りマイクホルダーCAC-12の取り付けかた

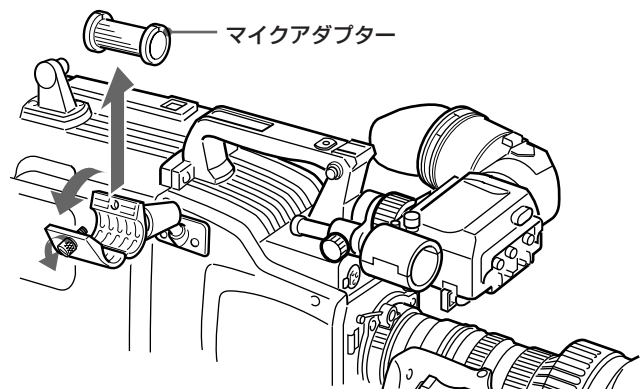
別売りマイクホルダー取り付け部の止めネジ2本 (M3×8) を外し、そのネジでマイクホルダーCAC-12を取り付けます。



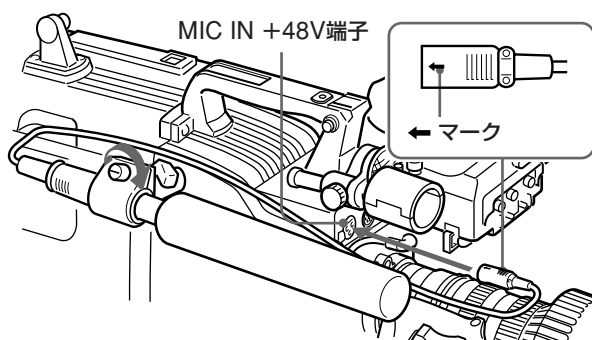
別売りマイクの取り付けかた

ここでは、別売りマイクECM-670を取り付ける場合について説明します。

- 1 マイクホルダーCAC-12のネジをゆるめてホルダーを開き、マイクアダプターをECM-670に付属のものと入れ替える。



- 2** マイクをマイクホルダーに入れて、ホルダーを閉じ、ネジを締める。
マイクケーブルはMIC IN+48V端子に接続する。

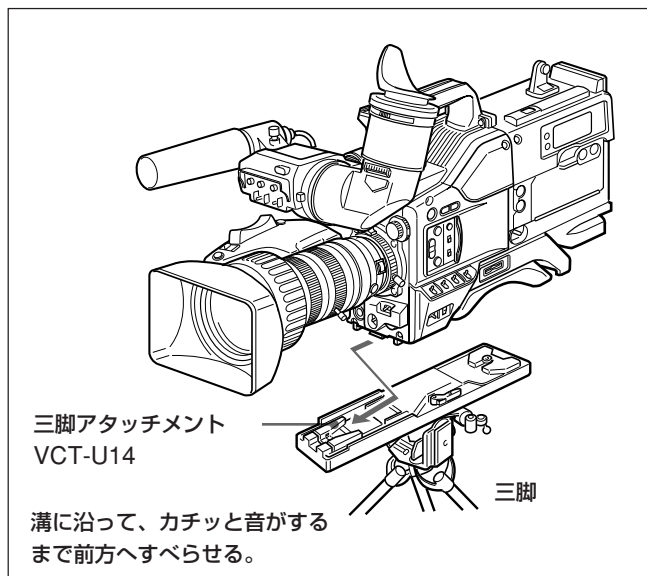


ECM-670以外の別売りマイク（+48V外部電源に対応のもの）を取り付けるには
ECM-670の取り付けと同様の手順で取り付けてください。ただし、マイクアダプターに関して次の相違があります。

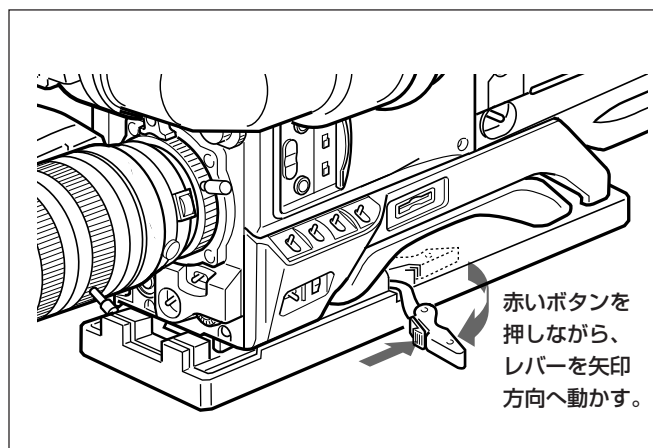
ECM-672：マイクアダプター不要。
細身のマイク（直径19mm）：CAC-12に付属のマイクアダプターを使用。

三脚に取り付ける

三脚アタッチメントVCT-U14を三脚に取り付けてから、三脚アタッチメントにカメラを取り付けます。

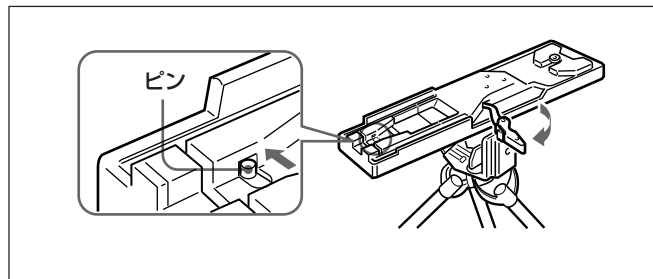


外しかた



で注意

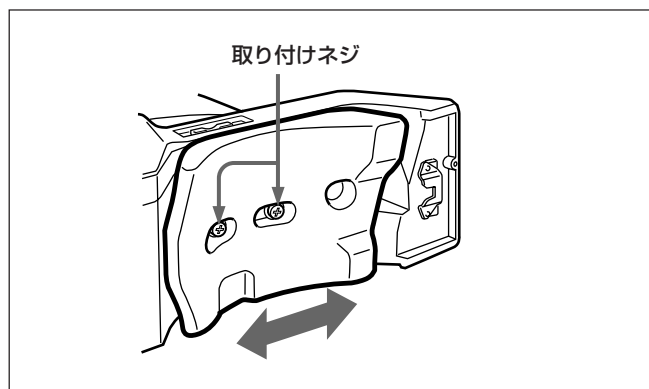
カメラを取り外した後、三脚アタッチメントのピンが元の位置に戻らないときは、赤いボタンを押しながらレバーを矢印の方へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが残ったままでは、カメラの取り付けができません。



ショルダーパッドの調節

ショルダーパッドの位置を次の手順で調整することができます。

- 1 2本のネジをゆるめる。



- 2 ショルダーパッドを前後に動かし、位置を決める。

- 3 2本のネジを締める。

別売りキャリングケースLC-HB330を使う

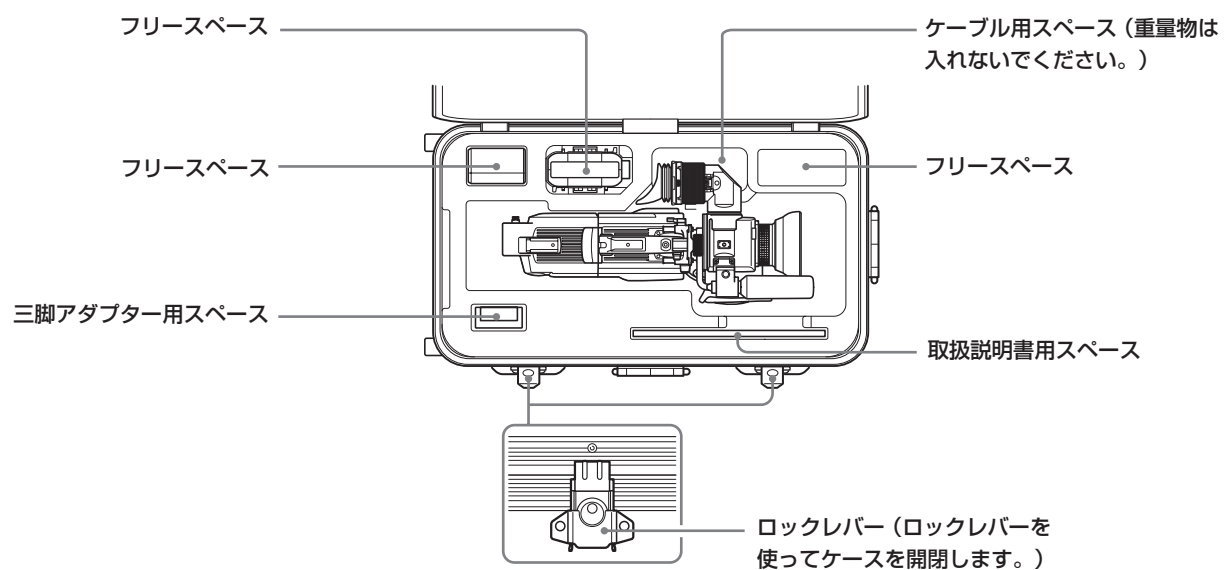
キャリングケースの収納例

下記の機器と一体化したまま収納できます。

- ・カメラアダプター CA-D50、CA-TX50
- ・ビューファインダー DXF-801
- ・マイクロホン ECM-670/ECM-672
- ・ズームレンズ (VCL-920BYなど)
- ・マイクホルダー CAC-12

ご注意

キャリングケースLC-HB330を使う前に、必ずLC-HB330に付属の取扱説明書をお読みください。



ポータブルVTRを接続する

別売りのカメラアダプターCA-D50とカメラケーブルを使って、ポータブルVTRを接続することができます。接続したVTRに応じて、カメラアダプターのVTR切り換えスイッチを正しく切り換えてください。

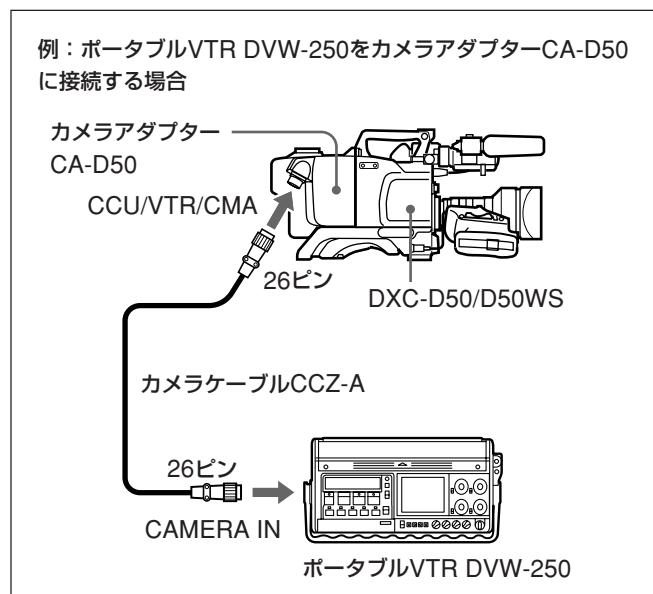
- ◆ 他社のVTRを接続する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

接続前の確認

ビデオカメラ、カメラアダプター、VTRなどの電源が切っていることを確認してください。

接続のしかた

カメラケーブルを使って、カメラアダプターのCCU/VTR/CMA端子とVTRのカメラ入力端子を接続します。



カメラケーブルについて

- 接続するVTRのカメラ端子に合ったカメラケーブルをご使用ください。
- カメラケーブルは10mまで延長できます。
- ◆ 詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ビデオモニターについて

- S-VHS VTRをお使いになる場合は、S映像入力端子付きのビデオモニターを使って、VTRとモニターのS映像端子を接続すると、ドット妨害のない美しい映像をモニターすることができます。
- 本機のVIDEO OUT端子から出力される映像信号は、コンポジットビデオ信号です。VIDEO OUT端子は、モニターのコンポジットビデオ入力端子と接続してください。

複数のカメラを接続する（カメラコントロールユニットを使う場合）

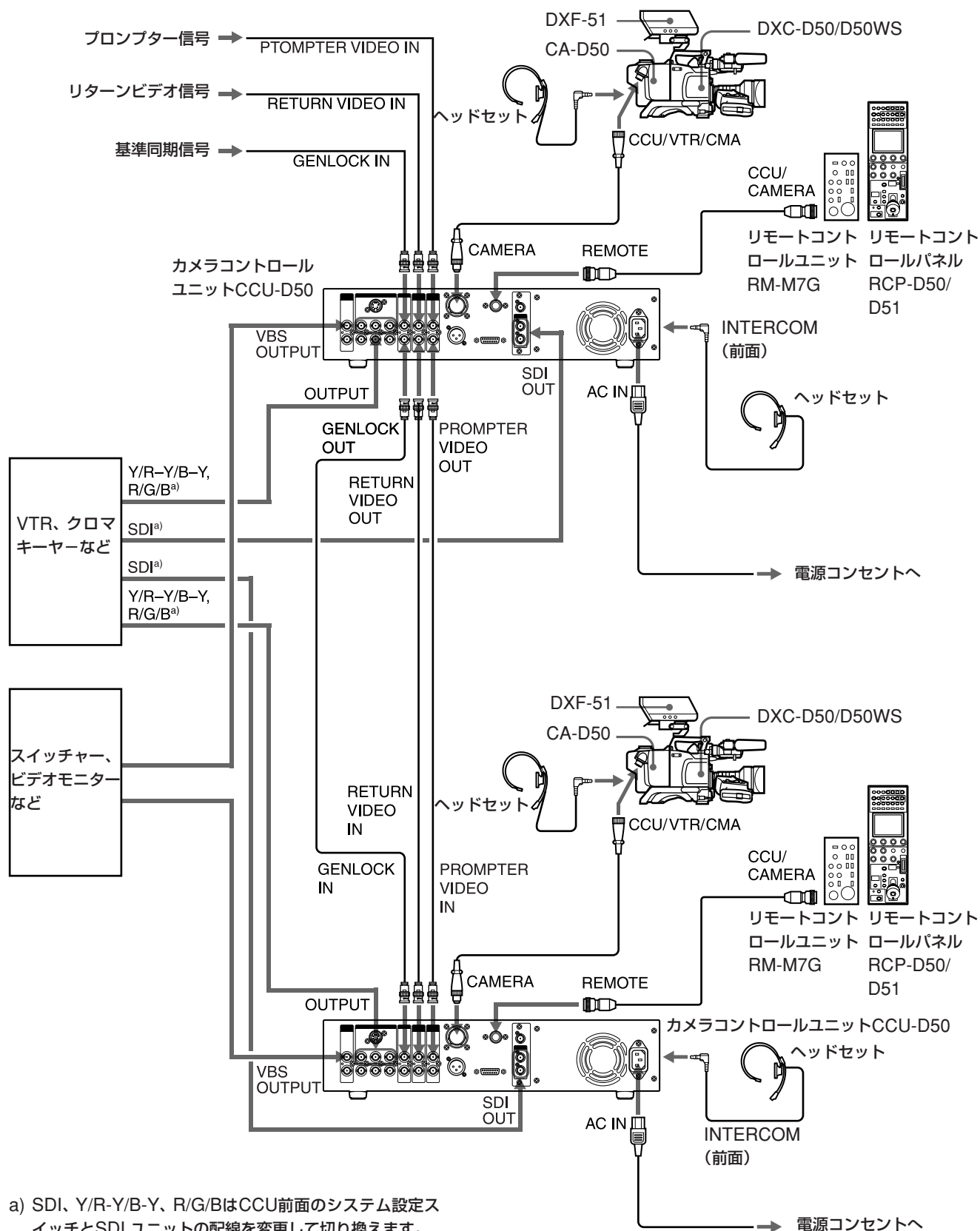
ビデオスタジオでカメラを数台使うときは、カメラ間の画調・色調を合わせるためにカメラコントロールユニットCCU-D50/TX50や、ワイプやスイッチングを行うための特殊効果装置などが必要です。またスタジオ用ビューファインダーとしてDXF-51のご使用が便利です。

次ページの図はスタジオでのシステムの接続例です。

- ◆ 詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ご注意

- CCU-TX50を接続するときは、CA-TX50のコネクターはPRO 76ピン（DIGITAL）としてください。
- 接続するときは、本機および周辺機器の電源を切ってください。

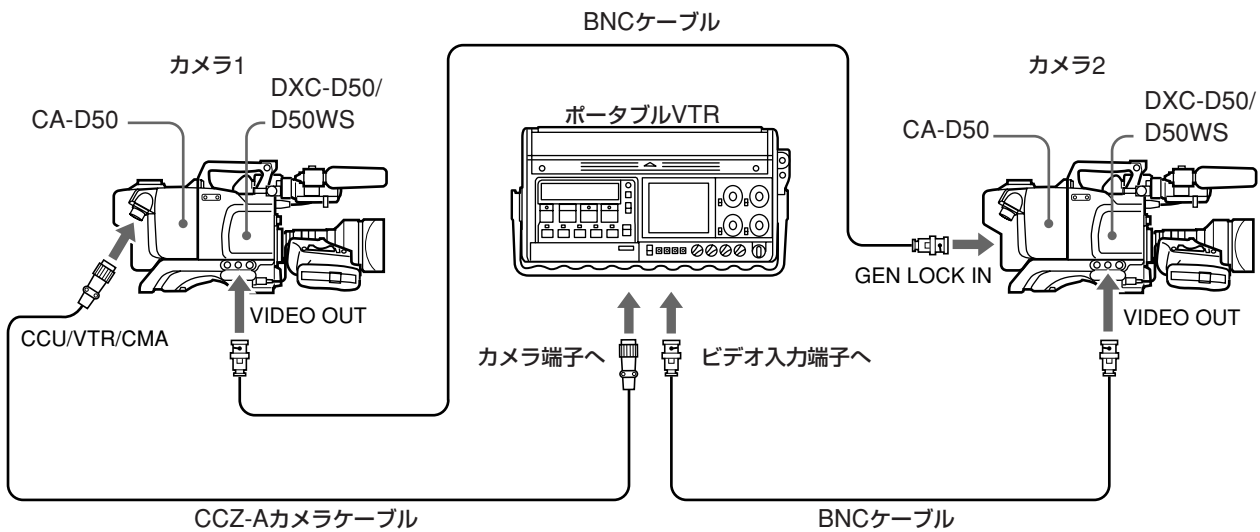


複数のカメラの同期運転（カメラコントロールユニットを使わない場合）

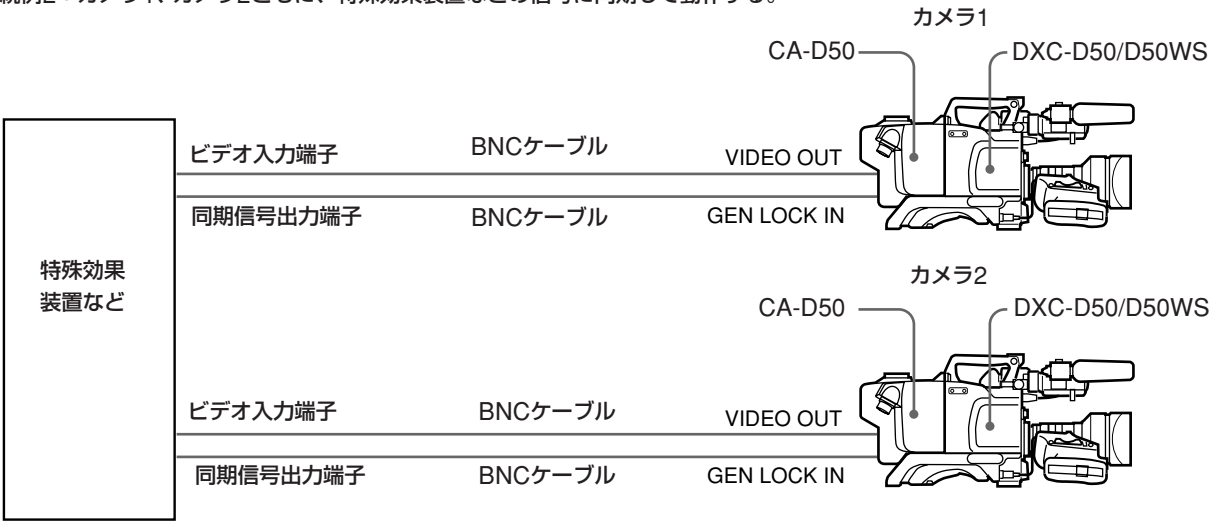
カメラコントロールユニットを使わずに2台以上のカメラを同期させて使う場合は、カメラアダプター（CA-D50など）のGEN LOCK IN端子に、外部同期信号（VBSまたはBS）を接続します。カメラはこの信号に同期して動作します。

外部同期信号との位相は、MAINTENANCEメニューで調整することができます（70ページ参照）。

接続例1：カメラ2がカメラ1の信号に同期して動作する。



接続例2：カメラ1、カメラ2ともに、特殊効果装置などの信号に同期して動作する。



本機はバッテリーパックとAC電源（別売りACアダプターCMA-8Aを使用）の2種類の電源で動作します。

- ◆ 使用できる電源について詳しくは、本機に接続するVTRまたはカメラアダプターの取扱説明書をご覧ください。

アントンバウアー社製のインテリジェントバッテリーシステムとウルトラライトシステムについて

アントンバウアー社製の特種なバッテリーマウントを本機に取り付けると、同社のインテリジェントバッテリーシステムとウルトラライトシステムが使用可能になります。

- ◆ 詳しくは、同社製品の取り扱い店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックは、使用する前に必ず充電してください。

ご注意

- バッテリーパックの金属部分には、他の金属類が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを抜いておいてください。
- 使用直後、バッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

バッテリーパックによる動作時間

カメラアダプター、DSR-1、PVV-3を取り付けた場合、カメラと1.5型ビューファインダーの常温での連続録画動作時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	連続録画動作時間
NP-1B ^{a)}	約55分
BP-90A ^{b)}	約115分
BP-L40A ^{c)}	約70分
BP-M50 ^{c)}	約90分
BP-IL75 ^{c)}	約140分
BP-M100 ^{c)}	約200分
BP-GL65 ^{c)}	約120分
BP-GL95 ^{c)}	約200分

- a) DSR-1を取り付けた場合は専用のバッテリーケースDC-L1が必要です。
- b) DSR-1を取り付けた場合は専用のバッテリーケースDC-L90が、PVV-3を取り付けた場合は専用のバッテリーケースDC-500が必要です。
- c) PVV-3を取り付けた場合は専用のバッテリーケースBKW-L601が必要です。

バッテリー消耗の表示

カメラに供給される電圧が11.0V以下になると、ビューファインダー画面にLOW BATTが表示されます。（DSR-1、PVV-3を接続しているときは、ビューファインダー内のBATTランプが点滅します。）そのまま使用し続けると、BATTランプが点灯します。バッテリーが消耗したら、充電済みのバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックの充電

バッテリーパックは、使用前に必ず、下表に示すバッテリーチャージャーで充電してください。

◆ バッテリーチャージャーの使いかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

バッテリーパック	バッテリーチャージャー
NP-1B	BC-1WD、BC-410
BP-90A	BC-410
BP-M50、BP-M100、BP-IL75、BP-L40A	BC-M50、BC-M100、BC-M150
BP-GL65、BP-GL95、BP-L60S	BC-M150、BC-L70、AC-DN10

ご注意

- 使用直後、バッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全には充電されないことがあります。
- バッテリーパックは充電してあっても自然に放電します。なるべく使用直前に充電し直してください。
- なるべく涼しい所（約20℃）で保管し、充電は周囲の温度が10℃～30℃の所で行ってください。バッテリーパックを長持ちさせることができます。
- 低温ではバッテリーパックを使用できる時間が短くなります。常温に対して、周囲の温度が低いときは、バッテリーを室温（約20℃）に暖めて使用すると、使用できる時間を長くすることができます。
- BP-IL75はBP-L40Aに比べて低温で使用することができます。低温でバッテリーを使用するときはBP-IL75を推奨します。
- 予備のバッテリーパックを準備しておくことをおすすめします。

BP-GL65、BP-GL95、BP-L40A、BP-L60SおよびBP-IL75は、充電記憶メモリーの効果を持っていないので、充電の前に使いきったり放電したりする必要はありません。

カメラアダプター電源を使う

カメラアダプターのCCU/VTR/CMA端子に接続した機器（ポータブルVTRやカメラコントロールユニットCCU-D50、ACアダプターCMA-8A）から自動的に電源の供給を受けて動作します。

ご注意

使用する前に、CCU/VTR/CMA端子に接続した機器がカメラに必要な電源を供給できることを確かめてください。
必要な電源を供給できないときや、記録時間を延長したいときは、カメラに専用の電源を用意してください。

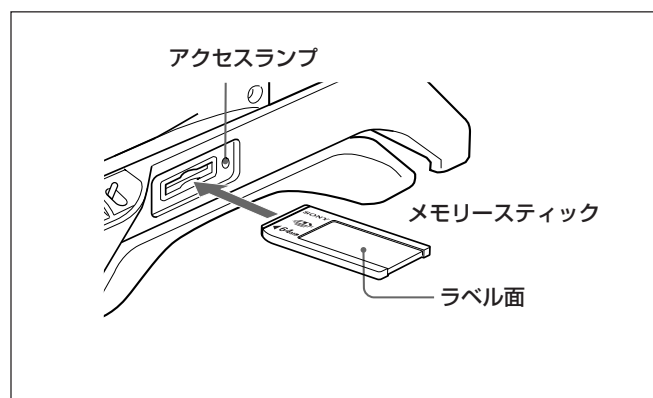
メモリースティック

メモリースティックの取り付け

別売りのメモリースティックを使用すると、ファイル情報を保存し、他のカメラでも同じファイル情報を共有することができます。

メモリースティックを取り付けるには

ラベル面を上にして、端子を奥に向けてメモリースティック装着部に差し込みます。カチッと音がして、赤いアクセスランプが点灯するまで差し込んでください。



ご注意

- 赤いアクセスランプが点灯または点滅している間はメモリースティックの抜き差しはしないでください。
- ビューファインダーの画面にMEMORY STICK ERRORが表示されたときは、表示が消えるまで待って、メモリースティックを取り出してください。

メモリースティックを外すには

装着されているメモリースティックを押します。先端が少し出ますので、引き抜きます。

メモリースティックについて

メモリースティックとは

メモリースティックは、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。

メモリースティック対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

メモリースティックの種類

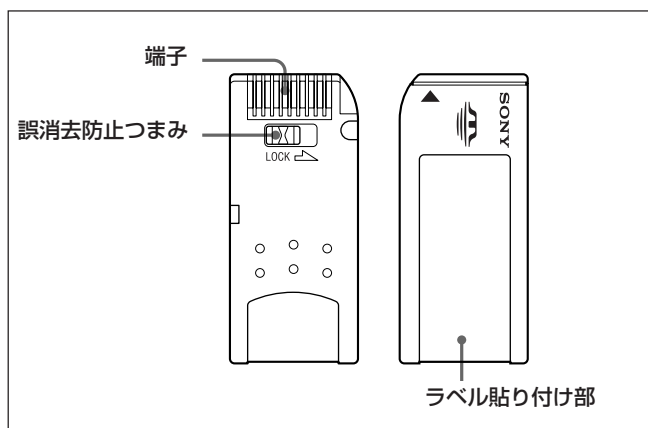
メモリースティックには、著作権保護技術(マジックゲート)を搭載したマジックゲートメモリースティックと、搭載していない一般のメモリースティックの2種類があります。

本機ではマジックゲートメモリースティックと一般のメモリースティックのどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

マジックゲートとは？

マジックゲートは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

メモリースティックについて



- 誤消去防止つまみを「LOCK」にすると記録、消去などができなくなります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをお奨めします。

- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中にメモリースティックを抜いたり、本機の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

で注意

- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみださないようにご注意ください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落したりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は付属の収納ケースに入れてください。

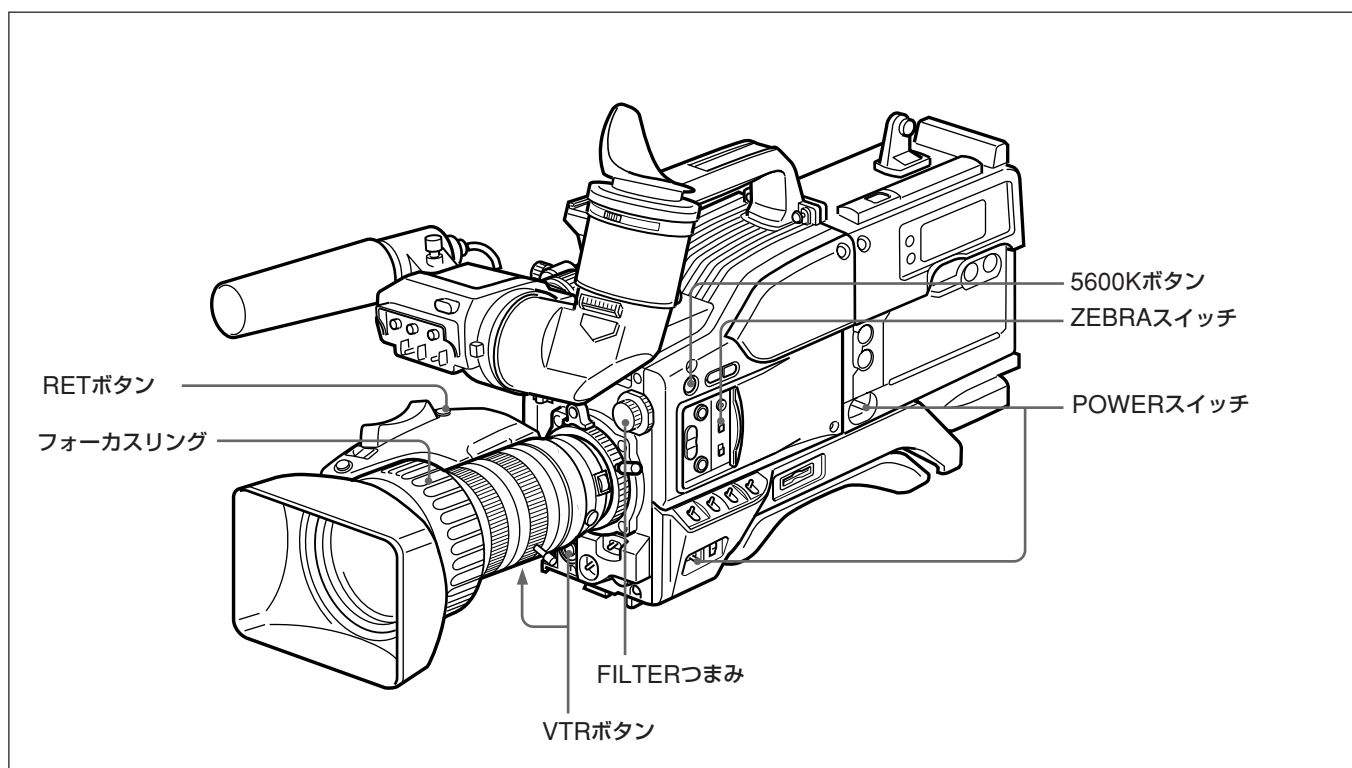
アクセスランプ点灯中および点滅中は

データの読み込み、または書き込みを行っています。このとき、本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、本機の電源を切ったり、メモリースティックを取り外したりしないでください。データがこわれることがあります。

- Memory Stick (メモリースティック) および  は、ソニー株式会社の商標です。
- MagicGate Memory Stick (マジックゲートメモリースティック) および **MAGICGATE** は、ソニー株式会社の商標です

撮影する

基本的な撮影の手順



1 本機にVTRまたはカメラアダプターを取り付け、各機器の電源を入れる。

2 照明条件に合わせてFILTERつまみと5600Kボタンを設定する。

FILTERつまみの設定

FILTERつまみ	照明条件の例
1 (CLEAR)	室内での撮影
2 (1/4ND)	曇天や雨天時の屋外、室内の撮影で被写界深度 ¹⁾ を浅くしたいとき
3 (1/16ND)	日中の屋外
4 (1/64ND)	日中の屋外で被写界深度を浅くしたいとき、特に明るいとき

一般的には、レンズのF値がF4からF8の間でレンズの特性上最も良い映像を撮影することができますので、この範囲となるようにフィルターつまみを設定します。しかし、撮影意図によりこの範囲外で撮影することもあります。

5600Kボタンの設定

5600Kボタン	照明条件の例
OFF (消灯)	室内での撮影でハロゲンランプ、タングステンランプなど色温度の低い照明のとき。
ON (点灯)	日中の屋外での撮影、室内でも色温度の高い照明を使用するとき。

3 本機のスイッチの設定を確認する(16～21ページ参照)。
本機の設定を確認する時間がないときは、EZ MODEボタンを押してEZモードをONにし、すぐ撮影を開始することができます。EZモードでは、本機の設定は標準的な状態に固定され、レンズの絞りとホワイトバランスは自動調整されます。

4 OPERATIONメニュー(66ページ参照)とPAINTメニュー(68ページ参照)の設定を確認する。

5 レンズの設定(87ページ参照)およびフランジバックの調整(86ページ参照)を確認する。

6 ビューファインダーの視度、コントラスト、明るさを調整する(85ページ参照)。

7 音声系の設定を確認する。

- マイクの接続
- VTR側の設定(VTRの取扱説明書参照)

8 必要に応じセンターマーカ、セーフティーゾーン(OPERATIONメニューの5ページ)およびゼブラパターン(ZEBRAスイッチ)をビューファインダー画面に表示させる。

9 ホワイトバランス(79ページ参照)とブラックバランス(82ページ参照)を調整する。

10 フォーカスリングを回してピントを合わせる。
EZ FOCUSボタンを押してEZフォーカス機能を使用すると便利です(17ページ参照)。

11 撮影目的に合わせて、VTRをセットアップして、記録を開始する。

カメラコントロールユニットを接続していない場合：本機またはレンズのVTRボタンを押す。

カメラコントロールユニットを接続している場合：VTRのボタンで記録を開始する。

◆ VTRのセットアップおよび操作については、使用しているVTRの取扱説明書を参照してください。

• 記録中、ビューファインダー内のREC/TALLYランプが点灯し、ビューファインダー画面にRECと表示されます。

• DSR-1で記録しているときは、本機前面のAUDIO LEVELつまみで、チャンネル1の音声記録レベルを手動調整できます。その場合は、DSR-1側で音声記録レベルを手動調整できるように設定しておく必要があります。

◆ 操作については、DSR-1の取扱説明書をご覧ください。

12 記録を一時停止させるには、もう一度VTRボタンを押す。

1) 被写界深度: ピントを合わせた被写体の前後でピントが合っているように見える範囲。この範囲が狭いことを被写界深度が浅い、広いことを被写界深度が深いという。

記録した内容を確認するには

VTRで記録した内容の最後の数秒間をその場でビューファインダーに映すことができます(レックレビュー)。

VTRボタンを押してVTRの記録を一時停止させ、レンズのRETボタンを押します。

押した長さに応じて記録一時停止前の2～10秒間が自動的に巻き戻され、その部分の再生画像がビューファインダーに映ります。RETボタンを押したままにすると、約10秒間のレックレビューができます。

再生が終わると記録一時停止状態に戻ります。

ご注意

VTRによっては、この機能が働かないものがあります。VTRの取扱説明書で確認してください。

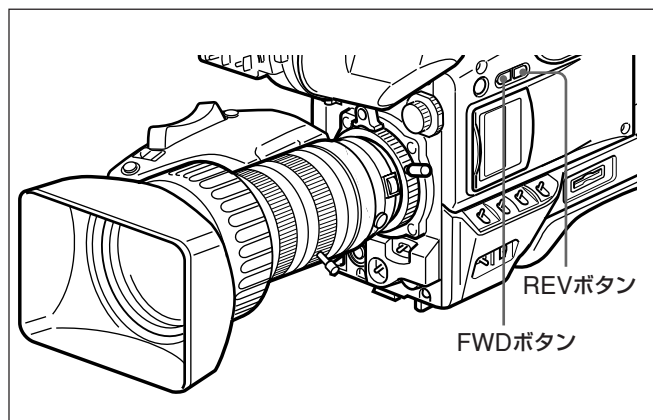
DSR-1と組み合わせて撮影する

ここでは、本機にDSR-1を取り付けて、DVCAM デジタルカムコーダーとして使う場合の撮影方法を説明します。

エディットサーチ機能を使ってつなぎ撮りする

エディットサーチは、VTRが記録一時停止のときに、EDIT SEARCHボタンを押している間だけテープをサーチ再生する機能です。つなぎ撮りが途中で中断したときや、テープの任意の位置からつなぎ撮りするときに、エディットサーチ機能を使って頭出しができます。

- 1 本機にDSR-1を取り付けて電源を入れ、カセットを入れる。
- 2 「基本的な撮影の手順」(47 ページ)の手順**2**～**12**を実行する。
- 3 EDIT SEARCH のREVまたはFWD ボタンを押す。



ボタンを押している間、テープが巻き戻しまたは早送りされ、ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生速度を変えるには

REVまたはFWD ボタンを中まで強く押し込むと再生速度が1段階上がります。ゆるめると1段階下がります。

ご注意

エディットサーチ中に本機の電源を切らないようにしてください。つなぎ撮りを開始する位置を見つけられなくなる場合があります。

- 4 つなぎ撮りを始めたい位置でREVまたはFWDボタンを離す。

DSR-1は記録一時停止状態になります。

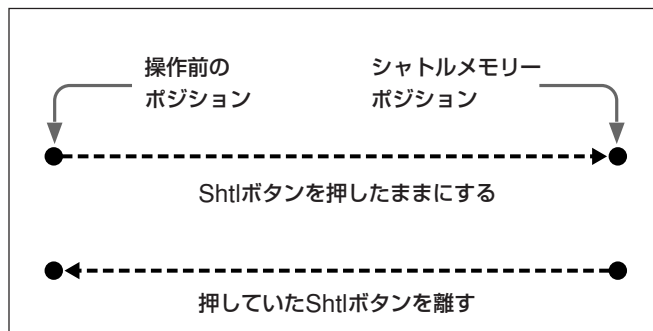
- 5 本機またはレンズのVTRボタンを押す。

DSR-1は記録を開始します。

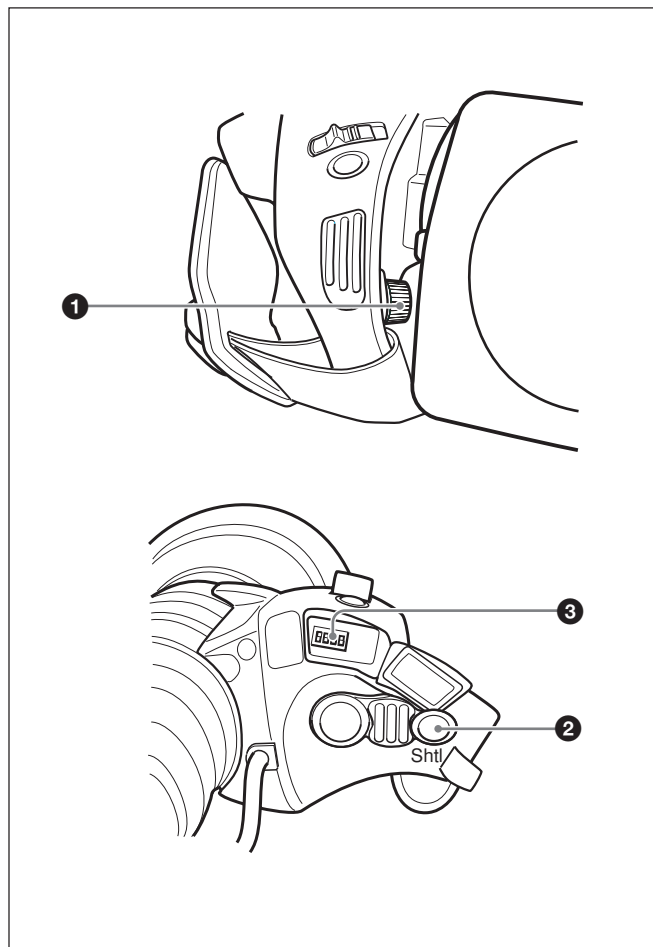
シャトルショット機能

シャトルショット機能とは

レンズのShtlボタンを押すだけで、あらかじめ設定した位置（シャトルメモリーポジション）に最高速でズームします。また、Shtlボタンを離すと元の位置に戻ります。



シャトルメモリーポジションを設定する



Shtlボタンを押しながら、シャトルメモリーポジション設定つまみ①を回して、ズーム位置を決めます。

望遠の方向に動かすときはつまみをT側に回し、広角の方向に動かすときはW側に回します。

設定したシャトルメモリーポジションにズームさせる

Shtlボタンを押したままにします。設定した位置にレンズがズームして停止します。

Shtlボタンを離すと、操作前の位置まで戻ります。

ご注意

Shtlボタン②を押している間は、電動ズームレバーは機能しません。

ディップスイッチの設定

ズームレンズVCL-920BYのディップスイッチ③はシャトルショット機能に関する設定に使用します。

ディップスイッチの設定により、Shtlボタンの機能をVTRボタンおよびRETボタンに割り付けることができます。

目的		ディップスイッチの設定 (番号：位置)
シャトルショット機能のON/OFF	ONにする。	1:ON
	OFFにする。	1:OFF
VTRボタンへのシャトルショット機能の割り付け	VTRの制御機能をONにする。	3:OFF
	シャトルショット機能をONにする。	3:ON
RETボタンへのシャトルショット機能の割り付け	リターンビデオの表示機能をONにする。	2:OFF
	シャトルショット機能をONにする。	2:ON

(ディップスイッチ4は予備のスイッチで、現在は使用しません。)

ビューファインダー画面表示とメニュー

ビューファインダー画面の表示

本機のビューファインダー画面および MONITOR OUT 端子に接続したビデオモニター画面の表示は、大きく次の4種類に分類することができます。

- 通常画面

本機や本機に接続したVTRの設定、動作状態を表示します(56ページ参照)。

- ステータス表示画面

通常画面表示中に MENU スイッチを OFF/STATUS 側に押すと、本機の設定状態が表示されます(56ページ参照)。

- USER 画面

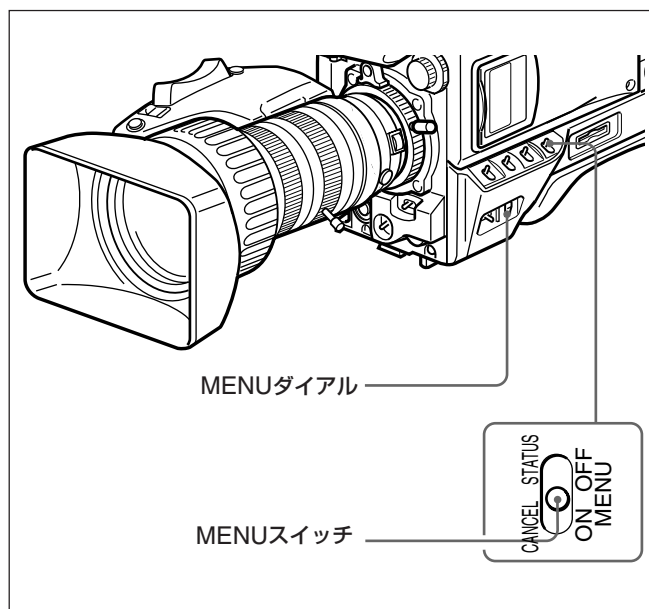
レンズの絞り、シャッタースピード、その他の設定などに使用します(55ページ参照)。

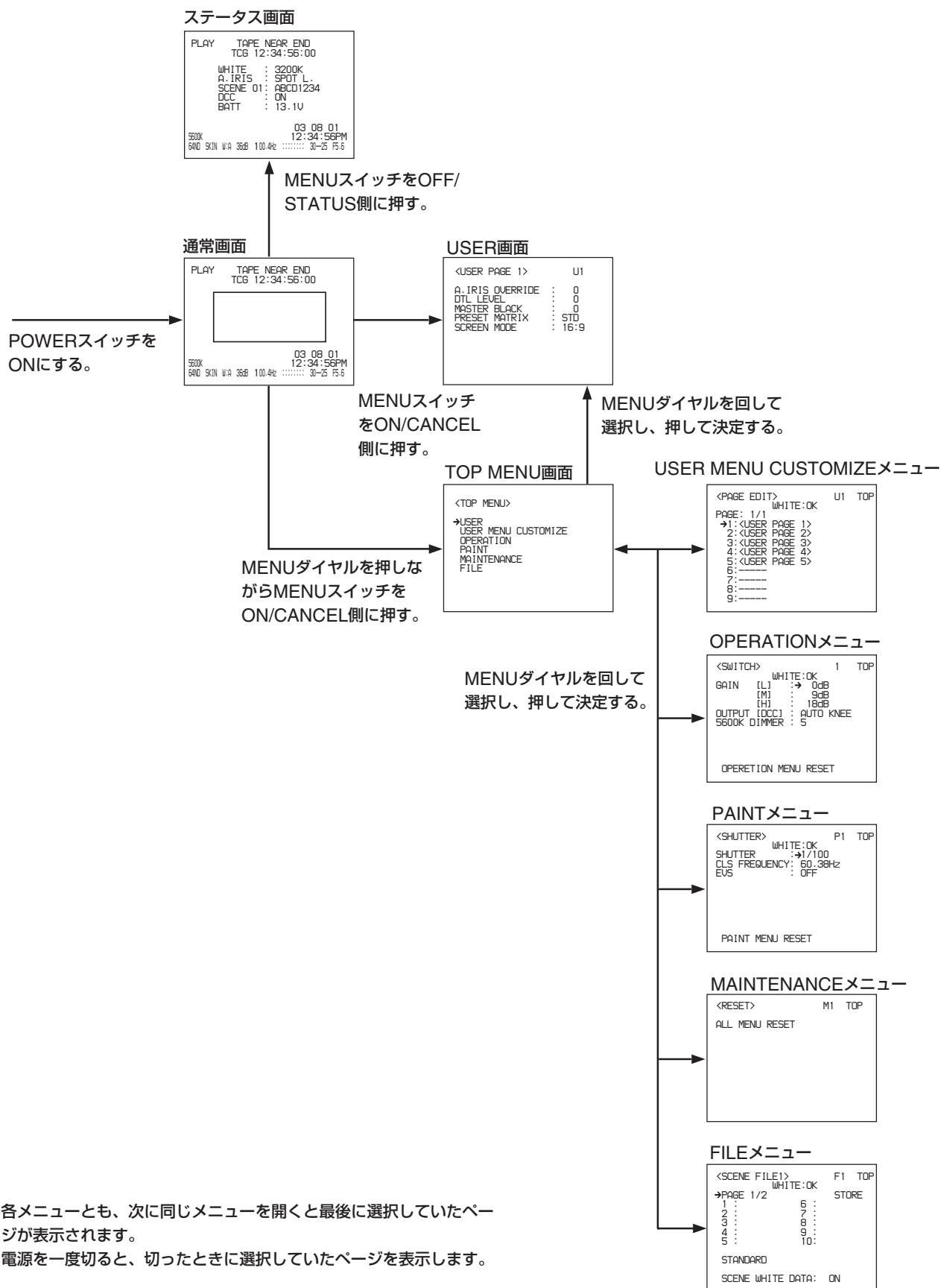
- TOP MENU 画面

メニューのカスタマイズ、画質の設定、メモリースティックへの書き込み、読み取りなどに使用します(59ページ参照)。

ビューファインダー画面の表示と切り換え

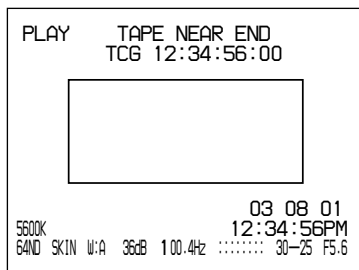
通常画面、USER画面、TOP MENU画面を表示させたり、切り換えるには、下図のボタンとスイッチを使用します。





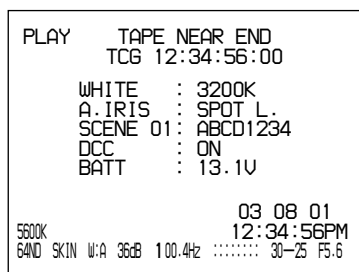
通常画面を表示するには

通常画面を表示させるにはPOWERスイッチをONにします。



ステータス画面を表示するには

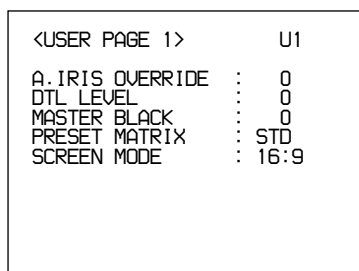
通常画面表示中にMENUスイッチをOFF/STATUS側に押すと、現在の設定状態が表示されます。



表示	内容
WHITE	ホワイトバランス調整時の色温度
A. IRIS	絞り調整方法 (STD/SPOT L./BACK L.)
SCENE	選択したシーンファイルの番号とファイル名
DCC	メニュー設定でDCCを選択しているときはDCCのON/OFFを、ADAPTIVEを選択しているときはADAPTIVEのON/OFF
BATT	電源電圧の表示

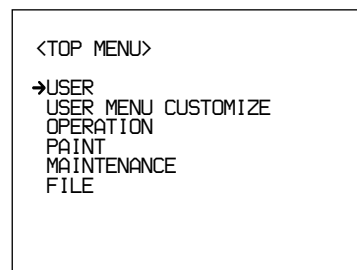
USER画面を表示するには

通常画面表示中にMENUスイッチをON/CANCEL側に押すとUSER画面が表示されます。USER画面では、基本的なカメラの設定とシーンファイルの選択をします。



TOP MENU画面を表示するには

通常画面表示中にMENUダイヤルを押しながらMENUスイッチをON/CANCEL側に押すとTOP MENU画面が表示されます。TOP MENU画面では、より高度なカメラの設定とメニューのカスタマイズ、メモリースティックへの書き込み、読み取りを行います。



メニューのすべての項目の設定を通常設定（工場出荷時設定）にリセットするには

1 TOP MENU画面でMAINTENANCEメニューを選択する。

2 M1 ページを表示する。

◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」（60ページ）をご覧ください。

3 ALL MENU RESETにカーソルを合わせ、MENUダイヤルを押す。

表示がRESET OK?に変わります。

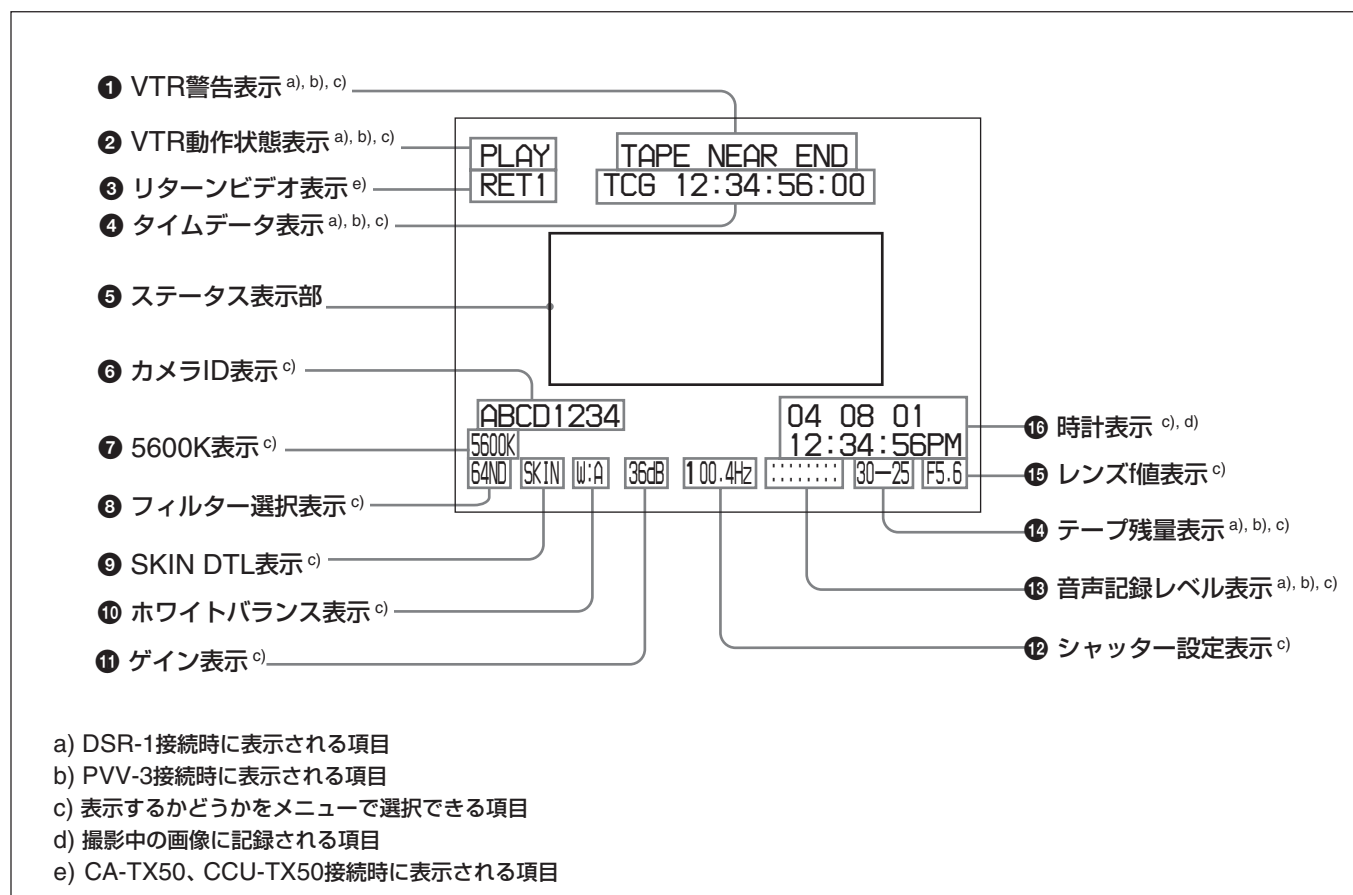
4 再度MENUダイヤルを押す。

表示がALL MENU RESETに変わり、リセットが行われます。

このとき、MENUスイッチをON/CANCEL側に押すと、リセットを中止することができます。

通常画面

通常の動作時、ビューファインダー画面に次の項目を表示させることができます。



上図に示した各表示項目の意味は次のとおりです。

① VTR警告表示

接続しているVTRの動作や状態に関して、次のような警告表示が出ます。

DSR-1/PVV-3接続時

表示	意味
NO TAPE	テープが挿入されていない。
REC INHIBIT	テープが誤消去防止状態になっている。
LOW BATT ^{a)}	バッテリーの消耗が近い。
BATT.END	バッテリーが消耗した。
TAPE NEAR END	テープの終りに近い。
TAPE END	テープの終り。
CHECK REMOTE	REMOTE端子にリモコン以外のもの（たとえばヘッドホン）が接続されている。
SERVO	サーボの乱れ。
HUMID	結露が起きている。
RF	ビデオヘッドが目詰まりしている。または、記録系にその他の異常がある。
SLACK	テープの巻き取りに異常がある。
OXIDE TAPE	オキシサイドテープが挿入された。（テープはイジェクトされます。）

a) VTRを接続していないときでも、電源電圧が11.0 V以下になると、LOW BATTが表示されます。

DSR-1接続時のみ

表示	意味
MP TAPE	DSR-1に対応しないカセットを挿入した。 (カセットは自動的にイジェクトされ、表示は2秒で消えます。)
AUDIO 48kHz? (4回/1秒点滅表示)	32kHzのオーディオ記録モード(4チャンネルモード)で記録したテープに、48kHzモード(2チャンネルモード)でつなぎ撮りしている。
AUDIO 32kHz? (4回/1秒点滅表示)	48kHzのオーディオ記録モード(2チャンネルモード)で記録したテープに、32kHzモード(4チャンネルモード)でつなぎ撮りしている。
ERROR:91-13F	カセットメモリの読み出し/書き込みが正常に行われなかった。 他のエラー表示が現れたときは、DSR-1の取扱説明書を参照してください。

② VTR動作状態表示

VTRの動作状態(REC、PLAYなど)を示します。

③ リターンビデオ表示

CA-TX50、CCU-TX50と接続時、CA-TX50のリターンビデオボタンを押したときに、押したボタンに対応してRET1、RET2またはRET3が表示されます。

④ タイムデータ表示

VTRのDISPLAYスイッチの設定に応じて、VTRのタイムデータを表示します。

VTRのDISPLAYスイッチの設定	表示されるデータ
COUNTER	CNT: テープ走行時間
TC	TCG: タイムコードジェネレーターからのタイムコードデータ TCR: タイムコードリーダーからのタイムコードデータ
U-BIT	UBG: ユーザービットジェネレーターからのユーザービットデータ

再生、早送り、巻き戻し、レックレビュー中も、タイムデータは表示されます。

⑤ ステータス表示部

本機の状態や動作状況に応じて、以下のように設定値やメッセージを表示します。

- 本機の設定を変えたとき、その変更内容
- 調整の進行や結果を示すメッセージ
- 本機の現在の設定状態(「ステータス画面を表示するには」(55ページ)参照)

⑥ カメラID表示

出力がカラーバーのときにカメラIDを表示します。

⑦ 5600K表示

5600Kボタンを押したときに表示されます。

⑧ フィルター選択表示

FILTERつまみの設定を表示します。

表示	FILTERつまみの設定
CLEAR	1 (CLEAR)
4ND	2 (1/4ND)
16ND	3 (1/16ND)
64ND	4 (1/64ND)

⑨ SKIN DTL表示

PAINTメニューでスキディテールの設定をしているとき表示されます(69ページ参照)。

⑩ ホワイトバランス表示

以下の表示が現れます。

表示	意味
EZ	EZモードで動作中。ホワイトバランスはATWになります。
ATW	ATW機能を使っている。(ATWボタンを押してインジケータを点灯させた。)
W:A	ホワイトバランスのメモリーAを選択している。
W:B	ホワイトバランスのメモリーBを選択している。
W:P	プリセットホワイトバランスを選択している。
W:M	リモート操作で、ホワイトバランスをマニュアル調整している。

⑪ ゲイン表示

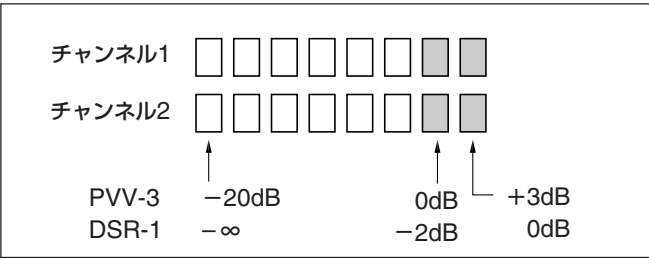
ゲイン設定値を表示します。

⑫ シャッター設定表示

SHUTTERスイッチがONのとき、PAINTメニューのP1ページ<SHUTTER>で設定したシャッタースピードまたはCLS周波数を表示します。シャッタースピードの切り換えとCLS周波数への変更は、SHUTTERスイッチで行います。

13 音声記録レベル表示

VTRの音声チャンネル1および2の記録レベルを表示します。



14 テープ残量表示

VTRのテープ残量を次のように表示します。

表示	テープ残量
F-30	30分以上
30-25	30～25分
25-20	25～20分
20-15	20～15分
15-10	15～10分
10-5	10～5分
5-0	5～2分
5-0 (点滅)	2～0分

15 レンズf値表示

レンズのf値を表示します。

ご注意

使用するレンズにより、この表示と実際のレンズのf値目盛りと少し異なる場合があります。

16 時計表示

MAINTENANCEメニューのM3ページ<CLOCK IND>の設定に応じて、次のように表示されます。

- CAM: 常に表示する。
- BARS: カラーバーが表示されているとき。
- OFF: 時計は表示されません。

時間表示は撮影中の画像に記録されます。

ご注意

内蔵のリチウム電池が消耗すると、時計は表示されなくなります。リチウム電池を交換し、時計を設定し直してください。

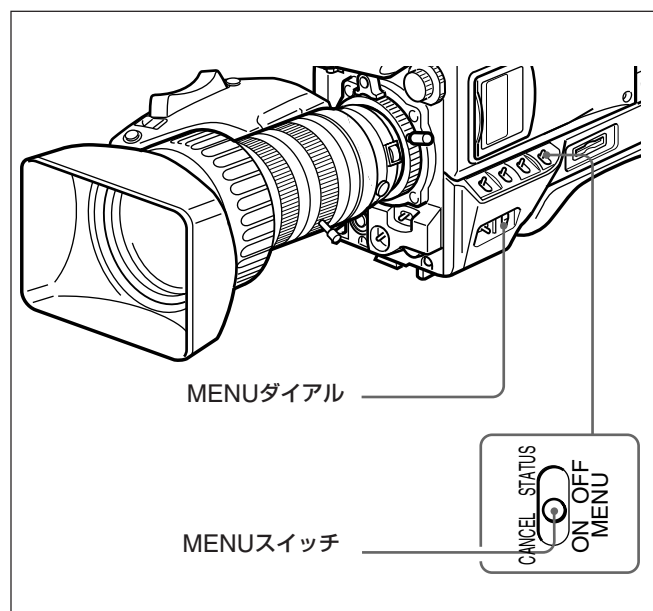
メニュー操作

メニュー操作は、ビューファインダーの画面または MONITOR OUT 端子に接続したビデオモニターにメニュー画面を表示して行います。メニューには、USER メニュー、USER MENU CUSTOMIZE メニュー、OPERATION メニュー、PAINT メニュー、MAINTENANCE メニュー、FILE メニューがあります。USER メニューは通常画面から直接表示することができますが、その他のメニューは TOP MENU 画面を表示し、この画面から表示します。

ご注意

EZ モード、EZ フォーカスおよびホワイトバランスとブラックバランスの自動調整時はメニュー画面を表示することはできません。

メニュー画面の表示



USERメニューを表示するには

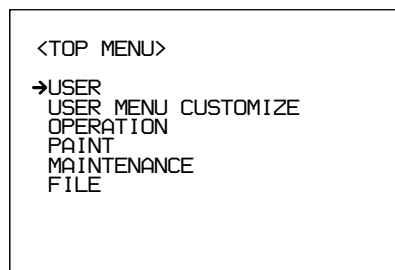
通常画面が表示されている状態で MENU スイッチを ON/CANCEL 側に押すと、ビューファインダーの画面に前回電源を切ったときに表示されていた USER メニューが表示されます。

<USER PAGE 1>		U1
A. IRIS OVERRIDE	:	0
DTL LEVEL	:	0
MASTER BLACK	:	0
PRESET MATRIX	:	STD
SCREEN MODE	:	16:9

TOP MENU画面を表示するには

次のどちらかの方法で TOP MENU 画面を表示することができます。

- MENU ダイヤルを押しながら MENU スイッチを ON/CANCEL 側に押す。
- メニュー画面右上の TOP を選択する。



TOP MENU画面を消すには

電源を OFF にするか、MENU スイッチを OFF/STATUS 側に押します。

また、EZ MODE または EZ FOCUS ボタンを押すと、自動的にメニュー画面は消えます。

使用したいメニューを表示するには

- 1 TOP MENU 画面を表示する。
 - ◆ 表示の方法については、「TOP MENU 画面を表示するには」をご覧ください。
- 2 MENU ダイヤルを回して表示したいメニューに矢印を移動し、MENU ダイヤルを押す。

選択したメニューの 1 ページ目が表示されます。

メニュー表示を消すには

MENU スイッチを OFF/STATUS 側に押します。

使用したいメニューページを表示するには

- 1 MENUダイヤルを回して画面先頭行のページ番号に矢印を移動し、MENUダイヤルを押す。
または、MENUスイッチをON/CANCEL側に押す。

矢印が疑問符に変わります。

- 2 設定したいメニューページが表示されるまでMENUダイヤルを回し、MENUダイヤルを押す。

疑問符が矢印に変わり、選択したページが表示されます。

メニューの設定のしかた

設定したい項目のあるメニューページを表示してから、次の手順で操作します。

- 1 MENUダイヤルを回して選択したい項目の位置に矢印を移動し、MENUダイヤルを押す。

矢印が疑問符に変わります。

- 2 MENUダイヤルを回して設定項目または値を選択し、MENUダイヤルを押す。

疑問符が矢印に変わり、設定が確定します。

手順1、2を繰り返します。

メニューの設定が終了したら

MENUスイッチをOFF/STATUS側に押して、メニュー表示から抜けます。

設定変更を取り消すには

手順2で疑問符が表示されている間にMENUスイッチをON/CANCEL側に押します。変更した設定が元に戻ります。

設定を標準値に戻すには

MENUダイヤルを回して標準値に戻したい項目に矢印を移動し、MENUダイヤルを2秒間押し続けます。

USERメニュー

USERメニューは5ページで構成されています（標準出荷設定）。
各ページには、OPERATIONメニュー、PAINTメニュー、
MAINTENANCEメニュー、FILEメニューの使用頻度の高い項目
が設定されています。USER MENU CUSTOMIZE メニューで設
定されている項目を変更することができます。

```
<USER PAGE 1>      U1
A.IRIS OVERRIDE :    0
DTL LEVEL       :    0
MASTER BLACK   :    0
PRESET MATRIX   : STD
SCREEN MODE     : 16:9
```

USERメニューの構成と設定値

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<USER PAGE 1>	U1	A.IRIS OVERRIDE: 0	-99～0～99	オートアイリスの基準値を設定
		DTL LEVEL: 0	-99～0～99	ディテール（輪郭補正）の設定
		MASTER BLACK: 0	-99～0～99	マスターブラックレベルの設定
		PRESET MATRIX: STD	STD、HI SAT、FL	プリセットされたマトリクスの設定 STD：標準的な色調 HI SAT：鮮やかにとりたいたいときの設定（色がやや濃くなります） FL：照明に蛍光灯を利用したときに、肌色の部分が緑っぽくなるのを防ぐ設定
		SCREEN MODE: 16:9	16：9、4：3	出力信号のアスペクトを設定
<USER PAGE 2>	U2	SCENE STANDARD: EXECUTE	—	本機の設定を標準設定にするかどうかを設定します。
		SCENE FILE 1	—	FILEメニューで設定したシーンファイルを読み出します。 FILEメニューの設定については、「FILEメニュー」（72ページ）を参照してください。
		SCENE FILE 2	—	
		SCENE FILE 3	—	
		SCENE FILE 4	—	
<USER PAGE 3>	U3	SCENE FILE 5	—	
		SKIN DTL SW: OFF	ON、OFF	スキントーンディテールのON/OFFの設定
		SKIN DTL SET: EXECUTE	—	スキンセットの実行（画面中央の指標に合わせて実行します。実行後約3秒間スキントーンが働いている部分を表示します。）
<USER PAGE 4>	U4	SKIN DTL LEVEL: 50	0～50～99	スキントーン ON 時のディテールレベルの設定。99のときに効果最大
		SAFETY ZONE SW: ON	ON、OFF	セーフティゾーンを表示するかどうかを設定
<USER PAGE 5>	U5	CENTER MARKER SW: ON	ON、OFF	センターマーカーを表示するかどうかを設定
		SC PHASE: 0	0～999	SC位相の設定（ゲンロック動作したときの設定）
		H PHASE COARSE: 0	-99～0～99	水平位相の調整（ゲンロック動作したときの設定）
		H PHASE FINE: 0	-99～0～99	水平位相の微調整（ゲンロック動作したときの設定）

USERメニューの使いかた

USERメニューには、OPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILEのメニューページから任意のページを選択し、そのページをコピーして設定することができます。使用頻度の高いメニューページをあらかじめUSERメニューに設定しておく、簡単に必要なページを呼び出して使用することができます。さらに、メニューの設定項目を1項目ごとに選択して設定できるUSER PAGEが1から5ページまで用意されています。USER PAGEには、1ページに最大10のメニュー項目を設定することができます。

USERメニューに任意のメニューページを設定するには

1 TOP MENU画面を表示する。

- ◆ 表示の方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59ページ)をご覧ください。

2 MENUダイヤルを回してUSER MENU CUSTOMIZEを選択し、MENUダイヤルを押す。

3 U1 ページ<PAGE EDIT>を表示する。

- ◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。

```

<PAGE EDIT>          U1 TOP
      WHITE:OK
PAGE: 1/1
→1: <USER PAGE 1>
2: <USER PAGE 2>
3: <USER PAGE 3>
4: <USER PAGE 4>
5: <USER PAGE 5>
6: -----
7: -----
8: -----
9: -----
    
```

4 MENUダイヤルを回してメニューページを設定したい番号を選択し、MENUダイヤルを押す。

操作選択画面が表示されます。

```

→SELECT
MOVE
DELETE

RET
    
```

選択した番号に何も設定されていない場合は、手順5のPAGE SELECT画面が表示されます。

5 MENUダイヤルを回してSELECTを選択し、MENUダイヤルを押す。

PAGE SELECT画面が表示されます。

```

<PAGE SELECT>          1 RET
→1: <SWITCH>
2: <AUTO IRIS>
3: <PRESET WHITE>
4: <WHITE MEMORY>
5: <VF/MARKER>
6: <BOX CURSOR>
7: <VF DISPLAY1>
8: <VF DISPLAY2>
9: <ZEBRA>
10: <MONITOR OUT>
    
```

6 設定したいメニューページを次の手順で選択する。

メニューページ1～10を設定するには

MENUダイヤルを回して設定したいメニューページを選択し、MENUダイヤルを押します。これで、選択したメニューページがUSERメニューに設定されPAGE EDIT画面に戻ります。

メニューページ11以降を設定するには

1) MENUダイヤルを回して画面先頭行の数字に矢印を移動し、MENUダイヤルを押す。

矢印が疑問符に変わります。

2) 設定したいメニューページが表示されるまでMENUダイヤルを回し、MENUダイヤルを押す。

疑問符が矢印に変わります。

3) MENUダイヤルを回して設定したいメニューページを選択し、MENUダイヤルを押す。

これで、選択したメニューページがUSERメニューに設定されPAGE EDIT画面に戻ります。

設定したページを並び換えるには

- 1 TOP MENU 画面を表示する。
 - ◆ 表示の方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59 ページ) をご覧ください。
- 2 MENU ダイアルを回して USER MENU CUSTOMIZE を選択し、MENU ダイアルを押す。
- 3 U1 ページ<PAGE EDIT>を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60 ページ) をご覧ください。

PAGE EDIT画面が表示されます。

- 4 MENU ダイアルを回して移動したいメニューページを選択し、MENU ダイアルを押す。
操作選択画面が表示されます。
- 5 MENU ダイアルを回して MOVE を選択し、MENU ダイアルを押す。
PAGE EDIT画面に戻ります。
- 6 MENU ダイアルを回して、手順4で選択したメニューページを移動したい位置に矢印を動かし、MENU ダイアルを押す。
矢印の位置にメニューページが移動します。

設定したページを削除するには

- 1 TOP MENU 画面を表示する。
 - ◆ 表示の方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59 ページ) をご覧ください。
 - 2 MENU ダイアルを回して USER MENU CUSTOMIZE を選択し、MENU ダイアルを押す。
 - 3 U1 ページ<USER P1 EDIT>を表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60 ページ) をご覧ください。
- PAGE EDIT画面が表示されます。

- 4 MENU ダイアルを回して削除したいメニューページを選択し、MENU ダイアルを押す。

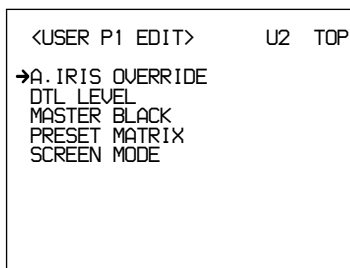
操作選択画面が表示されます。

- 5 MENU ダイアルを回して DELETE を選択し、MENU ダイアルを押す。
手順4で選択したページが削除され、PAGE EDIT画面に戻ります。

USER PAGEに任意の項目を設定するには

次の手順で USER PAGE に任意の項目を設定することができます。

- 1 TOP MENU 画面を表示する。
 - ◆ 表示の方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59 ページ) をご覧ください。
- 2 MENU ダイアルを回して USER MENU CUSTOMIZE を選択し、MENU ダイアルを押す。
- 3 MENU ダイアルを回して画面先頭行のページ番号に矢印を移動し、MENU ダイアルを押す。
矢印が疑問符に変わります。
- 4 MENU ダイアルを回して U2～U11 のどれかを選択し、MENU ダイアルを押す。
USER PAGE 設定画面が表示されます。
U2 : USER PAGE 1 設定画面<USER P1 EDIT>
U3 : USER PAGE 2 設定画面<USER P2 EDIT>
.
.
U11 : USER PAGE 10 設定画面<USER P10 EDIT>



- 5** MENUダイヤルを回してメニュー項目を設定したい行を選択し、MENUダイヤルを押す。

操作選択画面が表示されます。

選択した行に何も設定されていないときは、手順**6**の画面が表示されます。

- 6** MENUダイヤルを回してSELECTを選択し、MENUダイヤルを押す。

ITEM SELECT画面が表示されます。

```
<ITEM SELECT>      1  RET
→1 :GAIN[L]
 2 :GAIN[M]
 3 :GAIN[H]
 4 :OUTPUT[DCC]
 5 :5600K DIMMER
 6 :OPERATION RESET
 7 :A.IRIS OVERRIDE
 8 :WHT C. TEMP
 9 :WHT C. TEMP FINE
10:WHT C. TEMP R GAIN
```

- 7** 設定したい項目を次の手順で選択する。

1～10を選択するには

MENUダイヤルを回して設定したい項目を選択し、MENUダイヤルを押すUSER P1 EDIT画面に戻り、選択した項目が表示されます。

```
<USER P1 EDIT>      U2  TOP
→GAIN[L]
 DTL LEVEL
 MASTER BLACK
 PRESET MATRIX
 SCREEN MODE
```

11以降を選択するときは

- 1)** MENUダイヤルを回して画面先頭行の数字に矢印を移動し、MENUダイヤルを押す。

矢印が疑問符に変わります。

- 2)** 設定したい項目が表示されるまでMENUダイヤルを回し、MENUダイヤルを押す。

疑問符が矢印に変わります。

- 3)** MENUダイヤルを回して設定したい項目を選択し、MENUダイヤルを押す。

USER P1 EDIT 画面に戻り、選択した項目が表示されます。

手順**5**、**6**、**7**を必要なだけ繰り返します。

- 8** すべての項目を設定したら、MENUダイヤルを回して画面先頭行のTOPに矢印を移動し、MENUダイヤルを押す。

TOP MENU画面に戻ります。

設定したUSER PAGEをUSERメニューのUSER PAGE 1～USER PAGE 10に設定すると、USER メニューで呼び出して使用することができます。

◆ USERメニューへの設定のしかたについては、「USERメニューに任意のメニューページを設定するには」(62ページ)をご覧ください。

設定した項目を並び換えるには

設定したページの並べ換えと同じ手順で操作します。

設定した項目を削除するには

設定したページの削除と同じ手順で操作します。

USER PAGEを工場出荷時の設定に戻すには

- 1 TOP MENU画面を表示する。
 - ◆ 表示の方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59ページ)をご覧ください。
- 2 MENUダイヤルを回してUSER MENU CUSTOMIZEを選択し、MENUダイヤルを押す。
- 3 U12ページを表示する。
 - ◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。
- 4 MENUダイヤルを回してCUSTOMIZE MENU RESETを選択し、MENUダイヤルを押す。

RESET OK?が表示されます。
- 5 MENUダイヤルを押す。

USER MENU RESETが表示され、USER PAGEは工場出荷時の設定に戻ります。

USERメニューを表示するには

上記の手順で設定したUSERメニューを表示し、他のメニューと同じように操作することができます。

- 1 TOP MENU画面を表示する。
 - ◆ 表示の方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59ページ)をご覧ください。
- 2 MENUダイヤルを回してUSERを選択し、MENUダイヤルを押す。

他のメニューページを表示するには

- 1 MENUダイヤルを回して画面先頭行の数字に矢印を移動し、MENUダイヤルを押す。

矢印が疑問符に変わります。
- 2 MENUダイヤルを回して表示したいページを選択し、MENUダイヤルを押す。

選択したメニューページが表示されます。

OPERATIONメニュー

OPERATIONメニューは11ページで構成されています。
OPERATIONメニューを表示するには、TOP MENU画面を表示してからMENUダイヤルを回してOPERATIONを選択し、MENUダイヤルを押します。

◆ TOP MENU画面の表示方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59ページ)をご覧ください。

<SWITCH>		1	TOP
GAIN	[L]	→	0dB
	[M]	:	9dB
	[H]	:	18dB
OUTPUT	[DCC]	:	AUTO KNEE
5600K	DIMMER	:	5
OPERATION MENU RESET			

OPERATIONメニューの構成と設定値

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<SWITCH>	1	GAIN [L]: 0dB	-3, 0, 3, 6, 9, 12, 18, 24, 30, 36	GAIN スイッチのLの設定
		GAIN [M]: 9dB	-3, 0, 3, 6, 9, 12, 18, 24, 30, 36	GAIN スイッチのMの設定
		GAIN [H]: 18dB	-3, 0, 3, 6, 9, 12, 18, 24, 30, 36	GAIN スイッチのHの設定
		OUTPUT [DCC]: AUTO KNEE	AUTO KNEE, ADAPTIVE	DCC 動作モードの設定
		5600K DIMMER: 5	0~5~9	5600K ボタンの動作中を表示するランプの明るさの設定
		OPERATION MENU RESET	—	OPERATION メニューを出荷状態に戻す
<AUTO IRIS>	2	AUTO IRIS OVERRIDE: 0	-99~0~99	オートアイリスの基準値を設定
<PRESET WHITE>	3	COLOR TEMP: 3200K	1520K~3200K~65535K	ホワイトバランスのプリセット (W.BAL スイッチの設定がPRE) の色温度を設定
		FINE: 0	-99~0~99	ホワイトバランスのプリセット時の色温度を微調整
		R GAIN: 0	-99~0~99	ホワイトバランスのプリセット時の色温度をR (赤) 方向に調整
		B GAIN: 0	-99~0~99	ホワイトバランスのプリセット時の色温度をB (青) 方向に調整
<WHITE MEMORY>	4	AWB MEMORY MODE: 2	2, 2×4FL	ホワイトバランスのメモリーをFILTERつまみに連動させるかどうかを設定 2: フィルターつまみに連動させない 2×4FL: フィルターつまみに連動させる
		WIDE BAND AWB: ON	ON, OFF	色温度の変化が大きいときに5600K ボタンを自動で働かせるかどうかを設定
		SHOCKLESS WHITE: 3	OFF, 1, 2, 3, 4, 5	ホワイトバランスを切り換えたとときの切り換え時間を設定 (5600K ボタンのON/OFFにまたがるときは動作しません。)
<VF/MARKER>	5	SAFETY ZONE: ON	ON, OFF	セーフティゾーンを表示するかどうかを設定
		90%	80%, 90%	セーフティゾーンの大きさを設定
		NORMAL (DXC-D50の表示は-)	NORMAL, ASPECT	セーフティゾーンをアスペクトに連動させるかどうかを設定
		ASPECT IND: OFF	LINE, MASK, LINE&MASK, OFF	アスペクトの表示を線 (LINE) にするかアスペクト内の画面のみ (MASK) にするかを設定
		(-) (DXC-D50の表示は-)	15:9, 14:9, 13:9, 4:3	アスペクトの表示を設定 (ASPECT INDがLINEのときのみ変更可能)
		CENTER MARKER: ON	ON, OFF	センターマーカーを表示するかどうかを設定
		VF SCAN: AUTO (DXC-D50の表示は-)	AUTO, 16:9, 4:3	ビューファインダーのアスペクトをカメラのアスペクトに連動させるかどうかを設定

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<BOX CURSOR>	6	CURSOR : OFF	ON, OFF	ボックスカーソルを表示するかどうかを設定
		H POSITION : 50	0 ~ 50 ~ 99	ボックスカーソルの水平方向の位置を設定
		V POSITION : 50	0 ~ 50 ~ 99	ボックスカーソルの垂直方向の位置を設定
		H WIDTH : 50	0 ~ 50 ~ 99	ボックスカーソルの水平方向の幅を設定
		V WIDTH : 50	0 ~ 50 ~ 99	ボックスカーソルの垂直方向の幅を設定
<VF DISPLAY1>	7	IRIS : ON	ON, OFF	ビューファインダーに IRIS の設定値を表示させるかどうかを設定
		GAIN : ON	ON, OFF	ビューファインダーに GAIN の設定値を表示させるかどうかを設定
		WHITE : ON	ON, OFF	ビューファインダーに WHITE の設定値を表示させるかどうかを設定
		ND FILTER : ON	ON, OFF	ビューファインダーに FILTER の設定値を表示させるかどうかを設定
		5600K : ON	ON, OFF	ビューファインダーに 5600K を表示させるかどうかを設定
		SHUTTER : ON	ON, OFF	ビューファインダーに SHUTTER の設定値を表示させるかどうかを設定
		SKIN DTL : ON	ON, OFF	ビューファインダーに SKIN DTL の設定値を表示させるかどうかを設定
<VF DISPLAY2>	8	AUDIO : ON	ON, OFF	ビューファインダーに AUDIO の設定値を表示させるかどうかを設定
		TAPE REMAIN : ON	ON, OFF	ビューファインダーにテープ残量を表示させるかどうかを設定
		VTR STATUS : ON	ON, OFF	ビューファインダーに VTR のステータスを表示させるかどうかを設定
		VTR ALARM : ON	ON, OFF	ビューファインダーに VTR の警告を表示させるかどうかを設定
		TIME CODE : ON	ON, OFF	ビューファインダーにタイムコードを表示させるかどうかを設定
		RETURN : ON	ON, OFF	ビューファインダーにリターンビデオ表示を表示させるかどうかを設定
		VF TALLY : ×1	×1, ×2	ビューファインダーのタリ-信号を上下 (×2) にするか上 (×1) にするかを設定
<ZEBRA>	9	ZEBRA MODE : 1&2	1, 2, 1&2	ゼブラ表示を1種類にするか2種類にするかを設定
		ZEBRA1 LEVEL : 75%	50 ~ 75 ~ 109	ゼブラ1の表示レベルを設定
		WIDTH : 10%	0 ~ 10 ~ 30	ゼブラ1が表示されるビデオレベルの幅を設定
		ZEBRA2 LEVEL : 100%	50 ~ 100 ~ 109	ゼブラ2の表示レベルを設定
<MONITOR OUT>	10	MONITOR OUT : ENC	ENC, Y	MONITOR OUT 端子の出力信号を設定
		CHARACTER : ON	ON, OFF	MONITOR OUT 端子の出力にキャラクター信号を乗せるかどうかを設定
		RM CHARACTER : OFF	ON, OFF	REMOTE 端子の出力にキャラクター信号を乗せるかどうかを設定
<TLCS>	11	AGC : ON	ON, OFF	TLCSを動作させたときに AGC を連動させるかどうかを設定
		AGC LIMIT : 12	3, 6, 9, 12, 15, 18	TLCSを動作させたときに AGC が動作するゲインを設定
		AGC CHANGE POINT : F2.8	F5.6, F4, F2.8, F2, OPEN	TLCSを動作させたときに AGC が動作するアイリス値を設定
		AE : ON	ON, OFF	TLCSを動作させたときに AE (電子シャッター) を動作させるかどうかを設定
		AE LIMIT : 1/250	1/100, 1/150, 1/200, 1/250	TLCSを動作させたときに AE (電子シャッター) が動作する範囲を設定
		AE CHANGE POINT : F16	F16, F11, F8, F5.6	TLCSを動作させたときに AE (電子シャッター) が動作するアイリス値を設定

PAINTメニュー

PAINTメニューは10ページで構成されています。PAINTメニューを表示するには、TOP MENU画面を表示してからMENUダイヤルを回してPAINTを選択し、MENUダイヤルを押します。

- ◆ TOP MENU画面の表示方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59ページ)をご覧ください。

```

<SHUTTER>                P1 TOP
SHUTTER                   :→1/100
CLS FREQUENCY:            60.38Hz
EVS                        : OFF

PAINT MENU RESET

```

PAINTメニューの構成と設定値

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<SHUTTER>	P1	SHUTTER : 1/100 ^{a)}	—	シャッター速度を設定
		CLS FREQUENCY : 60.38	60.38Hz ^{b)}	CLSの周波数を設定
		EVS : OFF	ON、OFF	EVSの設定（垂直解像度を400本から450本に増加） ご注意 ONに設定すると垂直解像度を増加させることができますが、動きのある被写体で偽信号（エリアシング）を発生することがあります。
		PAINT MENU RESET	—	PAINTメニューのリセット
<BLACK/FLARE>	P2	MASTER BLACK : 0	-99 ~ 0 ~ 99	マスターブラックレベルの設定
		FLARE LEVEL : [R] 0 [G] 0 [B] 0	-99 ~ 0 ~ 99	フレアレベルの設定
		: ON	ON、OFF	フレアの設定
<DETAIL>	P3	LEVEL : 0	-99 ~ 0 ~ 99	ディテール（輪郭補正）の設定
		H/V RATIO : 0	-99 ~ 0 ~ 99	ディテール（輪郭補正）の垂直、水平方向の比率の設定
		LEVEL DEPEND : 0	-99 ~ 0 ~ 99	ディテール（輪郭補正）の黒側のレベルを落とす設定
		FREQUENCY : 0	-99 ~ 0 ~ 99	ディテール（輪郭補正）の太さの設定
		CRISP : 0	-99 ~ 0 ~ 99	ディテール（輪郭補正）をつけるときにノイズ成分を除去する設定
<GAMMA/BLACK GAMMA>	P4	GAMMA LEVEL : [R] 0 [B] 0 [M] 0	-99 ~ 0 ~ 99	ガンマカーブの設定
		BLACK GAMMA LEVEL : [R] 0 [B] 0 [M] 0	-99 ~ 0 ~ 99	黒付近のガンマカーブの設定
<KNEE/WHITE CLIP>	P5	KNEE POINT : 0 (DCCがONのときの表示は--)	-99 ~ 0 ~ 99	ニーポイントの設定
		KNEE SLOPE : 0 (DCCがONのときの表示は--)	-99 ~ 0 ~ 99	ニースロープの設定
		WHITE CLIP : 0	-99 ~ 0 ~ 99	ホワイトクリップレベルの設定

a) 1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000、CLS

b) 単体時：60.38 Hz ~ 6000 Hz

RCP-TX7 使用時：60.38 Hz ~ 200.3 Hz (RCP-TX7のパネル上の表示は60.4になります。)

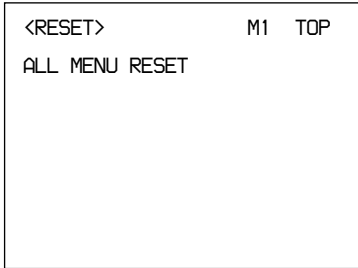
RCP-D50 使用時：60.38 Hz ~ 6000 Hz

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<WHITE SHADING>	P6	V MODULATION : [R] 0 [G] 0 [B] 0	-99 ~ 0 ~ 99	白の垂直方向のシェーディング補正
<SKIN DTL/MATRIX>	P7	SKIN DTL : OFF	ON, OFF	スキントーンディテールの ON/OFF の設定
		LEVEL : 50	0 ~ 50 ~ 99	スキントーン ON 時のディテールレベルの設定。99 のときに効果最大
		SET : EXECUTE	—	スキんセットの実行（画面中央の指標に合わせて実行します。実行後約3秒間スキントーンが働いている部分を表示します。）
		PHASE : 0	0 ~ 359 ~ 0	スキントーンディテールが動作している色の位相を設定（SET を実行すると自動計算されますが、マニュアルで変更できます。）
		WIDTH : 30	0 ~ 30 ~ 90	スキントーンディテールが動作している色の位相の幅を設定（数値が小さくなると、ディテールの効果の幅が少なくなります。）
		SATURATION : -89	-99 ~ 0 ~ 99	スキントーンの効果のある色の飽和度（色の濃さ）の設定
		GATE : OFF	ON, OFF	スキントーンが働いている範囲を確認するかどうかの設定（ON にすると、スキントーンが働いている部分はビューファインダー上でゼブラ信号で確認できます。MONITOR OUT 端子からの出力信号では、スキントーンが働いている部分の色調が変わります。VIDEO OUT 端子からの出力信号にはゲート信号は出力されません。）
		SKIN MATRIX	—	スキントーンが働いている Phase 部分のマトリックスの変更
		SATURATION : 0	-99 ~ 0 ~ 99	色の飽和度（色の濃さ）の設定
		HUE : 0	-99 ~ 0 ~ 99	色の位相の設定
<USER MATRIX>	P8	SATURATION : 0	-99 ~ 0 ~ 99	画面全体の色の飽和度（色の濃さ）の設定
		HUE : 0	-99 ~ 0 ~ 99	画面全体の色の位相の設定
		[R] [G] [B]	—	マトリックスの設定
		R: - 0 0	-99 ~ 0 ~ 99	R-G, R-B 軸の設定
		G: 0 - 0	-99 ~ 0 ~ 99	G-R, G-B 軸の設定
		B: 0 0 -	-99 ~ 0 ~ 99	B-R, B-G 軸の設定
		PRESET MATRIX : STD	STD, HI SAT, FL	プリセットされたマトリックスの設定 STD : 標準的な色調 HI SAT : 鮮やかにとりたいたときの設定（色がやや濃くなります） FL : 照明に蛍光灯を利用したときに、肌色の部分が緑っぽくなるのを防ぐ設定
<LOW KEY SATURATION>	P9	LEVEL : 0	-99 ~ 0 ~ 99	暗い部分での色の飽和度（色の濃さ）を補正
<CROSS COLOR>	P10	SUPPRESSION : 0	0 ~ 99	細かい模様を写したときにクロスカラーにより色がつく現象を軽減する

MAINTENANCEメニュー

MAINTENANCEメニューは6ページで構成されています。
MAINTENANCEメニューを表示するには、TOP MENU画面を表示してからMENUダイヤルを回してMAINTENANCEを選択し、MENUダイヤルを押します。

◆ TOP MENU画面の表示方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59ページ)をご覧ください。



MAINTENANCEメニューの構成と設定値

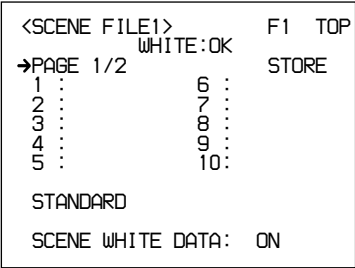
メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<RESET>	M1	ALL MENU RESET	—	ユーザーが操作できるメニューをすべて工場出荷状態にリセット（日時の設定はリセットされません。）
<GENLOCK>	M2	GENLOCK	—	ゲンロックさせたときの設定（ゲンロック動作をさせないときは、数値は表示されません。）
		H PHASE[COARSE]: 0	-99 ~ 0 ~ 99	水平位相の調整
		H PHASE[FINE]: 0	-99 ~ 0 ~ 99	水平位相の微調整
		SC PHASE: 0	0 ~ 999	SC位相の設定
		MAINTENANCE MENU RESET:	—	メンテナンスメニューを工場出荷時の状態にリセット（日時の設定はリセットされません。）
<CLOCK>	M3	2003/04/30 08:32:45 (例)	—	日付け、時間の設定
		HOURLY TYPE: 12H	12H, 24H	時間表示の設定
		DATE TYPE: 1	1 ~ 6	日付表示のタイプを設定 1: Y/Mn/D (年/月/日、月は数字) 2: Mn/D (月/日、月は数字) 3: D/M/Y (日/月/年) 4: D/M (日/月) 5: M/D/Y (月/日/年) 6: M/D (月/日)
		CLOCK IND: OFF	OFF, CAM, BARS	日付表示をVIDEO OUT端子に出力するときの設定 OFF: 日付表示を行わない CAM: 映像出力、カラーバーのときに日付表示を行う BARS: カラーバーのときのみ日付表示を行う
<CAMERA ID>	M4	CAMERA ID:	—	8文字までの文字をカラーバーのときに出力（文字入力画面でRETを押して入力文字を決定する。）
		CAMERA ID IND: OFF	ON, OFF	カラーバーにカメラID表示をするかどうかを設定
<LENS SELECT>	M5	LENS: 3	1 ~ 16	使用するレンズに合わせてレンズ番号を設定（設定するレンズがないときは、白い被写体を写し、画面に上下に色が見つからない位置に設定する。） ◆詳しくは、「レンズ番号を指定する」(87ページ)を参照してください。
			—	選択したレンズファイルの代表的なレンズを表示

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<OTHERS>	M6	COLOR BARS MODE：SMPTE	SMPTE FULL (75%) FULL (100%)	カラーバーのタイプを選択
		TONE：ON	ON、OFF	1kHzのトーン信号の出力を設定（ONにするとカラーバーのとき出力されます。）
		VF PB SELECT：Y	-, Y、VBS	ビューファインダーに出力する映像を選択（DSR-1を接続したときのみ機能します。） Y：モノクロ信号 VBS：カラー信号
		SCREEN MODE：16：9 (DXC-D50の表示は-)	16：9、4：3	出力信号のアスペクトを設定
		WIDE ID：ON	ON、OFF	SCREEN MODEが16：9のときにワイドIDを出力するかどうかを設定
		CHU CALL: OFF	ON、OFF	CA-TX50、CCU-TX50 接続時に、CA-TX50のCALLボタンを押したとき、ビューファインダーのTALLYランプを点灯するかどうかを設定。（TALLYランプ点灯時は消灯する。）
		CCU CALL: ON	ON、OFF	CA-TX50、CCU-TX50 接続時に、CCU-TX50のCALLボタン、またはCCU-TX50に接続したRCPのCALLボタンを押したとき、ビューファインダーのTALLYランプを点灯するかどうかを設定。（TALLYランプ点灯時は消灯する。）

FILEメニュー

FILEメニューは4ページで構成されています。FILEメニューを表示するには、TOP MENU画面を表示してからMENUダイヤルを回してFILEを選択し、MENUダイヤルを押します。

◆ TOP MENU画面の表示方法については、「TOP MENU画面を表示するには」(59ページ)をご覧ください。



シーンファイルを使用すると、特定の撮影条件を本機に設定することができ、設定した内容を読み出すことができます。

シーンファイルは20種類の設定が可能で、設定した内容をメモリースティックに保存することもできます。メモリースティックに保存したシーンファイルをほかのDXC-D50、DXC-D50WSにコピーして使うこともできます。

◆ 詳しくは、「シーンファイルの保存と読み出し」(74ページ) および「メモリースティックへの保存と読み出し」(75ページ)をご覧ください。

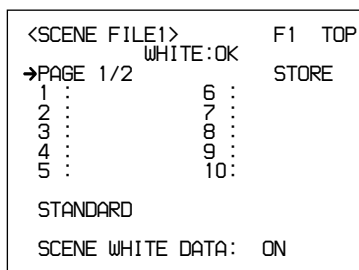
FILEメニューの構成と設定値

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<SCENE FILE1>	F1	PAGE 1/2	1/2、2/2	シーンファイルを選択します。最大20ファイルまで設定、選択ができます。11番以上のファイルが設定されていないときは、2/2は表示されません。
		STORE	—	シーンファイルをストアします。
		PAGE 1/2：1：～10： PAGE 2/2：11：～20：	—	選択した番号のシーンファイルを読み出します。
		STANDARD	—	本機の設定を標準設定にするかどうかを設定します。
		SCENE WHITE DATA：ON	ON、OFF	シーンファイルの読み出しによってメモリーから読み出すシーンファイルにホワイトバランスのデータを入れるかどうかを設定します。
<SCENE FILE2>	F2	SCENE FILE	—	シーンファイルのメモリースティックへの書き込み、読み取りを行います。
		READ (MS→CAMERA)	—	メモリースティックのデータを本機に読み取ります。 ご注意 本機にシーンファイルが設定されていた場合は、データは上書きされます。
		WRITE (CAMERA→MS)	—	本機に設定されているシーンファイルをメモリースティックに書き込みます。設定されているすべてのシーンファイルを書き込みます。 ご注意 メモリースティックにシーンファイルが保存されている場合は、データは上書きされます。
		FILE ID：	—	最大8文字までのファイル名をつけることができます。
		CAM CODE	—	カメラの機種名を自動的に表示します。
		DATE 2003/08/01	—	ファイルの作成日を表示します。

メニュー名	ページ	調整項目：初期値	設定値	備考
<OPERATOR FILE>	F3	OPERATOR FILE	—	本機の設定（カスタマイズしたUSERメニューを含む）のメモリースティックへの書き込み、読み取りを行います。
		READ (MS→CAMERA)	—	メモリースティックのデータを本機に読み取ります。 ご注意 本機のアペレーターファイル項目のメニュー設定値は上書きされます。
		WRITE (CAMERA→MS)	—	本機に設定されているファイルをメモリースティックに書き込みます。 ご注意 メモリースティックにアペレーターファイルが保存されている場合は、データは上書きされます。
		FILE ID :	—	最大8文字までのファイル名をつけることができます。
		CAM CODE	—	カメラの機種名を表示します。
		DATE 2003/08/01	—	ファイルの作成日を表示します。
<MEMORY STICK>	F4	MEMORY STICK FORMAT	—	メモリースティックをフォーマットします。 ご注意 メモリースティックに保存されているデータはすべて消去されます。

シーンファイルの保存と呼び出し

シーンファイルを保存するには



- 1 シーンファイルに保存したい撮影条件をカメラで設定する。
- 2 FILEメニューのF1ページ<SCENE FILE1>を表示する。
◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。
- 3 MENUダイヤルを回してSTOREを選択し、MENUダイヤルを押す。
- 4 MENUダイヤルを回してカーソルをファイル番号に合わせ、MENUダイヤルを押す。

矢印が疑問符に変わります。
- 5 MENUダイヤルを回して設定した撮影条件を保存するシーンファイルの番号を選択し、MENUダイヤルを押す。
- 6 MENUダイヤルを回してカーソルをファイル名に合わせ、MENUダイヤルを押す。

矢印が疑問符に変わります。
- 7 ファイル名を8文字以内で入力する。
- 8 EXECUTEを押す。

手順1で設定した撮影条件がシーンファイルとして本機に保存されます。

シーンファイルはファイル名を入力しなくても保存することができます。

シーンファイルを読み出すには

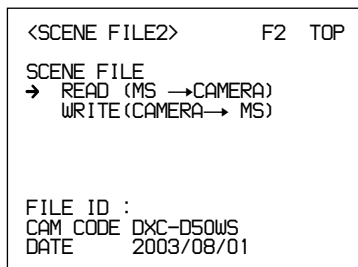
- 1 FILEメニューのF1ページ<SCENE FILE1>を表示する。
◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。
- 2 MENUダイヤルを回して読み出したいシーンファイルの番号を選択し、MENUダイヤルを押す。

選択したシーンファイルが読み出されカメラの撮影条件が設定されます。

メモリースティックへの保存と読み出し

カメラに保存しているシーンファイルやオペレーターファイルをメモリースティックに保存し、保存したデータをカメラに読み込むことができます。

シーンファイルを保存するには



- 1 FILEメニューのF2ページ<SCENE FILE2>を表示する。
◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。
- 2 MENUダイヤルを回してFILE IDを選択し、MENUダイヤルを押す。
- 3 ファイル名を8文字以内で入力し、RETを押す。
- 4 MENUダイヤルを回してWRITE (CAMERA→MS)を選択し、MENUダイヤルを押す。

本機が保存しているすべてのファイルが、メモリースティックに書き込まれます。メモリースティックにデータが保存されている場合は上書きされます。

シーンファイルを読み出すには

- 1 FILEメニューのF2ページ<SCENE FILE2>を表示する。
◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。
- 2 MENUダイヤルを回してREAD (MS→CAMERA)を選択し、MENUダイヤルを押す。

メモリースティックに保存されているシーンファイルが、本機に読み込まれます。本機にシーンファイルが設定されている場合は上書きされます。

オペレーターファイルを保存するには

- 1 FILEメニューのF3ページ<OPERATOR FILE>を表示する。
◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。
- 2 MENUダイヤルを回してFILE IDを選択し、MENUダイヤルを押す。
- 3 ファイル名を8文字以内で入力し、RETを押す。
- 4 MENUダイヤルを回してWRITE (CAMERA→MS)を選択し、MENUダイヤルを押す。

カスタマイズしたUSERメニューも含めた本機の設定を、メモリースティックにオペレーターファイルとして書き込みます。メモリースティックにデータが保存されている場合は上書きされます。

オペレーターファイルを読み出すには

- 1 FILEメニューのF3ページ<OPERATOR FILE>を表示する。
◆ 表示のしかたについては、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。
- 2 MENUダイヤルを回してREAD (MS→CAMERA)を選択し、MENUダイヤルを押す。

メモリースティックに保存されているオペレーターファイルが、本機に読み込まれます。本機の設定は上書きされます。

ファイルに保存する項目

メニューで設定した項目をシーンファイルやオペレーターファイルに保存することができます。各項目がどのファイルに保存されるか、また各項目の工場出荷時の設定は下表のとおりです。

*：各ファイルに保存される項目

機能	設定項目	シーン ファイル	オペレーター ファイル	工場出荷 時の設定
GAIN	-3, 0, 3, 6, 9, 12, 18, 24, 30, 36 dB	*	—	0 dB
Shutter	Shutter On	*	—	OFF
	Shutter Speed	*	—	1/100
	EVS	*	—	OFF
	CLS On	*	—	OFF
	CLS Speed	*	—	60.38 Hz
Optical Filter	Filter Position	*	—	1
5600K	5600K On	*	—	OFF
White	R White	*	—	0
	B White	*	—	0
Black	Master Black	*	—	0
	R Black	*	—	0
	B Black	*	—	0
Flare	Flare On	*	—	ON
	R Flare	*	—	0
	G Flare	*	—	0
	B Flare	*	—	0
Detail	Detail Level	*	—	0
	Crispening	*	—	0
	Frequency	*	—	0
	H/V Ratio	*	—	0
	Level Depend	*	—	0
Gamma	Fine Detail	*	—	0
	R Gamma	*	—	0
	B Gamma	*	—	0
Black Gamma	M Gamma	*	—	0
	R Black Gamma	*	—	0
	B Black Gamma	*	—	0
	M Black Gamma	*	—	0
Knee	RGB Black Gamma Range	*	—	High
	M Knee Point	*	—	0
	M Knee Slope	*	—	0
	Auto Knee (DCC) On	*	—	ON

機能	設定項目	シーン ファイル	オペレーター ファイル	工場出荷 時の設定
Skin Detail	Skin DTL On	*	—	OFF
	Skin Gate	—	—	—
	Skin Level	*	—	50
	Skin Phase	*	—	0
	Skin Width	*	—	30
	Skin Sat	*	—	-89
Skin Matrix	Skin Matrix Saturation	*	—	0
	Skin Matrix Hue	*	—	0
Matrix	Preset Matrix Select	*	—	STD
	Saturation	*	—	0
	Hue	*	—	0
	R-G	*	—	0
	R-B	*	—	0
	G-R	*	—	0
	G-B	*	—	0
	B-R	*	—	0
Low Key Sat.	B-G	*	—	0
	Low Key Saturation	*	—	0
Cross Color Suppress	Level	*	—	0
Switch Assign	5600K Switch Dimmer	—	*	5
	Gain [L]	—	*	0 dB
	Gain [M]	—	*	+9 dB
	Gain [H]	—	*	+18 dB
	Output [DCC]	—	*	Auto Knee
Iris	Auto Iris Override	—	*	0
	Auto Iris Mode	*	—	STD
Preset White	Color Temp	—	*	3200K
	Fine	—	*	0
White Memory	AWB MEMORY MODE	—	*	2
	WIDE BAND AWB	—	*	ON
	SHOCKLESS WHITE	—	*	3

機能	設定項目	シーン ファイル	オペレーター ファイル	工場出荷 時の設定
VF Marker	Safety Zone On	—	*	ON
	Safety Zone Select	—	*	90%
	Safety Zone Normal/Aspect	—	*	Normal
	Aspect Ind Type	—	*	OFF
	Aspect Ind 4:3-15:9	—	*	4:3
	Center Marker On	—	*	ON
	Box Cursor On	—	*	OFF
	Box Cursor H Position	—	*	50
	Box Cursor V Position	—	*	50
	Box Cursor H Width	—	*	50
	Box Cursor V Width	—	*	50
	VF SCAN	—	*	AUTO
VF Display	ND	—	*	ON
	IRIS	—	*	ON
	White	—	*	ON
	5600K	—	*	ON
	Gain	—	*	ON
	Shutter	—	*	ON
	Skin DTL	—	*	ON
	Audio	—	*	ON
	Tape Remain	—	*	ON
	VTR Status	—	*	ON
	VTR Alarm	—	*	ON
	Timecode	—	*	ON
	VF Tally	—	*	x1
VF DTL	VF DTL On	—	*	ON
Zebra	Zebra 1/2/1&2	—	*	1&2
	Zebra 1 Level	—	*	75%
	Zebra 1 Width	—	*	10%
	Zebra 2 Level	—	*	100%
Character	MONITOR Character On	—	*	ON
	RM Character	—	*	OFF
TLCS	AGC SW	—	*	ON
	AGC LIMIT	—	*	12 dB
	AGC CHANGE POINT	—	*	F2.8
	AE SW	—	*	ON
	AE LIMIT	—	*	1/250
	AE CHANGE POINT	—	*	F16

調整と設定

ホワイトバランス調整

撮影する場所の照明条件のもとで、白いものは白く、自然な色合いの画像になるように調整することを、ホワイトバランスを調整するといいます。

光源により、発する光の色が異なり、照明される被写体の色合いも変わりますので、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。

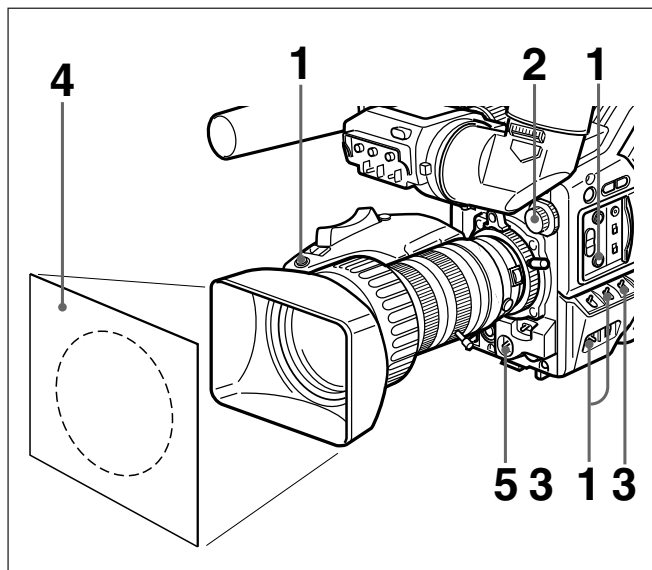
適正なホワイトバランス値を記憶させる

本機は、ホワイトバランスの調整値を、メモリーAとBに個別に記憶します。記憶された調整値は、再調整しない限り、電源を切っても約10年間保持されます。

いったん記憶させると、W. BALスイッチをAかBに切り換えるだけで、記憶されているホワイトバランスが自動的に得られます。異なる2つの照明条件で撮影するときに便利です。

FILTERつまみの設定との対応

OPERATION メニューの4ページ<WHITE MEMORY>のAWB MEMORY MODEの設定により(66ページ参照)、FILTERつまみの各設定(1~4)ごとにAとBの2つの調整値を記憶することができます。この場合、合計8調整値を記憶することができます。



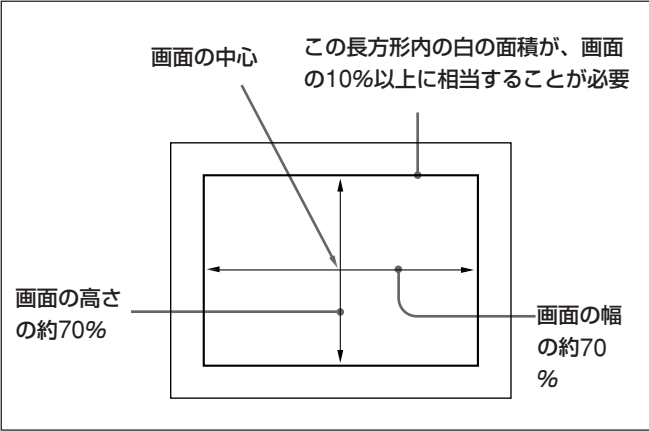
- 1 カメラを次のように設定する。
 - POWERスイッチ：ON/SAVE
 - OUTPUT/DCCスイッチ：BARS以外（CAM側）
 - レンズの絞り切り換えスイッチ：A（自動）
 - ATWボタン：OFF
- 2 照明条件に合わせてFILTERつまみを切り換える（48ページ参照）。

OPERATION メニュー 4 ページ <WHITE MEMORY> の WIDE BAND AWBをONに設定しているときは、この手順は必要ありません。
- 3 W. BALスイッチをAまたはBにする。

（続く）

4 被写体と同じ照明条件のところに白いもの（白い紙、布など）を置き、ズームアップして画面に白を映す。

調整に必要な白の面積は、下図のとおりです。



5 WHT/BLKスイッチをWHT側に倒し、指を離す。

ホワイトバランスが調整されます。
調整中、ビューファインダー画面にはAWB: EXECUTINGの表示が出ます。
数秒で調整が完了し、ビューファインダー画面の表示が下例のようにAWB:OKと色温度表示に変わります。



調整値は選んだAまたはBのメモリーに自動的に記憶されます。
AWB: EXECUTINGの表示が出ている間にWHT/BLKスイッチをどちらかに倒すと、ホワイトバランスの調整を中止して前の状態に戻ります。

異なる照明条件でのホワイトバランスの調整値を記憶させたいときは、手順2～4を繰り返します。AとBの2種類のホワイトバランスを記憶できます。

ご注意

カメラコントロールユニットまたはリモートコントロールユニットを使用している場合、コントロールユニットのW/B BALANCEスイッチがPRESETまたはMANUALになっていると、カメラでホワイトバラン

スの調整はできません。

記憶させたホワイトバランス調整値を呼び出すには
撮影時にW.BALスイッチをAまたはBに切り換えます。本機は記憶したホワイトバランスに自動的に設定されます。

ホワイトバランスが自動調整できないときは
ビューファインダー画面にAWB:NGと表示されます。
必要な処置をしてから、もう一度調整し直してください。

ホワイトバランス調整時の警告表示

表示	意味と対策
AWB:NG LOW LIGHT	光量不足。 ・照明を明るくする、絞りを開く、またはGAINスイッチで映像レベルを上げる。 ・FILTERつまみの設定を確認する。 ・処置をした後で再度調整する。
AWB:NG OVER LEVEL	被写体が白でない。または、照明が明るすぎる。 ・白い被写体にする。 ・照明を暗くする、絞りを閉じる、またはGAINスイッチで映像レベルを下げる。 ・FILTERつまみの設定を確認する。 ・処置をした後で再度調整する。
AWB:NG C.TEMP.LOW	色温度が低い。 次の優先順位で処置する。 1) FILTERつまみが3か4のときは、FILTERつまみを1または2にしてやり直す。 2) 被写体が白いか確認して、やり直す。 3) 調整範囲を越えているので、市販の色温度変換フィルターを取り付けて、やり直す。
AWB:NG C.TEMP.HI	色温度が高い。 次の優先順位で処置する。 1) FILTERつまみが1か2のときは、FILTERつまみを3または4にしてやり直す。 2) 被写体が白いか確認して、やり直す。 3) 調整範囲を越えているので、市販の色温度変換フィルターを取り付けて、やり直す。
AWB:NG TIME LIMIT	被写体を確認して再度AWBを実行してください。 再度実行しても調整できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
AWB:BREAK	調整実行中にWHT/BLKスイッチを倒して調整を中断したとき表示されます。
WHITE : PRESET	W. BALスイッチがPRESETになっている。 W. BALスイッチをAかBにする。
BARS	カメラがカラーバー信号を出力している。 OUTPUT/DCCスイッチをCAM側に設定する。

プリセットされたホワイトバランス値を使う

本機には、2種類のホワイトバランス値をプリセットすることができます。ホワイトバランスを調整する時間がない場合、プリセット値により、おおよそのホワイトバランスの調整を行い、直ちに撮影を開始することができます。

また、特殊な撮影条件では、人間の目によりホワイトバランスを調整するより、プリセット値を使った方が光線の雰囲気をよくとらえた映像になる場合があります。

- 1 W.BALスイッチをPREにする。
OPERATIONメニューの3ページ<PRESET WHITE>で設定したホワイトバランスプリセット値に基づいて、ホワイトバランスが自動的に調整されます。

- 2 必要に応じて5600Kボタンを押す。

光源による色温度のめやす

正しい色合いの画像を得るためには、被写体を照明する光源に合ったホワイトバランスの調整が必要です。光源が発する光の色を色温度 (K) という単位を使って表します。光の色は、青っぽくなるほど色温度が高く、赤っぽくなるほど色温度が低くなります。本機は出荷時にビデオライト (ハロゲンランプ、色温度3200K) で正しい色合いが得られるように調整されています。これ以外の光源下では調整が必要になります。

光源による色温度は、下表をめやすにしてください。

色温度と光源

光源		色温度 (K)	
自然光	照明		
晴天	蛍光灯 (昼光色)	↑	10,000
薄曇			8,000
曇天、雨天		青い光	7,000
		↕	6,000
			5,000
太陽直射光、正午	水銀灯	白い光	
	蛍光灯 (白色)		
日の出後、日の入り前の1時間	蛍光灯 (温白色)	↑	4,000
	スタジオランプ	↕	3,500
	ハロゲンランプ		3,200
	ビデオライト	黄色い光	3,000
日の出後、日の入り前の30分	白熱電球	↑	2,500
	ナトリウムランプ (トンネル内の照明)	↕	
日の出、日の入り	ろうそくの光	赤い光	2,000

ATW (自動追尾ホワイトバランス) 機能を使う

ATW機能を使うと、照明条件の変化に応じてホワイトバランスが自動調整されます。

ご注意

撮影条件によっては、ホワイトバランスが正しく自動調整されない場合があります。正確なホワイトバランスをとりたい場合は、W. BALスイッチを使うことをおすすめします。

ATW機能を使うには

ATW ボタンを押してランプを点灯させます。

ATW 機能が働き、ビューファインダー画面にATW表示が現れます。

ATW 機能を解除するときは、もう一度ATWボタンを押してランプを消灯させます。

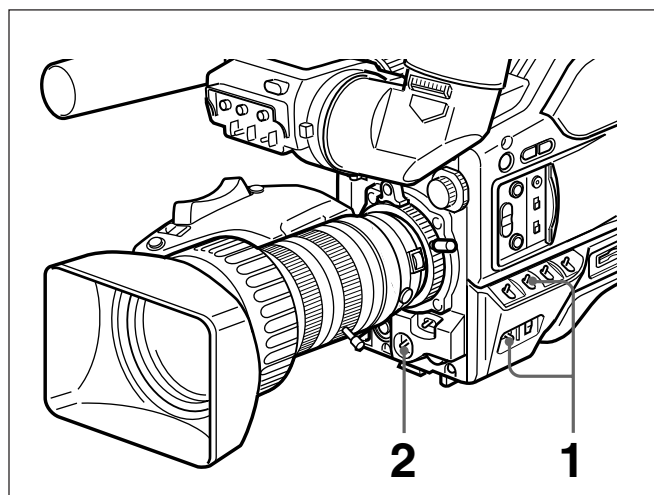
ATW機能が正常に働かないと

ビューファインダー画面に、以下のような警告表示が出ます。

表示	意味と対策
: C.TEMP.LOW	5600K スイッチがONのときはOFFにしてやり直す。
: C.TEMP.HIGH	5600K スイッチがOFFのときはONにしてやり直す。

ブラックバランス調整

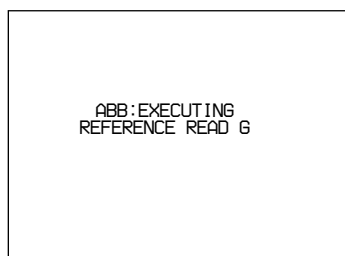
ブラックバランス調整はビデオカメラの調整の基本となる重要なものです。カメラを初めて使うときや、長期間使用しなかった後、また、急激な温度変化があった場合には必ず行ってください。調整値は記憶され、通常、カメラの電源を切ったり、被写体の照明条件が変わっても再調整する必要はありません。



1 POWERスイッチをON/SAVEにし、OUTPUT/DCCスイッチをCAM側にする。

2 WHT/BLKスイッチをBLK側に倒し、指を離す。

レンズ絞りが閉じ、ブラックバランスが調整されます。
調整中、ビューファインダー画面にはABB:EXECUTINGの表示が出ます。



数十秒で調整が完了し、ビューファインダー画面の表示がABB:OKに変わります。

ABB: EXECUTINGの表示が出ている間にWHT/BLKスイッチをどちらかに倒すと、ブラックバランスの調整を中止して前の状態に戻ります。

で注意

- カメラコントロールユニットまたはリモートコントロールユニットを使用している場合、コントロールユニットのW/B BALANCEスイッチがMANUALになっていると、カメラでブラックバランスの調整はできません。

- 本機が録画中はブラックバランスの調整はできません。ブラックバランスの調整中はCCDの読み出し方式を変えるため、本機の映像出力に若干の乱れを生ずることがあります。このため周辺機器を接続したときに、本機のオートブラックを動作させると、ノイズの発生、アラーム信号の点灯などを生じることがありますが本機の異常ではありません。

ブラックバランスが自動調整できないときは

ビューファインダー画面にABB:NGの警告表示が出ます。
必要な処置をしてから、もう一度調整し直してください。

ブラックバランス調整時の警告表示

表示	意味と対策
ABB:NG IRIS NOT CLOSE	レンズの絞りが閉まらなかった。 レンズケーブルの接続不良やレンズの故障がないか調べてください。 再度試みてもできない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
ABB:NG OVER FLOW	調整中に絞りを開いた。または、ハードウェアエラー。 絞りを閉じて再度試みてもできない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
ABB:NG TIME LIMIT	レンズの絞りを閉じて再度ABBを実行してください。 再度実行しても調整できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
ABB:BREAK	調整実行中にWHT/BLKスイッチを倒して調整を中断したとき表示されます。
BARS	カメラがカラーバー信号を出力している。 OUTPUT/DCCスイッチをCAM側に設定する。

シャッターの設定

ここでは、シャッタースピードおよびCLS(クリアスキャン)の設定について説明します。

設定したシャッタースピード/CLSは、変更しない限り、カメラの電源を切っても記憶されています。

シャッタースピード

シャッタースピードは $1/100$ 秒から6段階で、最高 $1/2000$ 秒まで上げることができます。シャッタースピードを上げると、動きの速い被写体を撮影するときのブレを少なくすることができます。また、蛍光灯の照明下で撮影するときに出る画像のチラつき(フリッカー)もシャッタースピードを変えて減らすことができます。

CLS(クリアスキャン)

パソコンやプロジェクターなどの画面を撮影すると、画像に横線状のノイズが出ます。これは、カメラとモニター画面の垂直走査周波数が異なるために起こる現象です。CLS機能により垂直走査周波数を選択し、このノイズを軽減することができます。

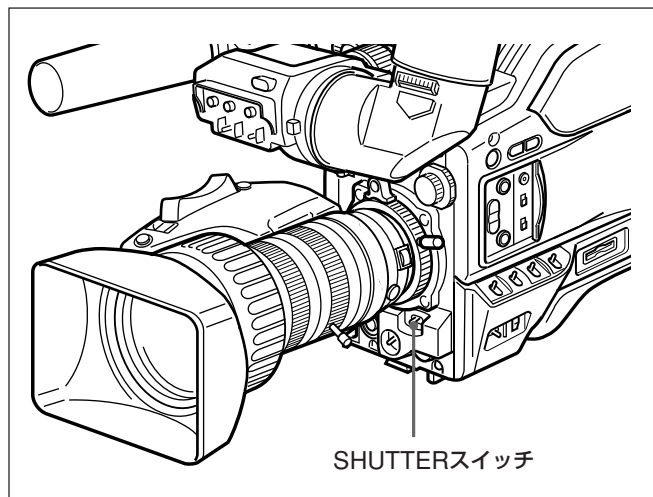
シャッタースピード/CLSを設定する

シャッタースピード設定時のご注意

- シャッタースピードを速くするほど画像は暗くなります。ビューファインダーで明るさを確認して、必要に応じて照明を明るくしたり、絞りを調整してください。
- シャッタースピードを高速にして高輝度の被写体を撮影すると、縦に長く尾を引いたような状態(スミア現象)が起こることがあります。

CLS設定時のご注意

パソコンの種類により垂直走査周波数が異なりますので、ノイズが完全に消えないことがあります。また、使用するソフトウェアにより周波数が変わることもありますので、ご注意ください。



SHUTTERスイッチ

1 SHUTTERスイッチをONにする。

ビューファインダー内のSHUTTERランプが点灯し、シャッタースピード、CLS周波数の設定変更やEVSの設定ができるようになります。

2 SHUTTERスイッチを、ONの位置からSEL側に押す。

ビューファインダー画面のシャッター設定表示部に、シャッターの現在の設定が約3秒間表示されます。

例:「: SHUTTER :1/250」、「:CLS : 60.38Hz」

3 手順2の表示が消える前に、もう1度SHUTTERスイッチをSEL側に押す。

希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返す。

以下の順序で表示が切り換わります。

1/100 → 1/125 → 1/250 → 1/500 → 1/1000 → 1/2000 → CLS
(出荷時設定)



CLSを設定するときは

モニター画面を見ながら、ノイズが最も少なくなる周波数に設定してください。

モニター画面に黒いバーが見えるときは周波数を低く、白いバーが見えるときは周波数を高めます。

- ◆ CLSの設定については、PAINTメニューのP1ページ<SHUTTER>をご覧ください。

メニューを抜けて通常画面に戻るには

MENUスイッチをOFF/STATUS側に押します。通常画面には設定したシャッタースピードまたはCLS周波数が表示されています。

撮影が終わったら

SHUTTERスイッチをOFFにします。

ビューファインダー内のSHUTTERランプが消灯します。

日時の設定・記録

本機に内蔵の時計を設定して、日付と時刻を記録することができます。MAINTENANCEメニューのM3ページ<CLOCK>で設定します。

ご注意

- MAINTENANCEメニューに、以下の時計の設定または日時の記録の手順で時計表示が出ないときは、内蔵のリチウム電池が消耗しています。新しいリチウム電池と交換してください(27ページ参照)。
- 電池交換後は日時を設定しなおしてください。再設定しないと日時は表示されません。

時計を設定するには

- 1 MAINTENANCEメニューのM3ページ<CLOCK>を表示する。

◆表示の方法については、「使用したいメニューページを表示するには」(60ページ)をご覧ください。

<CLOCK>		M3	TOP
2003/08/01		08:32:45	
HOUR TYPE	:	→12H	
DATE TYPE	:	Y/Mn/D	
CLOCK IND	:	BARS	

- 2 MENUダイヤルを回してカーソルをHOUR TYPEに合わせ、MENUダイヤルを押して選択する。
- 3 MENUダイヤルを回して時間表示を12時間制にするか24時間制にするか選択し、MENUダイヤルを押して決定する。
- 4 MENUダイヤルを回してカーソルをDATE TYPEに合わせ、MENUダイヤルを押して選択する。
- 5 MENUダイヤルを回して年月日の表示を選択し、MENUダイヤルを押して決定する。
- 6 MENUダイヤルを回してカーソルを日時表示の変更したい数値の位置に移動し、MENUダイヤルを押す。

<CLOCK>		M3	TOP
2003/08/01		08:32:45	
HOUR TYPE	:	12H	
DATE TYPE	:	Y/Mn/D	
CLOCK IND	:	BARS	

- 7 MENUダイヤルを回して数値を選択し、MENUダイヤルを押して決定する。

手順6、7を繰り返して日時を設定する。

日時を記録するには

撮影画像に日時を重ねて記録することができます。

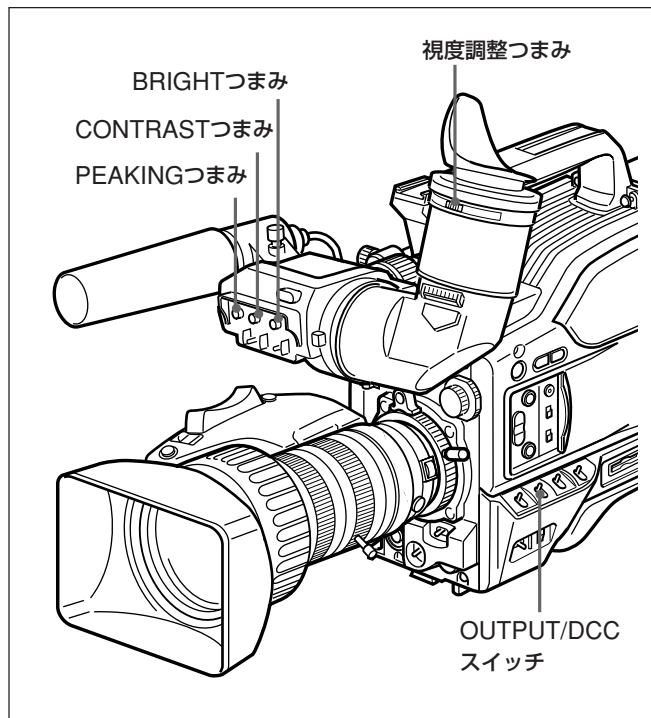
撮影前にMAINTENANCEメニューのM3ページ<CLOCK>を表示して、CLOCK INDをCAMに設定します。ビューファインダー画面に時計表示が現れ、カメラのビデオ信号とともに日時が出力されます。

日時の記録をやめたいときは

CLOCK INDをOFFにします。

ビューファインダー画面の調整

ビューファインダーの画面を見やすくするため、次の調整をします。
なお、ビューファインダーの調整により、ビューファインダー画面の画像を見やすくすることができますが、カメラの出力信号には影響しません。



視度調整

近視や遠視などの個人差により、一番よく見えるファインダーの位置（視度）は人によって少しずつ違います。ビューファインダーの画面がはっきり見えるように、視度を調整してください。レンズでピントを合わせてから、視度調整つまみを回します。調整範囲は $-3D \sim 0D^{1)}$ です（出荷時設定は $0D$ ）。

DXF-801の部品を交換し、視度調整範囲を $-2D \sim +1D$ または $-0.5D \sim +3D$ に変更することができます。

◆ 詳しくはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

コントラストと明るさの調整

カメラのカラーバー信号を使って調整します。

1 OUTPUT/DCCスイッチをBARS側にする。

ビューファインダーにカラーバーが映ります。

2 カラーバーを見ながら、CONTRASTつまみ、BRIGHTつまみを回して、コントラストと明るさを調整する。

3 OUTPUT/DCCスイッチを元の設定に戻しておく。

輪郭の強調

PEAKINGつまみを回すとビューファインダー画面の画像の輪郭が強調され、ピントが合わせやすくなります。

1) D：ジオプリー。光の屈折度を表す単位。

レンズの調整

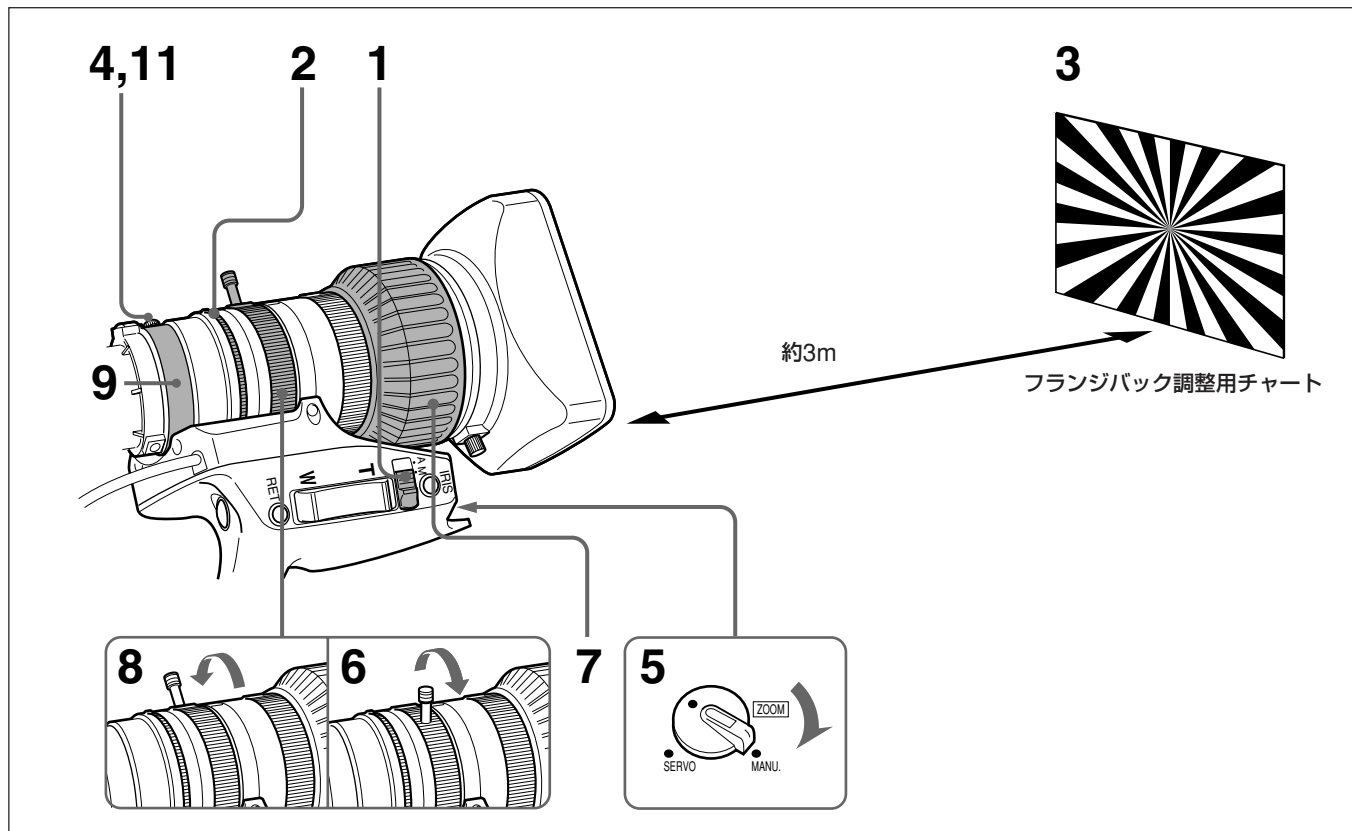
フランジバックの調整

フランジバック（レンズ取り付け面から結像面までの距離）は次のようなときに調整します。

・初めてレンズを取り付けたとき

・レンズを交換したとき

・ズーム操作時、望遠と広角の両方でピントがきちんと合わないとき



1 絞り切り換えスイッチをMにする。

2 絞りリングを回し、1.8（開放）にする。

3 フランジバック調整用チャート（付属）を3mぐらい離れた場所に置き、絞りが1.8で適正なビデオレベルが得られるように照明する。

4 F.B固定ネジをゆるめる。

5 ZOOM切り換えスイッチをMANU.にする。

6 手動ズームレバーを回して望遠の位置にする。

7 フォーカスリングを回して、フランジバック調整用チャートにピントを合わせる。

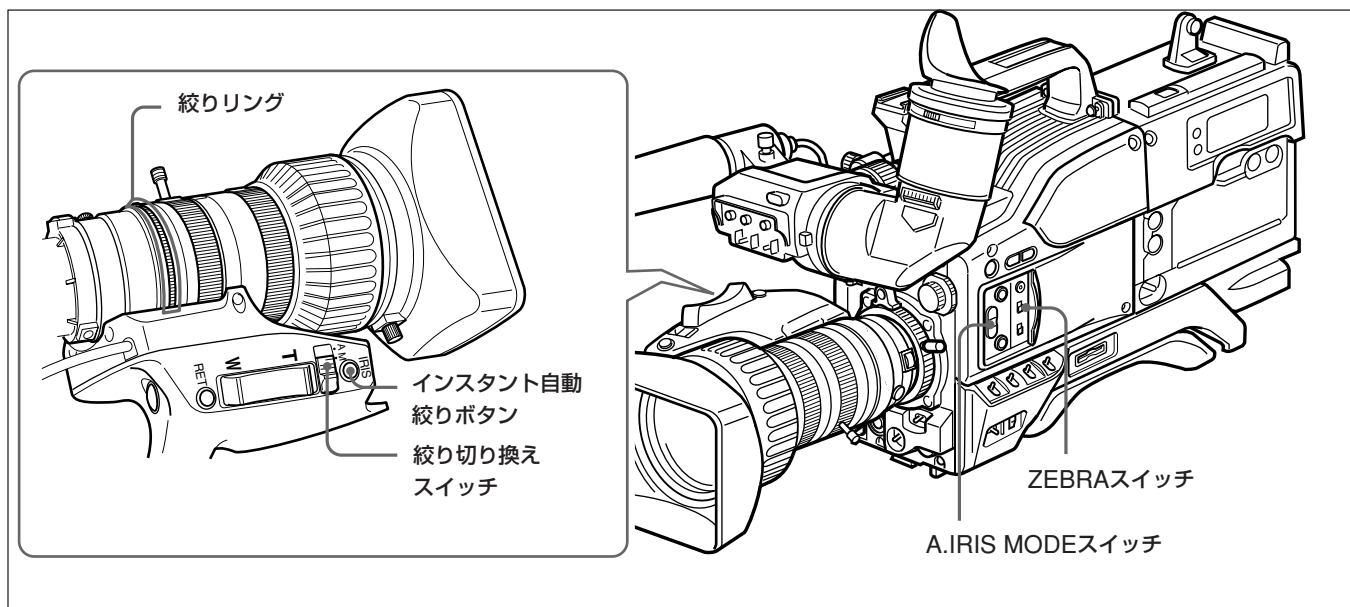
8 手動ズームレバーを回して広角の位置にする。

9 F.B調整リングを回して、フランジバック調整用チャートにピントを合わせる。
このとき、フォーカスリングを動かさないでください。

10 望遠と広角の両方でピントが合うまで、手順**6**～**9**を繰り返す。

11 調整後、F.B固定ネジをしっかりと締める。

絞りの調整



絞りの調整には自動調整、手動調整、インスタント調整の3つのモードがあります。

絞りの調整

調整モード	操作
自動調整 被写体の明るさに応じて絞りを自動調整します。通常の撮影は、このモードで行います。	絞り切り換えスイッチをAにします。
手動調整 次のような場合に行います。 - 特殊効果をねらうとき。 - 明るい空をバックに人物を撮影するとき。 - コントラストの強い場面の撮影をするとき。 調整の目安にゼブラパターンを使用することができます。	絞り切り換えスイッチをMにして絞りリングを回します。
インスタント自動調整 手動調整中に、一時的に自動調整を行います。	絞り切り換えスイッチがMのとき、インスタント自動絞りボタンを押したままにします。

逆光状態の被写体を明るく映したいとき

自動調整中に、A.IRIS MODE スイッチをBACK L.にして、ランプを点灯させます。

スポットライトの当たっている被写体をきれいに映したいとき

自動調整中に、A.IRIS MODE スイッチをSPOT L.にして、ランプを点灯させます。

手動調整にゼブラパターンを使用する

手動調整の目安にゼブラパターンを使用したいときは、ZEBRA スイッチをONにします。

OPERATIONメニューの9ページ<ZEBRA>で、表示するゼブラパターンを選択します（67ページ参照）。

- 人物を撮影するときは**
 顔の明るい部分（額やほおなど）にゼブラパターンが出るように、絞りを手動調整してください。
- 人物以外を撮影するときは**
 被写体の中で重点をおきたい部分にゼブラパターンが出るように絞りを手動調整してください。

レンズ番号を指定する

使用するレンズの種類によってレンズの番号を指定してください。レンズ番号を正しく指定しないと、白い被写体を写したときに、画面の上下に色が付くことがあります。

指定するには

MAINTENANCEメニューのM5ページ<LENS SELECT>（70ページ参照）で、使用するレンズの番号を次ページの表で示している番号に設定します。

レンズ番号	代表的なレンズ
1	
2	A12×6.8B
3	VCL-918BY、VCL-919BY、VCL-920BY、 YJ18×9B KRS、YJ19×9B KRS、YJ20×8.5B KRS、 J33a×11B IASD
4	A16×9BRM/VCL-916BYA、A16×9.5BRM/ VCL-916BY、YJ19×9B IRS、J33a×15B IASDS、 PJ55×13.5B、A13×6.3BERM/BRM、A20×8.6BRM
5	JY12×6.5B4 IRS、YJ18×9B IRS、J21a×7.8B IRSD/ IASD、J22e×7.6B IRSD/IASD、A13×4.5BERM、 A22×7.8BERM
6	J9a×5.2B IRS/IAS、J11a×4.5B IRSD/IASD、 J17a×7.7B IRSD/IASD
7	J15a×8B IRS、A16×9BERM、A17×7.8BERM、 A19×8.7BERM/BRM、A20×8BEVM/BERD、 A20×8.6BERM
8	A10×4.8BE、A15×8.8E、PJ55×9B
9～16	ソニーのサービス窓口で設定する場合、使用するレンズ にあわせてより正確な設定を9～16に入れることができ ます。詳しくはソニーのサービス窓口にご相談ください。 (工場出荷時にはデータは入っていません)

使用するレンズが上記の表にないときは

白い被写体を画面一杯に写し、レンズ番号1から8を順に選択し、上下に付く色が最小となる番号に設定してください。選択したレンズ番号の結果が反映されるまでに数秒かかりますのでご注意ください。

エクステンダーやコンバージョンレンズを使用しているときは、それぞれOFFにしてからレンズ番号を設定してください。このとき、光源による色むらがないように注意してください。

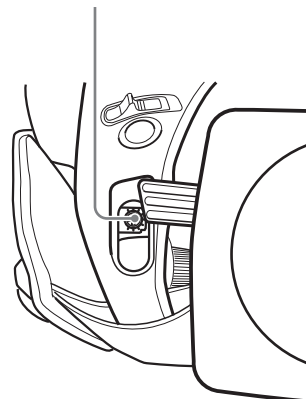
波形モニターなどの測定器を併用すると、より正確な設定をすることができます。

絞り感度の調整

レンズには絞り感度調整機構が装備されているため、通常は特に絞り感度を調整する必要はありません。

オートアイリスを使用しているときに、アイリスがハンチングしたり、応答が遅いときは、レンズの感度調整トリマーで絞りの感度を調整してください。

感度調整トリマー
(SまたはIGなどの表示があります。)



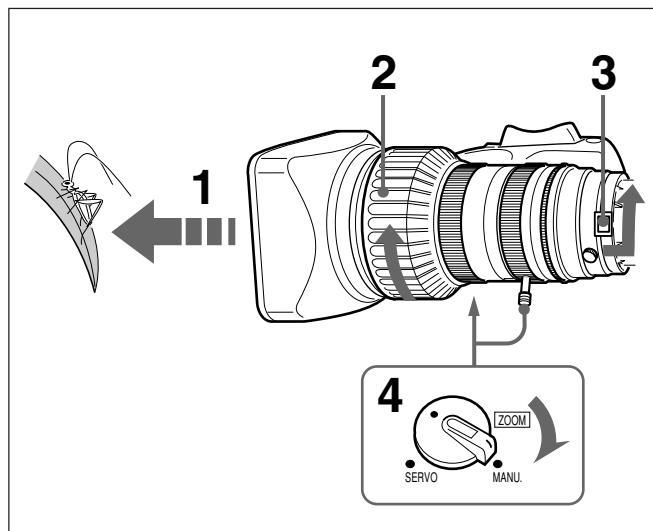
レンズ駆動ユニット前面のゴムキャップを外すと、内部に感度調整トリマーが見えます。小型ドライバーなどを使用してトリマーを回します。トリマーを時計方向に回すと感度が上がり、反時計方向に回すと感度が下がります。

レンズを交換したときは、絞りの感度を確認することをおすすめします。

◆ 詳しくはレンズの取扱説明書をご覧ください。(またはレンズメーカーにお問い合わせください。)

接写

レンズの前面から被写体までの距離が約0.9m以内（VCL-920BYの場合）のときは、接写機能をお使いください。最短で10mm（広角側、 $f=8.5\text{mm}$ ）まで近づいて接写できます。



- 1** 画像が希望の大きさになるまで、被写体にレンズを近づける。
- 2** フォーカスリングを最短距離に合わせる。
- 3** Mボタンをカメラ本体の方へスライドさせながら、MACROリングを矢印方向へいっぱい回す。
- 4** ZOOM切り換えスイッチをMANU.にし、ズームレバーを回してピントを合わせる。

接写を終えたら

MACROリングを元の位置に戻しておきます（矢印と逆の方向へ止まるところまで回す）。

被写体を小さく写したいときは

手順**1～4**の操作後、被写体をもっと小さく写したい場合は、MACROリングを矢印と反対の方向へ少し回し、もう一度ズームレンズでピントを合わせ直します。

撮影条件に応じた設定

下表を参考にして、適切な設定を行ってください。

撮影条件	設定	効果
背景が明るすぎて被写体が黒くつぶれる。	A.IRIS MODE スイッチを BACK L にする。	被写体が黒くつぶれるのを防ぐ。
被写体にスポットライトが当たっている。	A.IRIS MODE スイッチを SPOT L にする。	人物の顔や衣装が白くとぶのを防ぐ。
文献、図面など静止している被写体を撮る。	PAINT メニュー P1 ページ<SHUTTER>で EVS (垂直解像度改善) 機能を ON にする。(68 ページ参照) ご注意 この設定を ON にすると、エリアシング (モアレ) が増加します。通常は OFF でお使いください。	垂直方向の解像度が上がる。
結婚式など、華やかな雰囲気の画像にしたい。	HI SAT のファイルを使う (PAINT メニューの P8 ページ<USER MATRIX>で選択)。	原色の発色が鮮やかになる。
蛍光灯の照明で撮影する。	FL のファイルを使う (PAINT メニューの P8 ページ<USER MATRIX>で選択)。	画像が青緑っぽくなるのを防ぎ、自然な色で再現できる。
肌のきめや色合いを調整したい。(例: 肌の細かい状態がわからないように撮る。)	下記「スキディテール補正」および「画像の特定の色だけを調整する」をご覧ください。	肌色部分だけを指定したディテールや色に調整する。
撮影前にピントを正確かつ容易に合わせたい。	EZ FOCUS ボタンを押して EZ フォーカス機能を ON にする。	レンズの絞りが解放になり、撮影前のピントが合わせやすくなる。
応急的な撮影を行いたい。	EZ MODE ボタンを押して EZ モード機能を ON にする。	標準的な状態で自動調整機能を働かせ、応急的な撮影ができる。

スキディテール補正

PAINT メニューの P7 ページ<SKIN DTL/MATRIX>で肌色部分の調整をすることができます。

◆詳しくは「PAINTメニューの構成と設定値」(68ページ参照)をご覧ください。

画像の特定の色だけを調整する

シーンファイルを使って、指定した色だけを調整することができます。調整するエリアの指定は、スキディテール補正と同様の手順で行います。

付録

使用上のご注意

ズームレンズの取り付け

ズームレンズのカメラへの取り付けかたを誤ると損傷することがあります。必ず「レンズを取り付ける」(33ページ)をご覧ください。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使用・保管

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所(使用温度は -10°C ～ $+45^{\circ}\text{C}$)。
真夏、窓を閉め切った自動車内は 50°C を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨が当たる所。
- 激しく振動する所。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。

ビューファインダーについて

- ビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。
太陽光が接眼レンズを通して内部に焦点を結び、ビューファインダー内部を溶かすことがあります。
- 強い磁界のある場所でビューファインダーを使用しないでください。画像が乱れることがあります。

輸送

別売りのキャリングケースLC-HB330をお使いください。

トラック、船、航空機など、カメラを貨物として扱う輸送では、キャリングケースに入れたうえ、付属のカートン(または同等品)で梱包してください。

お手入れ

レンズや光学フィルターの表面に付着したゴミやほこりは、ブローアで吹き払います。

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

周辺機器の接続について

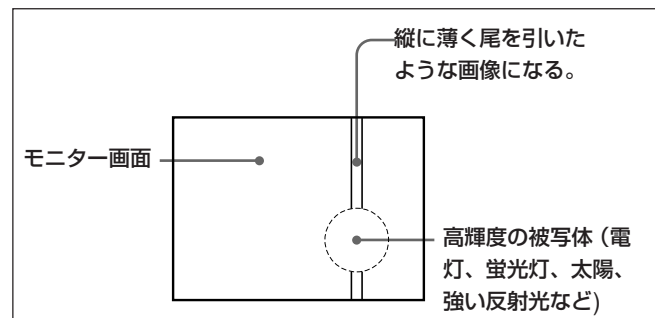
本機に周辺機器を取り付け、取り外しするときは、本機の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま取り付け、取り外しをすると、正しく機能しない場合があります。

CCD特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CCD（Charge Coupled Device）特有の現象で、故障ではありません。

スミア現象

高輝度の被写体を撮影したときに起きる現象。本機ではほとんど現れません。



白点

高温時に使用すると、画面に白点が現れることがあります。

警告システム

操作中に異常が起きると、ビューファインダー内のREC/TALLYランプやBATTランプ、タリーランプが点灯・点滅し、ビューファインダー画面に警告表示が出ます。また、DSR-1、PVV-3などのVTRを

取り付けている場合、VTR側のWARNINGランプも点灯・点滅し、表示窓に警告表示が出ます。イヤホンからは警告音が聞こえます。

警告システム

カメラ側			VTR側			警告内容	VTR部の動作	処置
REC/TALLYランプとタリーランプ	BATTランプ	ビューファインダー画面の警告表示	WARNINGランプ	表示窓	警告音 ●●●●● 毎秒4回 ●●●●● 毎秒1回 ●●●●● 連続音			
	—	—		RF点灯 (記録中のみ)	●●●●● (記録中のみ)	ビデオヘッドの目づまりを検出して警告音を出す。	ヘッドの目づまりを検出して警告音を出す。	VTRの説明書を参照してヘッドをクリーニングする。クリーニング後も正しく記録できない場合は、電源を切ってソニーのサービス窓口に連絡する。
	—	—		SERVO点灯	●●●●●	サーボの乱れ	記録は継続するが、正しく記録できない場合がある。	電源を切ってソニーのサービス窓口に連絡する。(テープ走行開始時にSERVO表示が一瞬点滅して消えることがあるが、問題はない。)
	—	—		HUMID点灯	●●●●● (記録中) ●●●●● (再生・早送り・巻き戻し中)	結露	記録は継続するが、テープの貼り付きを起こすと記録停止。再生、早送り、巻き戻しは停止。	テープ走行を停止する。再度電源を入れてHUMID表示が消えるまで待つ。
	—	—		SLACK点灯	●●●●●	テープの巻き取り異常	動作は停止。(サービスマニュアルまたはメンテナンスマニュアル参照。)	VTRのEJECTボタンを押してカセットを取り出す。カセットホルダーを閉じ、トップパネルが降りたことを確認してから電源を切り、ソニーのサービス窓口に連絡する。(絶対にカセットは入れないでください。)
	—	—		TAPE点灯 (記録中のみ)	●●●●●	テープの終わり間近	動作は継続。	必要に応じてカセットを交換する。
	—	—		TAPE点滅	●●●●●	テープの終わり	記録、再生、早送り中は動作停止。	カセットを交換する。
		BATT 11.0V		BATT点滅	●●●●● (記録中)	バッテリーの消耗間近	動作は継続。	必要に応じてバッテリーを交換する。
		BATT 10.5V		BATT点滅	●●●●●	バッテリーの消耗	動作は停止。	バッテリーを交換する。

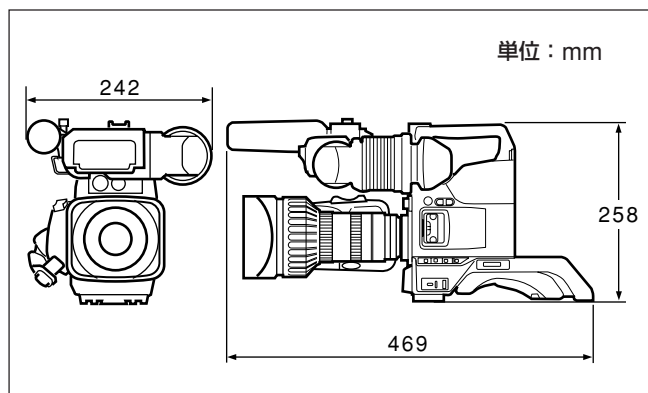
点灯 毎秒点滅 毎秒4回点滅

◆ VTR接続時にビューファインダー画面に表示される警告表示については、「通常画面」(56ページ)をご覧ください。

カメラ本体 DXC-D50/D50WS

撮像素子	インターライン転送方式CCD、3板式
有効画素数	980×504(水平/垂直)
撮像面積	DXC-D50: 8.8mm×6.6mm ($\frac{2}{3}$ 型、4:3光学系) DXC-D50WS: 9.6mm×5.4mm ($\frac{2}{3}$ 型、16:9光学系)
内蔵フィルター	1: CLEAR 2: $\frac{1}{4}$ ND 3: $\frac{1}{16}$ ND 4: $\frac{1}{64}$ ND
レンズマウント方式	ソニー $\frac{2}{3}$ 型バヨネットマウント
信号方式	EIA標準方式、NTSCカラー方式
走査方式	走査線数525本、2:1インターレース
走査周波数	水平: 15.734kHz 垂直: 59.94Hz
同期方式	内部同期 別売りカメラアダプターのGEN LOCK IN 端子への入力(VBSまたはBS)、または カメラコントロールユニットのGEN LOCK端子から別売りカメラアダプター のCCU/VTR/CMA端子への入力による 外部同期
水平解像度(中心部)	DXC-D50: 920TV本 DXC-D50WS: 850TV本(4:3モード時)、 800TV本(16:9モード時)
最低被写体照度	0.5 lux (F1.4、+36dBにて) 0.8 lux (F1.8、+36dBにて)
感度	F11標準(2000lx、3200K)
ゲイン切り換え	−3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、18dB、 24dB、30dB、36dB
映像出力	コンポジット信号: 1.0Vp-p、同期負、75Ω、不平衡 Y/Cセパレート信号: Y: 1.0Vp-p、同期負、不平衡 C: バーストレベル0.286Vp-p、同期なし
映像S/N	65dB(標準)
レジストレーション	0.05%(全ゾーン、レンズなし)

入/出力端子	VIDEO OUT端子: BNC型、75Ω、不平衡 LENS端子: $\frac{2}{3}$ 型レンズ用12ピン VF端子(正面): 20ピン REMOTE端子: 10ピン MONITOR OUT端子: BNC型、 75Ω、不平衡
電源電圧	DC12V
消費電力	14W
使用温度	−10℃～+45℃
保存温度	−20℃～+60℃
質量	約2.2kg(本体)
外形寸法	



ズームレンズ VCL-920BY

焦点距離	8.5～170mm
ズーム	電動/手動切り換え可能、ズーム比20倍
最大口径比	1:1.8
絞り	自動/手動切り換え可能、F1.8～F16および C(クローズ)
被写体範囲(0.9mのとき)	W(広角): 852×639mm T(望遠): 44×33mm
フォーカス範囲	∞～0.9m
フィルター取り付けネジ	φ 82mm、ピッチ0.75mm
マウント方式	ソニー $\frac{2}{3}$ 型バヨネットマウント
質量	約1.3kg(レンズフード含む)
最大外形寸法	122×102×210mm(幅/高さ/奥行き) (レンズフード含む、レンズグリップ含ま ず)

ビューファインダー DXF-801

ブラウン管	1.5型、白黒
表示ランプ	REC/TALLY(×2)、TAKE、BATT、 SHUTTER、GAIN UP
解像度	600TV本
電源電圧	DC12V
消費電力	2.1W
質量	約620g
最大外形寸法	241×91×203mm(幅/高さ/奥行き)
スキャンサイズ	16:9/4:3切り換え

付属品

ズームレンズVCL-920BY¹⁾(1)
ビューファインダーDXF-801²⁾(1)
マイク²⁾(1)
ウインドスクリーン²⁾(1)
三脚アタッチメントVCT-U14²⁾(1)
レンズマウントキャップ(1)
フランジバック調整用チャート(1)
取扱説明書(1式)
保証書(1)

- カメラ本体およびビューファインダーは日本国内用ですから、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

関連機器

ソニーではビデオ撮りに便利な別売りアクセサリと関連機器を用意しておりますので、ぜひご利用ください。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

カメラアダプター関係

カメラアダプター CA-D50/TX50
ACアダプター CMA-8A
カメラリモートコントロールユニット RM-M7G
リモートコントロールパネル RCP-D50/D51

VTR関係

デジタルビデオカセットレコーダー DSR-1
ポータブルビデオカセットレコーダー PVV-3
ポータブルビデオカセットレコーダー DVW-250、DSR-50

マイク関係

エレクトレットコンデンサーマイク ECM-670/672
コンデンサーマイク C-74
マイクホルダー CAC-12
マイクケーブル EC-0.5C2
マイクケーブル EC-0.3C2

スタジオ用機器

カメラコントロールユニット CCU-D50/TX50
5型ビューファインダー(白黒) DXF-51
インターカムヘッドセット DR-100

ケーブル・その他

Z型26ピンコネクタ付きカメラケーブル
CCZ-A2(2m)/A5(5m)/A10(10m)/A25(25m)/
A50(50m)/A100(100m)
Z型26ピン-Q型14ピンコネクタ付きカメラケーブル
CCZQ-A2(2m)/A5(5m)/A10(10m)/A2AM(2m)
ケーブル延長コネクタ CCZZ-1B/1E
Q型14ピンコネクタ付きカメラケーブル
CCQ-2BRS(2m)/5BRS(5m)/10BRS(10m)
CCQ-10AM(10m)/25AM(25m)/50AM(50m)/
100AM(100m)
Z型26ピン-J型10ピンコネクタ付きカメラケーブル CCZJ-2
キャリングケース LC-HB330
レインカバー LCR-1
ソフトケース LC-DS300SFT
ロングハンドルキットCAC-H101、CAC-H102

1) DXC-D50Kのみに付属。

2) DXC-D50K/D50L/D50WSLのみに付属。

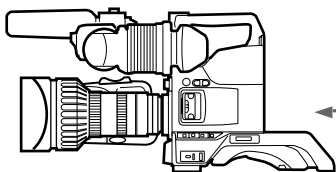
周辺機器・アクセサリ一覧表

 マイクケーブルEC-0.5C2

 マイクロホンECM-670/672、C74

 マイクホルダーCAC-12

 5型ビューファインダーDXF-51

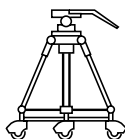

DXC-D50/D50WS

 CCA-7ケーブル

 リモートコントロールユニット
RM-M7G

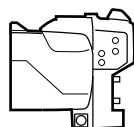
 リモートコントロールパネル
RCP-D50/D51

 三脚アダプターVCT-U14

 三脚

 レインカバーLCR-1

キャリングケースLC-HB330

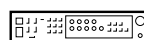


カメラアダプター
CA-TX50

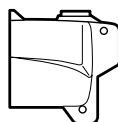


カメラコントロールユニット
CCU-TX50

CCZ-A
ケーブル

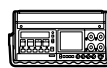


カメラコントロールユニット
CCU-D50



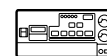
カメラアダプター
CA-D50

CCZ-A
ケーブル

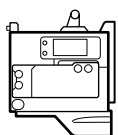


デジタルベータカムレコーダー
DVW-250

CCZ-A
ケーブル

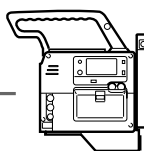
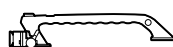


ポータブルVTR
DSR-50



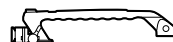
DVCAMレコーダー
DSR-1

ロングハンドルキット
CAC-H101



ベータカムSPレコーダー
PVV-3

ロングハンドルキット
CAC-H102



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お近くのソニー営業所にお問い合わせください。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ